

# 新・基礎の学習

## 国語 3年 教



3年 2組 24番

名前

中井 真成

新学社



# ● もくじと学習記録表 ●

国語 3年 教

単元	教材の内容	本書のページ	学習日
1	春に	4～5	/
	立ってくる春	6～8	/
	なぜ物語が必要なのか	9～11	/
	◆すらすら読解ガイド1 文学的文章◆	12	/
	私 テストの練習問題 つながる読解	13～19	/
	漢字・語句のまとめ1	20	/
2	薔薇のボタン	21～23	/
	情報 新聞が伝える情報を考える	25	/
	漢字1 呉音・漢音・唐音	26	/
	文法1 助詞のはたらき	27～30	/
	漢字・語句のまとめ2	31	/
3	◆すらすら読解ガイド2 説明的文章◆	32	/
	AIは哲学できるか テストの練習問題 つながる読解	33～37・40	/
	書く 客観性や信頼性のある記事を書く	41	/
	漢字2 熟字訓	42	/
	言葉1 和語・漢語・外来語	43	/
	漢字・語句のまとめ3	44	/
4	◆すらすら読解ガイド3 説明的文章◆	45	/
	async—同期しないこと テストの練習問題	46～49・56	/
	問いかける言葉 テストの練習問題	50～53・57	/
	async—同期しないこと／問いかける言葉 読み比べ つながる読解	54～55・58～59	/
	書く 説得力のある批評文を書く	60	/
	しっかり解説 小論文の書き方	61	/
	文法2 助動詞のはたらき	62～65	/
	言葉2 相手に対する配慮と表現	66	/
	漢字・語句のまとめ4	67	/
5	旅への思い——芭蕉と『おくのほそ道』—— テストの練習問題 つながる読解	68～75	/
	和歌の調べ——万葉集・古今和歌集・新古今和歌集——	80～87	/
	風景と心情——漢詩を味わう—— テストの練習問題	92～95	/
	最後の一句	98～100	/
	漢字3 異字同訓	102	/
	言葉3 慣用語・ことわざ	103	/
	漢字・語句のまとめ5	104	/
6	俳句の味わい／俳句十五句	105～111	/
	初恋	114～115	/
	◆すらすら読解ガイド4 文学的文章◆	116	/
	故郷 テストの練習問題	117～129	/
	漢字4 四字熟語	134	/
	漢字・語句のまとめ6	135	/
8	バースデイ・ガール	138～139	/
	青春の歌	140～141	/
	文法3 文法のまとめ	142～144	/



# ワークの使い方

このワークは

**読解力** が身につく

構成になっているよ！



すらすら**読解ガイド**

まず**ココ**

**読解1** 順番に読み取ろう

**読解2** 全体を捉えよう

**読解3** 全体を讀めたかな？

**読解3** 深めよう

テストの練習問題

つながる読解

わからない時は戻って確認！

ステップ式の語句問題で、語彙力UP！

まず**ココ**で、文章の大まかな流れをとらえよう！

**読解1**で、様々なパターンの問題に取り組もう！

すらすら**読解ガイド**

1 文章の構成は？

注目ポイントは**ココ**！

- 1 発端
- 2 展開
- 3 山場、結末
- 4 語り手と視点人物

まず、

すらすら**読解ガイド**で、

読み方のポイントを学ぼう！

4回あるよ！

**読解2**は、表形式で全体をとらえよう！

**読解3**は、記述問題で考えを深めよう！

**読解1**で、文章全体を讀めたか最終チェック！

テストの練習問題

オパールと象

テスト形式で実践練習！

学んだことを、教科書以外の文章で再確認！

3ステップで、字数の多い記述問題もラクラク！



# 答え方のキホン

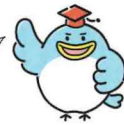
## 1 マス目を正しく使って書くこう！

「**原稿用紙の使い方**で」という指示がない場合

約束1 一マスに一文  
字書く。

美しい景色

ほとんどの  
間いが、この  
パターンだよ。



約束2 句読点(。や  
記号(「」？など)も

一マス使う。

私は、元気だ。

一マス使う。

**例外** 「句読点は字数に含まない」と問題文にある場合は、  
句読点は字数には数えず、解答欄にも書かない。

「**原稿用紙の使い方**で」という指示がある場合

約束1 書き出しと段落の初めは一マス空ける。

約束2 行の初めに句読点(。や引用を閉じるかぎ(「)がくる場合は、  
は、前の行のいちばん下のマスに文字と一つしよに書く。

私のしゅみは読書だ。  
好きな本のジャンルは  
推理小説だ。

## 2 抜き出しと自由記述の違いを理解しよう！

抜き出し…「〳を抜き出さない」という問いかけの問題。

教科書の言葉を一字一句そのまま抜き出して書く。

自由記述…「〳を書きなさい」という問いかけの問題。

教科書の言葉を使って、問いに合った形に書き換える。

「**抜き出し問題の答え方のキホン**」

キホン1 教科書の通りに抜き出す。

**例** 教科書の言葉「ちよう集め」を  
抜き出す場合。

ちよう集め

この違いを  
しっかり  
理解して  
おこうね。



キホン2 指示のある部分だけを抜き出す。

**例** 教科書の言葉「せめて例のち  
うを見たいと、僕は中に入った。」  
から初めの五字を抜き出す場合。

せめて例の

「**抜き出し問題の答えの探し方のキホン**」

キホン1 問題文の中にある言葉と同じ言葉を探す。

問題文の中の言葉	探し方
どういうことですか	「〳こと」の形の言葉を探す
どんな人ですか	「〳人」の形の言葉を探す

キホン2 「なぜ」「どうして」「理由は」と問われたら、「〳から」「〳ので」

「〳ため」を探す。

キホン3 「これ」「それ」「あれ」とは何か

と問われたら、前にある体言を探す。

答えを「これ」「それ」「あれ」の部分に当てはめてみて、意味が通るか確認しよう！





## 自由記述問題の答え方のキホン

**キホン1** 教科書の言葉そのままではなく、問いに合った形にして書く。

**例** 教科書の言葉「せめて例のちやうを見たいと、僕は中に入った。」

「僕は中に入った理由は何？」

**約束2** 使う語句の指示がある場合は必ず使う。

## 自由記述問題の答えの作り方のキホン

**キホン1** 文末を問いに合った形に変える。

問題文の中の言葉	文末
なぜか。	「から」
「ことか。	「ので」
「ためか。	「ため」

**キホン2** 字数を調整する。(主に字数を短くする。)

**① 言い換える** 意味を変えないで、短い言葉に書き換える。

**例** 五字以内で答える問いの場合

昨日の夜の十時 → 昨夜の十時

二文字オーバー

**② 削る** なくても意味が大幅に変わらない言葉を削る。

**例** 五字以内で答える問いの場合

とても大きな功績 → 大きな功績

三字オーバー

答え方

せめて例のちやうを見たかったから。

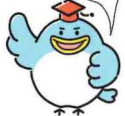
問いに合わせて書く。

×の例

せめて例のちやうを見たい。

教科書の抜き出しでは理由を答える形になっていないので×。

理由を答えるときは、「〜から」「〜ので」などの形で書くといよい。



特に指示がない場合は、句点(。)まできっちり書く。ただし、空欄に答えを補う問いで、あとに言葉が続く場合は、句点が不要な場合もあるので要注意!

## これからいっしょに勉強する仲間たち



森さん



谷さん



ワカッタ博士  
謎のものの知り博士!



原さん



西さん



先生

### 登場人物

自分で線を引いて確認する  
のもおススメ!



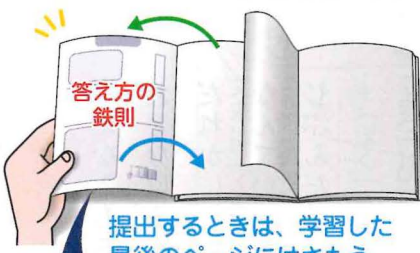
気をつける部分の色を変えて  
あるのでわかりやすいよ!



問題文の  
● 答えの形に関わる部分  
(書き出し・文末など)  
● 字数・使う語句・答えの数に  
関わる部分  
に、気を付けて取り組もう!



巻末にある「しおり」を引き出そう。



提出するときは、学習した最後のページにはさもう。

### 答え方の鉄則

NG解答	OK解答
<p>例1 記号で答える問題</p> <p>答えは記号で書く!</p> <p>「は」は記号で答える問題</p> <p>「は」は記号で答える問題</p>	<p>例2 書き出しの問題</p> <p>一字一句そのまま書く!</p> <p>「は」は書き出しの問題</p> <p>「は」は書き出しの問題</p>

## 3 しおりで答え方を確認しよう!





①	
②	

じぶんだけのひみつのきもち



## 目標 一目標に沿った問題です

□

4 「よろこびだ しかしかなしみでもある……あこがれだ そして  
かりがかくれている」(16⑧)の部分は、「ぼく」のどのような様子を表  
しているか。一つ選びなさい。

ア 自分自身の内面を冷静に分析する様子。

イ 自分の感情をつかめず混乱する様子。

ウ 様々な感情が一度に湧いてくる様子。

エ 感情が次々に移り変わり一定しない様子。

5 「心のダムにせきとめられ／よどみ渦まきせめぎあい／いまあふれ  
ようとする」(16⑪)について、

(1) 「心のダム」とあるが、ここで使われている詩の技法を一つ選  
ばなさい。

ア 擬人法      イ 隠喩法

ウ 倒置法      エ 直喩法

(2) 「心のダム」とは何を表しているか。一つ選びなさい。

ア 自分の理性を封じ込めるもの。

イ 自分の理性を壊してしまうもの。

ウ 自分の感情を作り上げるもの。

エ 自分の感情をおさえるもの。

💡 「心のダム」にせきとめられているものはP.16⑧～⑩行に書かれている。

(3) この部分はどのような様子を表しているか。「相反する」「あふ  
れる」の二語を使って、三十五字以内で書きなさい。(「相反する」「あ  
ふれる」は語の形を変えてもよい。)



書くヒント



——線の内容を使って答えを作ろう！

内容

「よろこびだ……いまあふれようとする」(16⑧～⑬)

↓「ぼく」の心の中にある相反する感情。

↓あふれようとする様子を捉える。

答え方

「相反する」「あふれる」の語を使う。

文末は「様子。」などにする。


28

□

6 「あの空のあの青に手をひたしたい……あしたとあさってが一度に  
くるといい」(17②)の部分には、「ぼく」のどのような思いが表現され  
ているか。一つ選びなさい。

ア 自然に対する好奇心。      イ 未来への希望や期待。

ウ 芸術への愛情や情熱。      エ 現状に対する満足感。

💡 「あの」や「あした」「あさって」の言葉のイメージを捉えよう。

7 「ぼくはもどかしい」(17⑥)とあるが、心の中にどんな気もちがある  
からか。一つ選びなさい。

ア 前進したい気もちと踏み出すことへの不安の気もち。

イ 明日に期待する気もちと今日に絶望している気もち。

ウ 孤独を楽しみたい気もちと温かさに触れたい気もち。

エ 自分を信じたいたい気もちと自分を信じられない気もち。

💡 「もどかしい」とは「思うようにならず落ち着かない」という意味。



知

漢字

漢字の右に読みを書こう

東京の町並と富士山

教科書

p.18~23

目標

文章の展開の仕方に着目し、  
筆者の見方や考え方を捉えよう



デジタル

# 1 立ってくる春

学びを生かす

川上弘美

★は新出漢字

思

まず

場面と人物を捉えよう

## 回想の場面

過去

現在

過去

筆者が過去を回想して語る随筆

時代・日時 昭和半ばの

①

月

②

日の朝

筆者は、今でも

「立春」と聞くと……

です。③

とは、どんなものなのだろう。④

私……

疑問

話題

祖母……「暦の上では、ほら。」

人物

祖母・私（小学生のひろみちゃん）

「回想」は、現在から過去を思い返すこと。過去のできごと

や、それに対する筆者の現在の思いを読み取ろう。

解説

ちよつと

鬼

おに 10画

縫

いとへん 16画

妖

おんをへん 7画

暦

ひ 14画

鬼

鬼（訓読み）

妖

妖（訓読み）

怪

怪（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）

縫

縫（訓読み）&lt;/



[illegible]

30

「様子。」などの形で書く。

立春はまだ先なのでしばらく寒い日が続くということ。



2

①～⑧に入る言葉を抜き出そう

全体を  
読めたかな？

この文章の内容と合うものを、一つ選ぼう。

ア 筆者は「春が立つ」ことを感情に訴<sup>うた</sup>える感動的な文章で書いている。  
イ 筆者は「春が立つ」ことについて、科学的に実証して述べている。  
ウ 筆者は「春が立つ」謎についての個人の考えを自由に書いている。

思

講解

### 3 深めよう

筆者の表現の工夫に対する自分の考えをまとめよう

問

**問** この文章は、随筆という種類の文章だが、文学的文章、説明的文章と似ているところ、または異なるところを挙げて特徴を書きなさい。

● 文学的文章の特徴：場面や様子などを描くときに、会話を交える。人物の感情を丁寧（ていねい）に追う。

● 説明的文章の特徴：客観的事実などを基に、わかりやすく説明したり筆者の考えを論理的に述べたりする。

人物の感情を丁寧<sup>ていねい</sup>に追う。

筆者の考えを論理的に述べたりする。

現在

## 「立春」との出会い

時代：昭和半ば  
場所：東京  
時期：二月初旬

東京  
時期：二月初旬

祖母

私  
…  
日本の

「今日から春ですよ」

まだ冬だと答えた。

「立春ですよ」

立つ春とは？

・春は、こまやかな

あるものに満ちている。

・ 立つてくる春は、さまざまな小さい

で埋めつくされた

のようなもの。

・その春が

のように次第に高くのぼる。

私は、

を決め

した。

一枚の絵が地平線の向こうにゆっくり上がってくる。

「春が立つ」謎は、今も私の中に居つづけて、「立春」と

聞くと、水平線から

5

くる靄のような絵を思い浮かべる。

納得

疑問

納得できない

4



全体を  
読めたかな？

この文章の内容と合うものを、一つ選ぼう。











筆者の考え	アンネの例	洋二郎さんの例	物語について
<p>・個人の物語 ↓<sup>⑦</sup> へと生まれ変わる。</p> <p>・(作者)自由と ↓<sup>⑧</sup> によって、 ↓<sup>⑨</sup> を解放する。</p> <p>(読者) 物語の作者の心に深く寄り添える。</p>	<p>・果てしない<sup>⑥</sup> ↓ の世界があった。</p> <p>・架空の友人に<sup>⑤</sup> ↓ を綴る。</p> <p>・<sup>④</sup> ↓ の危険への恐怖がつきまとう不自由な生活。</p>	<p>・<sup>②</sup> ↓ に押しつぶされそうになっている青年。</p> <p>・物語が彼と<sup>③</sup> ↓ をつなぎとめてくれた。</p>	<p>なぜ人は物語を生み出し続けるのか。↓</p> <p>困難の多い人生を<sup>①</sup> ↓ なものにしようとするから。</p>
物語の世界 = 安全地帯			

□ 思

読解 2 全体を捉えよう

①～⑨に入る言葉を抜き出そう

□ 思

読解 3 全体を讀めたかな？

この文章の内容と合うものを、一つ選ぼう。

ア 根拠として、筆者独自の解釈がされた歴史的事実を挙げている。

イ 根拠として、筆者個人の体験とそれに伴う感情を連ねている。

ウ 根拠として、筆者独特の感性で分析された出版物を紹介している。

□ 思

読解 3 深めよう

表現の工夫に対する自分の考えをまとめよう

問い

「立ってくる春」とくらべて、筆者は問いに対する答えをどのような形で示しているか。書き出しに続く形で、四十五字以内で書きなさい。

書くヒント

正しいものを○で囲んで、答えを作ろう！

内容

問いに対する答えは、はじめからもって(いる いない)。

根拠として示したのは(具体的 抽象的)な例。

「立ってくる春」は問いに対する答えを文章の中で考えていたが、この文章の筆者は、



# すらすら読解ガイド①

## 文学的文章

### 読解ガイド①

私

### 読解ガイド④

故郷

読み方のポイントを学ぼう！



デジタル

単元に関連したデジタルコンテンツへリンクしています

## 1 文章のテーマを読み取る

### 注目ポイントはココ！

文章のテーマを捉えるためには、まず、**キーワード**を探して、関連づけることが大切です。キーワードは、次の点に注目して読み取ります。

- ① 題名や繰り返し出てくる語

## 2 場面を読み取る

### 注目ポイントはココ！

文章のテーマを読み取ったら、次に、**場面**を読み取り、物語の展開を捉えます。場面は、次の三点に注目して読み取ります。

- ① 時間
- ② 場所
- ③ 登場人物

①～③の変化にも注目して読もう。



## 3 場面ごとのテーマとの関わり

を読み取る

### 教科書

教科書の文章で確かめて、下の□に入る言葉を抜き出そう。

キーワード・私（題名）・情報・データ・二重

教科書34ページの7行目を示しています

### 前半

午後一番の市民対応は、電話ではなく、来庁した若い女性だった。**(34⑦)**  
情報が二重登録されていたので、一方のデータを消したという実績はありません。**(38②)**

「消されたのは、私のデータなのです。」**(38⑦)**

・業務を終えた私は、五時半に庁舎を出て、帰り道に図書館に立ち寄った。**(42③)**  
・窓口の女性司書は、……バーコードを読み取ろうとする手を止めた。**(42⑧)**

### 後半

入力ミスで個人情報データが二重になることがあるのだ。逆に、「私」の存在そのものが二重になることもあるだろう。**(43⑧)**

・どちらが消えようが、同じ「私」なのだ。何の問題もない。**(44⑩)**

### テーマ

私が私であることを証明する  
① □  
② □  
という存在の関係。

### 前半

登場人物…私と □  
③ □  
した若い女性。

・二重登録された住民データ。

↓私…二つ存在した全く □  
④ □  
うちの一つ。情報の

↓女性… □  
⑤ □  
データとい

うのが、本当の私。

### 後半

登場人物…私と □  
⑥ □  
の女性司書。

・二重登録された貸出データ。

↓女性司書…「私」の存在が二重。

↓私…どちらが消えても □  
⑦ □  
。



教科書  
p.32~46目標  
登場人物のものの見方や考え方を  
捉え、人間や社会について考えよう

デジタル

1 私

学びを生かす

三崎亜記

単元に関連したデジタルコンテンツへリンクしています  
★は新出漢字、☆は新出音訓

## 漢字

漢字の右に読みを書こう

ページ

9 □	5 □ 36	1 □ 34
間髪を容れず	一致	督促
	6 □ 37	2 □ 35
	変更	尋ねる
	7 □ 39	3 □
	蓄積	お辞儀
	8 □ 42	4 □
	財布	特殊

## 髪

かみがしら

14画

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

「髪」は「毛」の類義語

知

## 語句

1

意味を調べる

5 □	4 □	3 □	2 □	1 □
積み重ね	内心	照合	…しうる	圧迫
36 17	36 15	36 3	35 12	34 9
意味	意味	意味	意味	文脈
				▼文章中ではどちらの意味ですか。 イ 強く押さえつけること。 威力などで相手を恐れさせること。
辞書	文例	文例	辞書	
「積み重ねる」で辞書を引こう。	平気を装ったが、内心は怖かった。	参加票と名簿を照合する。	「うる（得る）」で辞書を引こう。	

17 □	16 □	15 □	14 □	13 □	12 □	11 □	10 □	9 □	8 □	7 □	6 □
部署	しかるべき	いったん	…せざるえない	裁断	密接	重複	抱え込む	交える	寄り添う	推察	無理難題
44 10	44 10	44 4	43 15	41 8	41 4	41 1	40 10	38 12	38 9	36 18	36 17
意味	文脈	意味	意味	文脈	意味	意味	文脈	文脈	意味	意味	意味
	▼文章中ではどちらの意味ですか。 イ 当然の。 ふさわしい。			▼文章中ではどちらの意味ですか。 イ 布や紙などを切ること。 イ 物事のよしあしを判断して決めること。			▼文章中ではどちらの意味ですか。 イ 物を両腕で囲むように抱く。 負担になることを引き受ける。	▼文章中ではどちらの意味ですか。 イ つけ加える。 やりとりする。			
文例		文例	辞書						文例		文例
新しい部署に就く。		夏休みいったん日本へ帰国する。	「える（得る）」で辞書を引こう。		類義語を書こう	*「じゅうふく」とも読む。			住民に寄り添った政策。	類義語を書こう	無理難題をふっかける。

解く前に、**すらすら読解ガイド①** でポイントを復習!

【思考・判断・表現】の問題です

まず

場面と人物を捉えよう

出来事	人物	場所
⑦ 二重登録 データの	市民対応した人…「③」 来た人…若い⑤	前半 ①
⑧ 二重登録 データの	市民対応した人…④ 行った人…「⑥」	後半 ②

・原因は?  
・それぞれの対応や考えは?

ちよつと  
解説  
人物を対比することで、  
作品をより深く読むこ  
とができるよ。

2 ①の意味調べの言葉( )に入れ、文を完成させよう

□(1) 火星に生物は存在( )のだろうか。

□(2) 大事な会議があるが、発熱のため欠席( )。

□3 「⑭…せざるをえない」を使って短文を作ろう

【思考】  
読解  
1 順番に  
読み取る

場面ごとに、登場人物のものの見方を  
読み取る

【A】「役所での出来事」を読み取ろう 教科書34ページの7行目を示しています

□1 「午後一番の市民対応」(34⑦)は、何か。十一字で抜き出さない。

💡「不確定要素」の内容だよ。

□2 「私」が「内心の当惑」(36⑮)を覚えた理由を一つ選びなさい。

ア 督促状の宛名と身分証明書の内容との間に間違いがないこと  
を、女性にわかってもらえなかったから。

イ 宛名が身分証明書と違っていたのに、なぜ督促状が女性のも  
とに届いたのかわからなかったから。

ウ 自分宛てではないという督促状の宛名と、身分証明書の内容  
が一致することを女性自身が認めたから。

エ 督促状は自分宛てのものであると認めた女性が、「私」にな  
んらかの対応を求めているから。

□3 「事情を説明した」(38①)とあるが、どんな「事情」か。「〜という事情。」  
に続く形で、二十五字以内で書きなさい。

という事情。



の自分の情報ではない。

④に入る言葉を①・③は二字、②・④は三字で抜き出しなさい。

● ①にある「私」の ②が全てなくなったら、「私」の

③ そのものも ④ しまうのではないかと想像。

【B】「図書館での出来事」を読み取ろう

□ 1 「二重になっている」(42⑭)と言った司書の女性とその言葉に納得した「私」の捉え方を次のように整理したとき、□に入る言葉を、それぞれ**5字**で抜き出しなさい。

私	司書
<p>①</p> <p>三冊借りたという</p> <p>なっている。</p> <p>が二重に</p>	<p>②</p> <p>を借りた。</p> <p>が二重になって三冊ずつ本</p>

目標 □ 2 「私はようやく合点がいった」(43⑧)とあるが、「私」はどのように考えたのか。「私」「三重」「借りた」の三語を使って、三十五字以内で

書きなさい。

書くヒント

— **線**の内容を使って答えを作ろう！

「私」が司書の言った言葉を解釈している部分P.43⑧～⑩行から探す。

↓「私」の存在そのものが二重になることもあるだろう。

↓もう一人の「私」が、一昨日図書館で三冊の本を借りた。

「私」「二重」「借りた」の語を使う。文末は「〜と考えた。」などの形で書く。

[illegible]

3 「正常な状態に戻す」(44⑥)とあるが、具体的にはどうするというこ  
とか。一つ選びなさい。

ア 一昨日「私」が三冊の本を借りたという、間違つた貸出データを削除すること。

イ二重に存在する「私」の個人情報データはどちらも同じなので、どちらか片方を削除すること。

ウ「私」と、一昨日に三冊の本を借りたもう一人の「私」のどちらかの存在自体を消すということ。

工 一週間前に本を借りた「私」と、一昨日に三冊の本を借りたもう一人の「私」の個人情報をもとにするということ。

思

読解

2

全体を  
捉えよう

1

①⑬に入る言葉を抜き出そう

思

読解

3

深めよう

3ステップで記述しよう

**問い** 作者は、「私」が情報として記号化される出来事を通して、読者にどんなことを考えさせているか。六十字以内で書きなさい。



答えの前半 ↓ 答えの後半 の順番に  
考えよう！

ステップ1 答えの前半

「女性」「司書」「私」の、それぞれのデータに関する考え方としてふさわしいものを線で結び、に入る言葉を①は三字、②は二字で書きなさい。

女性・ データが「私」を証明するので、二重になったデータのどちらも正しい。	司書・ 二重になったデータのどちらが消えても問題ない。	「私」・ 二重になったデータの一方が本当の「私」で、片方は誤り。
--	--------------------------------	-------------------------------------

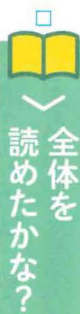
①  
に関する考え方が人によって

②

前半 一つめの出来事		
結末	展開	発端
<p>・住民情報データと個人の <input style="width: 60px; height: 40px;" type="text"/> な結びつき。↓驚き</p> <p>「私」の対応・我ながら満足いく「<input style="width: 60px; height: 40px;" type="text"/>」 対応。</p> <p>女性・「ああ！確かに私の名前です！」→安堵・嬉しそう</p>	<p>・情報管理課に確認… <input style="width: 60px; height: 40px;" type="text"/> した一方を消去。</p> <p>女性・「消去したデータを <input style="width: 60px; height: 40px;" type="text"/> してもらえますか」</p> <p>・消去したデータのほう <input style="width: 60px; height: 40px;" type="text"/> の自分の名前。</p> <p>「私」の対応</p> <p>・住民データの <input style="width: 60px; height: 40px;" type="text"/></p>	<p>女性・督促状が「私宛てではないような気がする」</p> <p>「私」の対応・役所の窓口で市民対応。</p> <p>・身分証明書の確認… <input style="width: 60px; height: 40px;" type="text"/> を発見することができない</p>



- ア 役所は二重登録されたデータの両方を間違って消去してしまった。  
 イ 女性是一方のデータの消去を存在自体が消されたように捉えた。  
 ウ 「私」は自分という存在が二人いることに納得できなかった。  
 エ 「私」は覚えのない「私」の貸出データの消去を希望した。



この文章の内容と合うものを、一つ選ぼう。

## 後半 二つめの出来事

結末	展開	発端
<p>「私」・どちらの「私」が<sup>⑬</sup></p> <p>司書の対応<sup>⑫</sup>・担当部署に二重状態の</p> <p>「私」・私にはこの五冊を借りる権利がある</p> <p>司書の対応<sup>⑪</sup></p> <p>「私」・もう一人の「私」が、三冊借りたにちがいない。</p> <p>「私」・二重になっているのは、あなた<sup>⑩</sup></p> <p>貸出ができるようにしてもらえますか」</p> <p>データが二重なので、<sup>⑨</sup></p> <p>「私」<sup>⑧</sup></p> <p>「私」・図書館の窓口で五冊借りようとするが、借りられない。</p>	<p>あなたに制限を超えて貸し出せない。 ↓ すぎない</p> <p>よどみない</p> <p>を依頼。</p> <p>されても問題ない。 ↓ 満足</p>	

### ステップ2 答えの後半

作者はこの文章を通してどんなことを読者に考えさせているか。あとの言葉に続く形で、「存在」「証明」の二語を使って、二十字以内で書きなさい。

16

### ステップ3 つなげる

ステップ1とステップ2の内容をつなげて、

問いの答えを整えよう。

ステップ1の事例によって示されたことをまとめる

答え

示すことで、

について考えさせている。

ステップ2で答えた内容を、「考えさせている。」の形でまとめる

三崎亜記

彼女は、私の言葉を遮るように勢い込んで尋ねた。

「……ええ、そうなります。」

「消されたのは、私のデータなのです。」

まるで、存在自体が消されてしまったかのように、

彼女は心細げであつた。私は彼女の心に寄り添う姿勢を見せるべく、大きくうなずいた。

「確かに、あなたの情報は消去されました。ですがそれは、二つ存在した全く同じ情報のうちの一つなのです。どちらが消されても、残った情報はあなた自身のもですよ。」

身ぶりを交え、親身になっていることを強調した私の説明に、彼女は悲しそうに□ばかりだ。

「経験していない人には、わからないでしょうね。」

督促状に印字された名前に、彼女は敵意のこもった視線を落とす。

危険な兆候だ。その「敵意」が、こちらに向けられないよう、対応はさらに慎重を期さねばならない。

「字面<sup>じめん</sup>が一緒というだけで、ここに記されているのは、『私』の名前ではないんです……。」

「わかりました。それでは、どういった解決策が取れるかを、一緒に考えてみましょう。」

歩み寄りの姿勢を見せることで、相手に、問題をともに解決する「味方」として認識させることが肝要だ。



- ①②は各20点・他は各10点※411は完答。

100

- (1) 「消されたのは、私のデータなのです」<sup>①</sup>とあるが、彼女はデータを

何であると考えているか。**四字**で文章中から抜き出しなさい。

- (2) 「残った情報」についての二人の考え方をまとめた次の文の□□ ①・

②に入る言葉を、それぞれ「情報」の語を使って、十字以内で書きなさい。

7つ ↓ ④

- 「私」は  ① と考えているが、彼女は  ② と考えている。
- (3)  に入る言葉を一つ選びなさい。

ア 首を振る  
イ 口を拭う  
ウ 目を細める  
エ 息をのむ

- (4) 「<sup>③</sup>危険な兆候」について、

- I 「危険な兆候」とは、どのようなことの兆候か。次の文の□□ ①・②

● ① に対する彼女の ② が 「私」 に向けられること。

- Ⅱ 「私」は、どうすることで危険を回避しようとしたのか。四十五

字以内で抜き出し、初めと終わりの五字を書きなさい。

[illegible]



## 別の文章でたしかめよう

## つながる読解

摂津半国の主であった松山新介の侍大将中村新兵衛は、槍の名手で「槍中村」と恐れられていた。新兵衛の身につける猩々緋の羽織と唐冠纓金のかぶとも戦場の花形であった。

こうして槍中村の猩々緋と唐冠のかぶとは、戦場の華であり敵に対する脅威であり味方にとっては信頼の的であった。

「新兵衛殿、折り入ってお願ひがある。」と、元服してからまだ間もないらしい美男の侍は、新兵衛の前に手をついた。

「何事じゃ、そなたと我らの間に、さような辞儀はいらぬぞ。望みというを、はよう言つてみい。」と育むような慈顔をもって、新兵衛は相手を見た。

その若い侍は、新兵衛の主君松山新介の側腹の子であった。そして、幼少の頃から、新兵衛が守役として、我が子のように慈しみ育ててきたのであった。

「ほかのこともおりない。明日は我らの初陣じゃほどに、なんぞ華々しい手柄をしてみたい。ついでには御身様の猩々緋と唐冠のかぶとを貸してたもらぬか。あの羽織とかぶとを着て、敵の目を驚かしてみようぞ。」

「ハハハハ。念もないことじゃ。」新兵衛は高らかに笑った。新兵衛は、相手の子供らしい無邪気な功名心を快く受け入れることができた。

「が、申しておく、あの羽織やかぶとは、申さば中村新兵衛の形じやわ。そなたが、あの品々を身につけるうえからは、我らほどの肝魂を持たいではかなわぬことぞ。」と言いながら、新兵衛はまた高らかに笑った。

(菊池寛「形」より)

\*元服…男子の成人を示す儀式。

\*側腹…正妻以外の女性から生まれること。また、その人。

\*ほかのこともおりない…ほかのことでもありません。

## 1 考え方を捉える問題

「あの羽織とかぶと」について、

□(1) 新兵衛は、「あの羽織とかぶと」

を別の言葉で何と表現しているか。

七字で抜き出さない。


7

□(2) 若い侍が、「あの羽織とかぶと」を借りようとしたのはなぜか。二つ書きなさい。


ちよつと  
解説

登場人物の考え方は、人物の行動やセリフを通して表現されている場合もある。特に同じ事物に複数の人物が関わる時は、扱いなどの違いがないか注目しよう。

例 猩々緋と

唐冠のかぶと

新兵衛…長年の功名の積み重ね。つまり今まで  
の実力の現れであり、自分そのもの。  
若い侍…戦場の華であり、敵に対する脅威なの  
で、自分も身につけてみたい。



2 唐冠纓金のかぶと 1 猩々緋の羽織



7 p. 15 A 5

## 漢 字

知

①～⑫は——線の漢字の読みを書き、  
⑬～⑮は漢字に直して書きなさい。

- ⑫ □ とんだ代物だ。  
⑪ □ 血眼で探す。  
⑩ □ 歩合制の給料。  
⑨ □ 議題に上せる。  
⑧ □ 専ら球拾いだ。  
⑦ □ 話を承る。  
⑥ □ 街道沿いの店。  
⑤ □ 革のベルト。  
④ □ 頭髪を整える。  
③ □ 財布を忘れる。  
② □ 道を尋ねる。  
① □ 妖術を操る。
- ⑭ □ うずまき模様  
⑬ □ ミシンのぬい目。  
⑫ □ こよみにある行事。  
⑪ □ 心をおににする。  
⑩ □ ギョカク量が多い。  
⑨ □ たましいをこめた作品。  
⑧ □ ギセイ者をいたむ。  
⑦ □ 父にあてた手紙。  
⑥ □ 開発をソクシンする。  
⑤ □ レイギ正しい。  
④ □ トクシユな製法。  
③ □ 五輪をシヨウチする。
- ⑮ □ 予定をヘンコウする。  
⑭ □ 米をビチクする。  
⑬ □ はたを織る。  
⑫ □ 学問をきわめる。  
⑪ □ 米をとぐ。  
⑩ □ 町長をやめる。  
⑨ □ 布をたつ。  
⑧ □ 子供をさずかる。  
⑦ □ 男まさりな性格。  
⑥ □ テンニヨの羽衣。  
⑤ □ 参加をしいる。  
④ □ 顔をそむける。  
③ □ 考えること。
- ⑯ □ なごやかな空気。  
⑮ □ 愛ゆえの苦しみ。  
⑭ □ 技術をきそつ。  
⑬ □ 夜明けのまきば。  
⑫ □ コンジャク物語集。  
⑪ □ ショウニ用の薬。  
⑩ □ キョウコクのつり橋。  
⑨ □ 書きぞめ大会。  
⑧ □ 夕日にはえる山。  
⑦ □ タンものを織る。  
⑥ □ こわだかにさけぶ。  
⑤ □ すけだちをする。  
④ □ 船がはとばに着く。

## 語 句

知

1 次の——線部の語句の意味を一つ  
選びなさい。

□ (1) 24 理不尽な要求を断る。

ア 人には理解できない

イ 道理に合わない

ウ 理屈でおし進める

□ (2) 44 しかるべき処置を施す。

ア 厳格な

イ しかたない

ウ ふさわしい

2 次の□に合うものを一つずつ  
選びなさい。

□ (1) 25 弟の奇想□な行動に驚く。

□ (2) 36 無理□を押しつけられる。

ア 無事 イ 難題

ウ 天外 エ 雑言

3 類義語の組になるように、□に合  
う漢字を一つずつ選びなさい。

□ (1) 36 推察□推□

□ (2) 41 密接□密□

ア 緊 イ 秘  
ウ 計 エ 量









5 「あんなにきれいな服を着ていた女の人たちがいたのはなぜか」(52下)とあるが、この問いに対する答えを一つ選びなさい。

ア 国内の物資に余裕があることを外国に示すために、軍からおしゃれをするように言われていたから。

イ 戦時下でもおしゃれをしたかったので、地味な服の下に、ひそかに身につけていたから。

ウ おしゃれで高価な服が盗まれてしまわないうように、常に身につけている必要があったから。

エ 戦争中の品不足により、もんぺや地味な上衣の配給が不足し、きれいな服を着るしかなかったから。

きれいな服を着ていた女の人たちに関する説明の部分に注目しよう。

### 【C】筆者の思いを読み取ろう

1 「私は自分の仕事で、白い手袋をはめた学芸員の手のようであればいいと願う」(54下)とは、どのような思いを表しているか。一つ選びなさい。

ア 人々の目から隠されているものを、はっきりと示してあげたい。  
イ 美しく貴重なものをたくさん集め、人々の注目を多く集めたい。  
ウ 気づきにくいものによって、人々の共感を生み出していきたい。  
エ 何気ないものを多く使うことで、見た人々を感動に誘いたい。

鮮やかな赤い薔薇のボタンが現れた時の筆者の感動に注目しよう。



1 もんぺ姿の女学生

(1～4：毎日新聞社提供)

4 防空服



3 もんぺ式の国防服



2 1944年頃 婦人防護服



戦時下の女性の服装

グラフィック資料



デジタル

#### 標準服

戦時中、衣料は配給制となり、決められたものの中でのしか服や布を購入することができませんでした。そのため、衣服の多くは手持ちの着物から縫い直して作られました。また、国によって服装の指標が定められ、華美な服装は抑制されていきました。

#### もんぺ

元々東北の農村部で着られていた「もんぺ」ですが、動きやすさや着物からの作りやすさの観点で全国に広がっていきました。国によって推奨されたこともあり、戦時下の協力体制の象徴ともなりまして。

#### 防空服

空襲時の服装として、肌を出さず、物を落とさないような服が着られました。



## 原子爆弾

## 1 原子爆弾のきのこ (米軍撮影)

一九四一年、日本がアメリカに宣戦布告したことから太平洋戦争が始まりました。戦況は次第に日本に不利になり、一九四五年七月二十六日、アメリカなどは日本に降伏を求めるポツダム宣言を発表します。これに対し回答をしなかったため、アメリカは八月六日に広島、九日には長崎に原子爆弾を投下しました。

## グラフィック資料



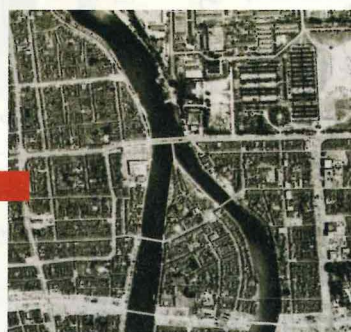
デジタル

## 原爆の悲劇

2 エノラ・ゲイ  
広島に原子爆弾を投下した爆撃機 (B29)



4 被爆後の広島 1945年8月8日  
(米軍撮影)



3 被爆前の広島 1945年7月25日  
(米軍撮影)



3m

5 リトルボーイ  
1945年8月6日午前8時15分に広島に投下された原子爆弾。

## 7 広島の被害



## 6 被爆した広島 (爆心地付近)

1945年末までに、約14万人が死亡したとされている。





## ▼新聞記事の比べ方



□に入る言葉を抜き出そう。□

知

情報

## 新聞が伝える情報を考える

教科書

p.66-69



## 2 社説を比べる

社説は、記事のできごとについて、その新聞社の意見を述べたものである。次のような点からそれぞれの社説を読み、内容や特徴を比べる。

・できごとを見ている

・できごとから提示されている

・できごと自体に対する

## 1 構成を比べる

新聞の一面は、その日の新聞が中心に扱う記事によって構成される。また、記事の配置によって、新聞社が考えた情報がわかる。

1 「A新聞朝刊 社説」(68)と「B新聞朝刊 社説」(69)の内容をまとめた次の□①～⑤に入る言葉を□の字数で抜き出しなさい。

□A サッカーの世界の勢力図が変化してきている。その要因は、

①を活用したデータ解析や練習方法の普遍化や、②を越えて活躍する実力派指導者の存在にある。

↓他の競技が学ぶ③も多いだろう。

□B 「森保ジャパン」は、海外のチームで活躍する選手が大半を占め、技術力や精神力を磨いて世界で戦える④になったことを証明した。サッカー選手を目指す⑤たちに夢を与えた。

2 ①のような違いがあることを踏まえると、新聞を読むときにはどのようなことに注意すべきか。あなたの考えを書きなさい。

知



漢字の広場 1

呉音・漢音・唐音

教科書

p.70~71

1 呉音・漢音・唐音・慣用音の説明として適切なものを一つずつ選びなさい。

□ 呉音 □ 漢音  
□ 唐音 □ 慣用音

ア 奈良時代から平安時代にかけて中国から伝来した音。  
イ 日本で広く使われている音。  
ウ 平安時代以降に中国から伝来した音。  
エ 最も古い時代に中国から伝来した音。

2 次の漢字が(一)で示した読み方をする熟語を□から全て選んで書きなさい。

(1) 「頭」  
(漢音「トウ」) (呉音「ズ」)

頭皮 頭痛 頭髮 頭角 頭脳

(2) 「性」  
(漢音「セイ」) (呉音「ショウ」)

性分 性急 相性 性能 理性

知

漢字

漢字の右に読みを書こう

3 次の——線部の慣用音の読みを、平仮名で書きなさい。

(1) 情緒豊かな作品。

(2) 磁石が指す方角。

(3) 將軍の生母。

(4) 大工の弟子になる。

(5) 体力を消耗する。

(6) 船による運輸。



★は新出漢字、☆は新出音訓

唐  
くち 10画  
一 广 户 户 唐 唐

癒  
やまいだれ 18画  
广 广 广 疒 疒 疒 癒 癒 癒

17 □ 奨学金 13 □ 狂言 9 □ 仮病 5 □ 実践 1 □ 呉音  
18 □ 肯定 14 □ 静脈 10 □ 矯正 6 □ 煎茶 2 □ 唐音  
19 □ 呪文 15 □ 静寂 11 □ 平癒 7 □ 面 3 □ 修行  
20 □ 未曾有 16 □ 直轄 12 □ 一巡 8 □ 経文 4 □ 煩雑





知

文法

1

## 助詞のはたらき

教科書

p.72.  
p.284~288

## 助詞

活用しない付属語。さまざまな意味をつけ加えたり、語句と語句との関係を示したりする。

## 格助詞

主に体言につき、あとの語句との関係を示す。

が	を	に	で
主体 対象	対象 場所	時間 場所 相手 目的 変化の結果 受身・使役の 動作の主体	原因・理由 場所 手段・材料 数量
私が山田です。 海が好きだ。	木を切る。 京都を通る。	七時に行く。 村に住む。 兄に聞く。 見学に行く。 親になる。 虫に刺される。	雨で遅れる。 家で待つ。 車で行く。 一日で作る。
と	から	へ	より
共同の相手 引用 並立	起点 原因・理由	方向	比較の基準
母と歩く。 「はい」と言う。 青と赤を混ぜる。	上から投げる。 疲れから寝込む。	東へ進む。	花より団子。
の	や	並立	並立
主語(主文) 連体修飾 体言の代用			
私の好きな歌。 私のかばん。 その本は私のだ。 海や山が好きだ。			

## ココ大事

## 副助詞

格助詞は、「部屋へやの戸とから鬼おにが出でより」と覚えよう！  
いろいろな語句につき、意味をつけ加える。

は	対比
青色は好きだ。	
ほど	分量 程度
一週間ほどの旅。 彼ほど速くない。	

次のページに続きます。

## 確認しよう

## 1 格助詞

線部の格助詞はア、イ、ウのどれをつくっているか。一つずつ選びなさい。

- (1) 今日は西から雨になるらしい。  
□ (2) 彼の居場所は私が知っている。  
□ (3) ノートと筆記用具を用意してください。  
□ (4) 隣の人に話しかける。

ア 主語

イ 連体修飾語

ウ 連用修飾語

エ 並立の関係

## 2 格助詞

線部の格助詞の表す意味を一つずつ選びなさい。

- (1) うれしさから、笑みがこぼれる。  
□ (2) 荷物が半日で着く。  
□ (3) 飛行機で沖繩に行く。  
□ (4) 公園で犬の散歩をする。  
□ (5) 昨日からのどが痛む。  
□ (6) 駅へ妹を迎えに行く。  
□ (7) 明日は雪になるだろう。  
□ (8) 駅員に電車の運行状況を聞いた。

ア 場所

イ 目的

キ 手段・材料

イ 起点

オ 相手

ク 原因・理由

ウ 変化の結果

カ 数量

助詞を含む文節が修飾しているのが体言ならイを、用言ならウを選びましょう。



も	さえ	こそ
同類 並立	極端な例 限定 添加	強調
彼も行った。 犬も猫も好き。	水さえ飲めない。 水さえあればよい。 雪さえ降った。	次こそ成功させる。
でも	ばかり	
極端な例 例示	時間・程度 限定 完了	
幼児でもできる。 お茶でも飲む。	三日ばかり過ぎた。 兄ばかり話す。 見たばかりだ。	

## 接続助詞

主に用言や助動詞につき、前後の関係を示す。

から	ば	と	けれど	ながら
原因・理由	条件 並立	確定(順接) 仮定(順接) 仮定(逆接)	逆接	同時 確定(逆接)
暗いから怖い。	行けばわかる。 梅も咲けば、 桜も咲く。	降車すると走った。 暗い <u>と</u> 見えない。 寒 <u>かろうと</u> 平気だ。	雨 <u>だけ</u> と行く。	聞きながら書く。 幼いながら耐える。
ので	が	て		でも
原因・理由	逆接 並立・対比	原因・理由 並立 単順接続		確定(逆接) 仮定(逆接)
暗いので怖い。	見たが、知らない。 海も好きだが 山も好きだ。	働いて <u>疲</u> れた。 暗くて <u>狭</u> い。 帰宅して <u>休</u> む。		呼んでも来ない。 雨になっても行く。

## 終助詞

文や文節の終わりにつき、話し手や書き手の気持ちを表す。

か	な	ぞ
疑問 反語	禁止	念押し
彼は来るだろうか。 誰が信じようか。	しゃべる <u>な</u> 。	相手は強い <u>ぞ</u> 。
ね(ねえ)	の	な(なあ)
感動	疑問 念押し	感動
きれいだ <u>ね</u> (え)。 彼女も行く <u>よ</u> 。 本 <u>当</u> なの。		高い山だ <u>なあ</u> 。

副助詞・接続助詞・終助詞はこの表のほかにもあるよ。

## 3 接続助詞

線部の接続助詞のはたらきを一つずつ選びなさい。

- (1) 食べてみれば、おいしさがわかる。
- (2) 成功したがうれしくない。
- (3) この部屋は広くて、日当たりもよい。
- (4) 君が来るときと楽しくなる。

ア 仮定(順接) イ 逆接 ウ 並立 エ 条件

## 4 副助詞

線部の副助詞はどの意味をつけ加える役割をしているか。一つずつ選びなさい。

- (1) 運動は苦手だが、球技はできる。
- (2) 休日は買い物でもして過そう。
- (3) その仕事は私にしかできない。
- (4) 三年ほど花が咲ます。
- (5) 来年こそ富士山に登りたい。
- (6) 私もやりたい。

ア 分量 イ 限定 ウ 例示  
エ 強調 オ 対比 カ 同類

## 5 終助詞

線部の終助詞の表す意味を一つずつ選びなさい。

- (1) 昨日見た映画はすばしかったなあ。
- (2) そんなに慌ててどこに行くの。
- (3) 急いでいても、廊下を走るな。
- (4) あと少しで作品が完成するぞ。

ア 感動 イ 疑問 ウ 念押し エ 禁止



## 練習しよう

## 1 格助詞

——線部の格助詞が表す意味が  
他と異なるものを一つずつ選びなさい。

(1)

- ア 父のふるさとに行く。  
イ 私の好きな曲を弾く。  
ウ 花火は夏の風物詩だ。  
エ 海の上にヨットが浮かぶ。

(2)

- ア 先生に課題を提出する。  
イ あの人に聞いてみる。  
ウ 公園で友人に会う。  
エ いつかは皆大人になる。

(3)

- ア 彼と共同で代表になる。  
イ 犬と猫を飼っている。  
ウ 電車とバスで行く。  
エ 父と母が出かける。

(4)

- ア 誕生日に花がほしい。  
イ 私が昨日電話した。  
ウ 兄は山登りが好きだ。  
エ 病気の弟が心配だ。

(5)

- ア 緊張して足が震える。  
イ 部屋で本を読む。  
ウ 工場で見学をする。  
エ 旅先で観光船に乗る。

## 2 接続助詞

——線部の接続助詞が表す意味が他と異なるものを一つずつ選びなさい。

(1)

- ア 走ったが、遅刻した。  
イ 叫んだが、聞こえない。  
ウ 字がうまいが、絵もうまい。  
エ 怒られたが、気にしない。

(2)

- ア 急げば、間に合う。  
イ 読めば、理解できる。  
ウ 右に進めば、着く。  
エ 野球もすれば、卓球もする。

(3)

- ア 食べながら、会議をする。  
イ 本を見ながら、書き写す。  
ウ 走りながら、手を振る。  
エ 新人ながら、積極的だ。

(4)

- ア 右に曲がると近道だ。  
イ 風が吹くと木々が揺れる。  
ウ どうなろうとかまわない。  
エ 兄がいると安心する。

## 3 副助詞

——線部の副助詞が表す意味が他と異なるものを一つずつ選びなさい。

(1)

- ア 姉は出かけたばかりだ。  
イ できたばかりの料理を盛る。  
ウ 妹はサッカーばかりしている。  
エ 詳しく聞いたばかりだ。

(2)

- ア お菓子でも買おう。  
イ そばでも食べよう。  
ウ 映画でも見に行きたい。  
エ 私でも理解できる。

(3)

- ア 元気でさえいればよい。  
イ 大人でさえ手こずる問題だ。  
ウ テレビさえ見る時間がない。  
エ 歩くことさえできない。

## 4

助詞の種類が他と異なるものを一つずつ選びなさい。

□(1)

ア 近所の犬がほえる。

イ 祖父からはがきが届く。

ウ 目覚まし時計が鳴る。

エ 急いだが遅刻した。

□(2)

ア 明日から新しい靴を履く。

イ 心配から眠れなかった。

ウ 遅いから早く寝よう。

エ 二階から妹が呼んでいる。

□(3)

ア 大雨で電車が不通になる。

イ 母の帰りを家で待つ。

ウ バスでぶどう狩りに行く。

エ コップに水をくんでくる。

□(4)

ア 友人と買い物に行く。

イ 雨が降ると地面がぬかるむ。

ウ ドアが開くと音が鳴る。

エ 負けていようとあきらめない。

※**ココ大事** 「が」  
体言や「の」につけば格助詞、  
つかなければ接続助詞です。



※**ココ大事** 「から」  
体言につけば格助詞、用言か  
助動詞につけば接続助詞です。



※**ココ大事** 「で」  
体言のあとにあれば格助詞、  
用言の連用形の音便のあとに  
あれば接続助詞です。



※**ココ大事** 「と」  
体言か引用のあとにあれば格  
助詞、用言か助動詞のあとに  
あれば接続助詞です。



## 5

各文の ( ) に入る □ の意味の語を、あとの □ から選んで書きなさい。(同じ語は二回使わないこと。)

□(1) 一人前になる ( ) 数年の修業をした。

到達

□(2) 三月には一週間 ( ) 旅行に行く。

分量

□(3) 週末は散歩に ( ) 行きませんか。

例示

□(4) 赤 ( ) 緑のほうが好きだ。

比較の基準

□(5) 山田さん ( ) リーダーにふさわしい。

強調

□(6) 暗い ( ) 、電気をつける。

原因・理由

□(7) ペンキを塗った ( ) のベンチ。

完了

□(8) 寒い ( ) 薄着をしている。

逆接

□(9) 時間がないが、せめて飲み物 ( ) は買いたい。

限定

□(10) 食べ ( ) 話すのはやめなさい。

同時

□(11) 走ることはおろか、歩くこと ( ) できない。

極端な例

□(12) 今はこのぐらい ( ) 話せない。

限定

こそ ので さえ まで のに ばかり  
でも しか ほど より だけ ながら

( ) の中に入られても、□ の意味  
にならないければ正解にならないよ。





## 漢 字

知

★ ①～⑫は——線の漢字の読みを書き、  
⑬～⑤⑩は漢字に直して書きなさい。

- ⑫□ 呪文を唱える。  
⑪□ 現状を肯定する。  
⑩□ 病気が治癒する。  
⑨□ 歯を矯正する。  
⑧□ 71 面目を失う。  
⑦□ 煎茶を飲む。  
⑥□ 70 修行の旅。  
⑤□ 65 裁判が始まる。  
④□ 優勝パレード。  
③□ 59 専門家に聞く。  
②□ 52 惨劇が起こる。  
①□ 50 岩石を爆破する。

- ⑭□ 50 かべにぶつかる。  
⑮□ 52 テイネイに作業する。  
⑯□ 53 血もなみだもない。  
⑰□ 肉をかたまりで買う。  
⑱□ 59 会費をチヨウシュウする。  
⑲□ 活発にトウロンする。  
⑳□ 61 テンラン会に行く。  
㉑□ ザダン会を開く。  
㉒□ ヤクわりの分担。  
㉓□ ことなる意見。  
㉔□ 映画のヒビョウ。  
㉕□ カンチョウの時刻。

- ㉖□ 63 後ろすがたを見送る。  
㉗□ ダンソウを調べる。  
㉘□ ねダンを聞く。  
㉙□ 64 むずかしい問題。  
㉚□ タンジヨウ日を祝う。  
㉛□ 65 法にしたがう。  
㉜□ 教科書のうら表紙。  
㉝□ 32 カンケツな文。  
㉞□ 67 週刊シを買う。  
㉟□ 70 ゴフクを売る。  
㊱□ 中国のトウの時代。  
㊲□ ハンザツな作業。  
㊳□ 理論をシッセンに移す。

- ㊴□ 71 おキョウを唱える。  
㊵□ ケビョウを使う。  
㊶□ 地域をジュンカイする。  
㊷□ 観客がネツキョウする。  
㊸□ ジョウミヤク注射。  
㊹□ セイジヤクを破る。  
㊺□ 国がカンカツする。  
㊻□ スイシヨウする本。  
㊼□ ミゾウの事件。  
㊽□ 72 カシを覚える。  
㊾□ 73 タイシユウ文学。  
㊿□ 薬をシヨホウする。  
㊽〇□ 74 日がくれる。

## 語 句

知

1 吳音・漢音・唐音 70～71 次の——線部の読み方が他とことなるものを一つずつ選びなさい。

- (1) ア 定食 イ 定規  
ウ 決定 エ 否定  
□ (2) ア 有数 イ 有料  
ウ 有識者 エ 有頂天

2 次の——線部の語句の意味を一つずつ選びなさい。

- (1) 52 梅雨明けは暑いと相場が決まっている。

ア 基準となるもの

イ 取引されるときに値段

ウ 世間一般の評価

□ (2) 53 事故の経緯を調べる。

ア 報道された内容

イ 出来事のいきさつ

ウ 本当に起こったこと

3 54 ——線部の語句を使った文として適切なものを一つ選びなさい。

ア 相手の激怒にあらわになる。

イ 暗闇で景色があらわになる。

ウ 雪解けて山肌があらわになる。

# すらすら読解ガイド②

## 説明的文章

読解ガイド②

AIは哲学できるか

読解ガイド③

async一回期しないこと

問いかける言葉

読み方のポイントを学ぼう！



デジタル

## 1 文章のテーマをつかむ

注目ポイントはココ！

まず、キーワードを探して、文章のテーマをつかむことが大切です。キーワードは、文章の次の点に注目して探します。

1 題名や繰り返し出てくる語

## 2 筆者のものの見方・考え方を捉える

注目ポイントはココ！

次に、文末表現に注目して、テーマに対する筆者のものの見方・考え方を捉えます。次の表現に注目して読み取ります。

1 筆者自身の考えや主張を強く述べる表現

2 読者に呼びかけ、考えを促す表現

：「だろうか」「と考えたい」といった言葉に注目する。

## 3 論理の展開を捉える

段落の要旨を捉え、筆者の考え方の根拠や論理の流れを読み取ります。

教科書

教科書の文章で確かめて、下の□に入る言葉を抜き出そう。

キーワード

・AIは哲学できるか(題名)

・人工知能(AI)(78①)

・人工知能に過去の哲学者たちの全てのテキストを読み込ませて、……人間が考えそうな哲学的思考パターンがずらつとそろつ(79②)

疑問 哲学的人工知能は本当に哲学の作業を行っているのだろうか(79①)

答え 外部から入力されたデータの中に未発見のパターンを発見したり、人間によって設定された問いに解を与えたりするだけならば、それは哲学とは呼べない(79⑫)

理由 そもそも哲学は、自分自身にとって切実な哲学の問いを内発的に発するところからスタートするのである(79⑭)

人工知能は、このような切実な哲学の問いを内発的に発することがあるのだろうか。そういうことは当分は起きないと私は予想する(79⑰)

テーマ

現在①

進歩はめざましい。

将来 研究が人工知能によって置きかえられていく可能性がある。

筆者のものの見方・考え方

哲学的人工知能が②によつ

て設定された問いに③を与えら

けならば、④とは呼べない。

人工知能が切実な哲学の問いを

⑤に発することは当分

起きない。

上の文章から抜き出そう。





Aーは哲学できるか

知

語句

1

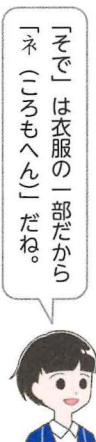
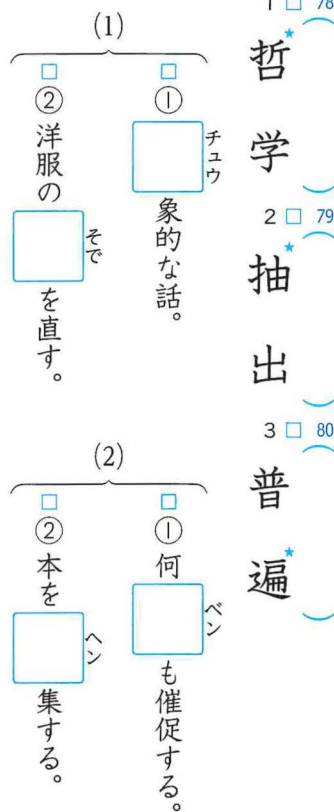
意味調べ

3 □ ふるまい	2 □ 抽 出	1 □ 領 域
79 (8)	79 (3)	78 (10)
意味	意味	文脈
		▼文章中ではどちらの意味ですか。 ア その国家の主権がおよぶ区域。 イ 学問や研究で専門とする範囲。
	文例 アンケートをとる相手を無作為に抽出する。	
	類義語を書こう	

知

漢字

漢字の右に読みを書こう



教科書 p.76~81

目標 文章について批判的に読み、筆者の主張の述べ方の工夫を理解しよう

3 Aーは哲学できるか

論理を築く

森岡正博

QRコード

3

「4 そもそも」を使って短文を作ろう

2

1 の意味調べの言葉を ( ) に入れ、文を完成させよう

- (1) ( ) 国語とは何を学ぶ学問なのか。
- (2) ( ) 一つの時代の人間にも共通する ( ) な感情。
- (3) ( ) 応募者の中から条件に合う人を ( ) する。
- (4) ( ) 知らないことへの探求心は ( ) するものだ。

10 □ 陥 落	9 □ 証 し	8 □ 普 遍 的	7 □ 次 元	6 □ 内 発	5 □ 切 実	4 □ そもそも
80 (8)	80 (7)	80 (6)	80 (4)	79 (14)	79 (14)	79 (14)
文脈	意味	意味	意味	意味	意味	意味
▼文章中ではどちらの意味ですか。 ア 場面の一部が落ちこむこと。 イ 今までの高さ・位置を失うこと。						
		文例 この条文中に書かれていたことは普遍的な真実だ。	文例 次元の低い考え方をしているのは成功しない。	文例 社会から内発する諸問題を解決する。		文例 そもそもそんな話を信じろというのが無茶だ。
	類義語を書こう				類義語を書こう	

## まず「こ」

話題をつかんで筆者のものの見方・考え方を捉えよう

人工知能 (AI) の                      はめざましい。

人工知能に過去の哲学者たちの全てのテキストを読み込ませ抽出すると、人間が考えそうな哲学的思考パターンがそろそろ。さらに、過去の哲学者たちが見逃していた哲学的思考パターンも発見させられる。

← 哲学的人工知能は本当に哲学の作業を行っているのか?

人工知能が行っていること

・ 入力されたデータの中に

のパターンを

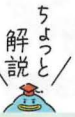
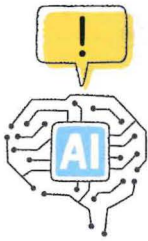
発見すること。

によって設定された

問いに                      を与えること。

呼べない。

とは



キーワードを探して話題の中心をつかもう。筆者のものの見方・考え方を述べている文や問いかけに注目し、文章の要点を読み取ろう。

読解

1 順番に読み取ろう

筆者の主張を読み取ろう

【A】人工知能の進歩と哲学について読み取ろう

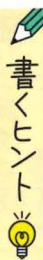
1 「囲碁や将棋と同じ運命をたどるかもしれない」(78④)とはどのようなことか。                      に入る言葉を十七字で抜き出しなさい。

筆者の専門である哲学は

かもしれない。

2 「およそ人間が考えそうな哲学的思考パターンのほぼ完全なリスト」

(79⑥)ができればとどうなるのか。書き出しに続く形で、三十字以内で書きなさい。



— 線の内容を使って答えを作ろう! —

内容

筆者がどう予想しているかを、P.79⑦～⑨行から探す。

↓ 「オリジナルな哲学的思考パターンは生み出されようがない」

↓ 「哲学者たちの仕事は、哲学的人工知能のふるまいを研究する一種の計算機科学に近づくだろう」

人間によるオリジナルな哲学的思考パターンは生み出されないの、



□ 1 「それは哲学とは呼べない」(79 13)とは、どのようなことを表しているか。次の文の□ ①・②に入る言葉を抜き出しなさい。

を見つけたり、②

[illegible]

に答えたりすることだけなら哲学

ではない、  
ということ。

2 哲学的人工知能が本当に哲学の作業を行っているかという疑問に対

する筆者の考えを、書き出しに続く形で、二十字以内で書きなさい。

自分自身にとって切実な哲学の問いを内発的に発することのない

自分自身にとって切実な哲学の問いを内発的に発することのない

【C】哲学の新次元について理解しよう

1 人工知能が『人間』の次元に到達した(80④)と哲学的に判断する

ためには、人工知能には何が必要だと考えられてきたか。十五字以内と二十字以内で二つ抜き出しなさい。

**目標**

□ 2 人工知能が「人間」の次元に到達するには、1に加えて何が必要だと筆者は考えているか。七字で抜き出しなさい。

[illegible]

と筆者は考えているか。**七字**で抜き出しなさい。

💡「それに加えて、…」とある部分に注目しよう。

3 「哲学に新次元を開く」(80<sup>12</sup>)とあるが、そのためにはどうなることが必要か。一つ選びなさい。

ア 人間と人工知能がそれぞれに自ら哲学的問題を探究するという立場に立ち、対等に話し合うこと。

イ 人工知能が今以上に進化し、人工知能が内発的にもつ哲学上の問題が人間の哲学のレベルを超えること。

人間には理解できない人工知能の自律的な哲学上の思考について、人間が人工知能から学ぶこと。

工 人工知能と人間が哲学上の問題において同じ立場に立つて、おのおの 各々  
の違ひに関する議論を始めること。

💡最後の段落における筆者の主張を理解しよう。

□ 思

読解

2

全体を  
捉えよう

①～⑦に入る言葉を抜き出そう

AIの進歩

・人工知能が得意なこと

過去の哲学者の

見逃していた哲学的思考パターンの発見。

「およそ人間が考えそうな哲学的思考パターンのほぼ

「」ができあがる。

・哲学の作業とは

切実な哲学の問いを

に発すること。

・人工知能には当分は

と予想。

・「人工知能は哲学をしている」と判断する条件

に基づく自律的活動。

な法則や真理を発見できる思考能力。

内発的な

□ 思

読解

3

深めよう

主張の伝え方に対する自分の考えをまとめよう

●この文章を読んだ谷さんの発言を踏まえて、筆者の主張の伝え方についてあなたが考えたことを、人に説明する口調で書きなさい。

筆者は、題名や文章中の「……みよう。」「……だろうか。」といった呼びかけや、「……としたら、……だろう。」という推論を用い、伝え方に工夫をこらしています。この工夫によってどのような効果があると思いますか。

□

全体を  
読めたかな？

この文章の内容と合うものを、一つ選ぼう。

ア 時系列に事実を並べ、主張に至る過程を示している。  
イ 主張とそれに対する反論を繰り返し、論を深めている。  
ウ 「私は」の形で、自分の主張を明確に示している。



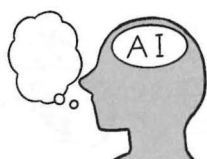
谷さん



## Aーは哲学でできるか

もりおかまさひろ  
森岡正博

哲学的には、自由意志に基づいた自律的活動と、普遍的な法則や真理を発見できる思考能力が、人間という類の証<sup>あかし</sup>であると長らく考えられてきた。しかしそれらは将来の人工知能によっていづれ陥落させられるであろう。



人工知能が人間の次元に到達するためには、それに加えて、内発的哲学能力が必要だと私は考えたい。人工知能の進化によって、そのような「知性」観の見直しが迫られている。もちろん、彼らが発する内発的な哲学の問いはあまりにも奇妙で、我々の心に全く響かないかもしれない。この点をめぐって人間と人工知能の対話が始めるとすれば、それこそが哲学に新次元を開くことになると思われる。

- (1) 「哲学」は何からスタートするか。次の□にあてはまる言葉を文章中から**八字**で抜き出しなさい。

- を自分自身で内発的に発すること。

- (2) ①に入る最も適切な言葉を、文章中から二字で抜き出さない  
 □(3) 人工知能の進化によって人間には何が求められるようになってい  
 か。文章中から九字で抜き出さない。

- (4) 「人間と人工知能の対話」<sup>②</sup> にあてはまるものを一つ選びなさい。

人間が人工知能に問いかけるもので、大変奇妙な内容の対話。

人間と人工知能の間の、哲学をする者同士として行われる対話。

人間が人工知能の哲学的思考を新次元に到達させるための対話。

人間と人工知能が張り合つて、共に進化することを目指す対話。

- (5) 哲学的に、人工知能が人間の次元に到達するためには、どのようなことが必要か。五十字以上、五十五字以内で書きなさい。

[illegible]

## グラフィック資料



デジタル

## ワカッタ博士の

## よくわかる人工知能講座

Q1

人工知能とコンピュータは違うものなの？

## 1 プログラミングイメージ

人工知能はコンピュータのプログラミングによって作られています。プログラミングとは、コンピュータに何かの処理をさせるための指示書のようなものです。人工知能の場合は、とても新しく高度なプログラミングで作られているので、まるで人間が考えて行動しているかのような処理を可能にします。

人工知能を作ったり動かしたりする工場のようなものがコンピュータなんだ。



一般的なコンピュータのプログラミング、つまり「ソフトウェア」や「プログラム」と呼ばれるものは、手順が明確で単純な処理を行うものです。それは、その時々状況に合わせて考えたり、基準がないことに対する判断をしたりといった、人工知能による複雑な処理とはまったく異なります。

システムエンジニアやプログラマーと呼ばれる職業の人は、プログラミングを行ううえで重要な役割を果たすよ。



## 身近な人工知能の実例を紹介しよう！

## 2 AI 渋滞予測

人工知能が、正午時点の人口分布と当日午後の交通状況を学習し、所要時間等を予測。

写真提供 NEXCO 東日本・NTT ドコモ

## 3 音声翻訳 (ポケットーク)

インターネット上の人工知能が一瞬のうちに翻訳して、音声を流す。

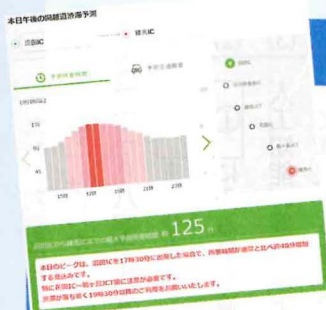
写真提供 ポケットーク株式会社



## 4 工場の自動化

人工知能を搭載した機械やロボットを活用する。

写真提供 OKI



## 5 会話ロボット (Musio X)

自然言語処理で、事前にプログラミングされていない文章を作りだすことができる。

写真提供 AKA 株式会社



## Q2

本当に人工知能はかしこいの？

人工知能は、自分で学習して知識を増やすことができるんだ。



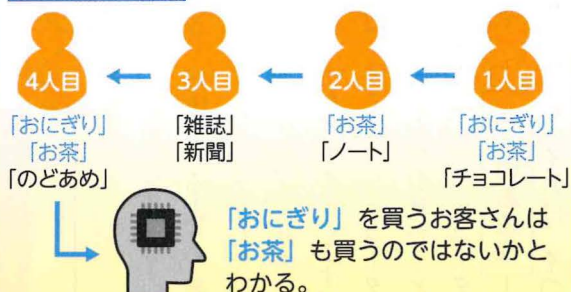
人間が勉強をしてかしこくなるように、人工知能が自分で学習をして知識を増やすしくみを「機械学習」といいます。機械学習の目的は、与えられたデータを分析し、ルールやパターンを見つけたす能力を高めていくことです。インターネットやコンピュータの発達によって、大量のさまざまなデータが入手できるようになり、人工知能の機械学習の能力も飛躍的に発達しました。

大容量のデジタルデータは「ビッグデータ」と呼ばれる。人工知能はビッグデータでどんどんかしこくなるよ。



## 人工知能の機械学習のメカニズム

市場調査の場合 お客さんが買った物の情報を得る。



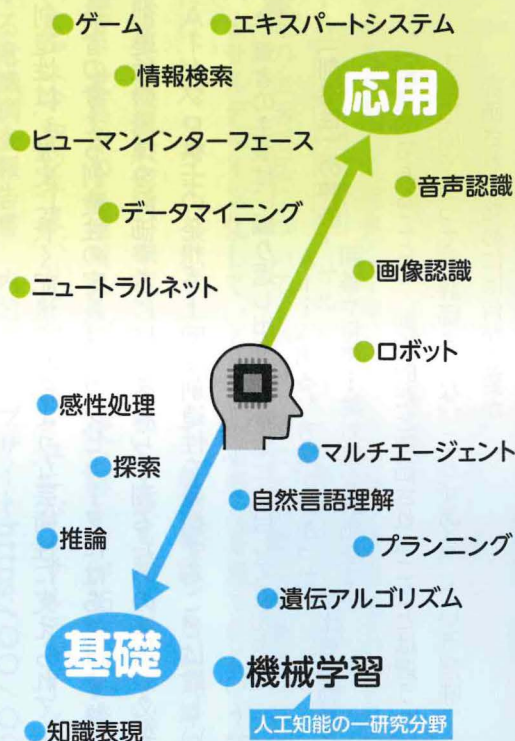
人工知能は、学習と分析が得意なんだ。



人工知能が多くのデータや情報を受け取ったあと、それらを細かく分類し、分析や計算を何度も繰り返ししながら、最適な分析の仕方を見つけたすことを「ディープラーニング」といいます。

## Q3

## こんなにある！人工知能の研究分野



二〇四五年に何が起るの？

人工知能が人間の能力を超えるという説があるんだ。



人工知能がどんどん発達し、二〇四五年頃には人間の知能を超えて、人間界に大きな影響を及ぼすと考えられています。このことを「シンギュラリティ」といいます。

人間と人工知能の立場が逆転して、人工知能が人間に指示をしたり、人工知能が人工知能を作ったりするかもしれません。最終的には人類を滅亡させるという説もあるほどです。

こうした問題と向き合うためにも、人工知能をしっかりと理解しておくことが大切だね。





つ  
な  
が  
る  
読  
解

② そしてこの創造性の定義に照らし合わせれば、すでにコンピュータは、ずいぶん前から創造性を発揮しています。実は、人間が見たことのないような新しい組み合わせを見つけること自体は、コンピュータにとってはそれほど難しいことではないのです。

⑤ 先述したように数々のプロ棋士を破ってきた将棋Ａも基本的には教師あり学習です。将棋Ａ・ポナンザは、プロ棋士の過去二〇年分の対局五万局の棋譜を学習しています。言ってみれば、過去のデータを使って戦っているわけです。

しかし、最近では、そうした過去のデータにはない、未知の局面に

\*□→□6は段落番号を示す。  
(松原<sup>まつばら</sup> 仁<sup>ひとし</sup>「Aーに心は宿るのか」より)

1 筆者は、「創造性」とはどのようなものだと考えているか。文章中から**十四字**で抜き出しなさい。（符号も一字に数える。）

[illegible]

## 2 筆者の主張を捉える問題

文章中における「創造性」についての筆者の考え方を一つ選びなさい。

ア 創造性は、歴史に長く記憶されるような芸術性に支えられている。  
イ 筆者の考える創造性の定義は、コンピュータにはあてはまらない。  
ウ 創造性の発揮を評価するには、それらを測るための基準が必要だ。  
エ Aーがプロ棋士の発想を上回る創造性を発揮することは難しい。

ちよつと

筆者の主張は、繰り返して出てくる言葉に注目して捉えよう。

## 「創造性」の評価

囲碁や将棋…絶対的な評価基準

比べて説明

「創造的であることと、創造的だと評価されることは違う」  
↓  
創造的であっても評価されないことがある、という意味。  
評価されるためには何が必要か。



## ▼信頼性の確かめ方



□に入る言葉を抜き出そう。□

思

書く

## 客観性や信頼性のある記事を書く

教科書

p.83～85

## 「信頼性を確かめる」とは

1 一次情報か、二次情報か。

① 一次情報…  
 ② 二次情報…  
 ③ 自分が自分の家で出た食品ロスの量の調査。  
 ④ 先生から聞いた食品ロスの知識。  
 ⑤ 食品ロスについて書かれた本の内容。

① 一次情報…  
 ② 二次情報…  
 ③ 自分が自分の家で出た食品ロスの量の調査。  
 ④ 先生から聞いた食品ロスの知識。  
 ⑤ 食品ロスについて書かれた本の内容。

① 一次情報…  
 ② 二次情報…  
 ③ 自分が自分の家で出た食品ロスの量の調査。  
 ④ 先生から聞いた食品ロスの知識。  
 ⑤ 食品ロスについて書かれた本の内容。

① 一次情報…  
 ② 二次情報…  
 ③ 自分が自分の家で出た食品ロスの量の調査。  
 ④ 先生から聞いた食品ロスの知識。  
 ⑤ 食品ロスについて書かれた本の内容。

2 情報を伝えた人の  
 ① 情報源の信頼性  
 ② 情報の信頼性  
 ③ 情報の信頼性  
 ④ 情報の信頼性  
 ⑤ 情報の信頼性

① 情報源の信頼性  
 ② 情報の信頼性  
 ③ 情報の信頼性  
 ④ 情報の信頼性  
 ⑤ 情報の信頼性

3 伝えた人や機関は  
 ① 信頼性  
 ② 信頼性  
 ③ 信頼性  
 ④ 信頼性  
 ⑤ 信頼性

① 情報源の信頼性  
 ② 情報の信頼性  
 ③ 情報の信頼性  
 ④ 情報の信頼性  
 ⑤ 情報の信頼性

4 最新の情報か。

5 身近な人への取材で、  
 ① 信頼性  
 ② 信頼性  
 ③ 信頼性  
 ④ 信頼性  
 ⑤ 信頼性

1 よし子さんは、「ユニバーサルデザイン」化が必要な製品について説明する記事を書くために、次のような下書きを書きました。

## ■「ユニバーサルデザイン」化が必要な製品

私たちが日ごろ何気なく使っている自動ドアやシャンプーのボトルは、実はユニバーサルデザインの製品である。日用雑貨・家具等の生活用品について、今後、特にどの製品を重点的にユニバーサルデザイン化していくことが必要だと思うかという質問には、「パソコン、スマートフォン、携帯電話、FAX等の情報・通信機器（形状、操作性）が36%」で最も高く、次いで「日用雑貨・家具等の生活用品（形状、使い勝手）が35%」と続いている。（令和〇年度バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する意識調査報告書 内閣府ウェブサイト <https://00/00.html> 令和〇年〇月〇日閲覧）。

私も、パソコンやスマートフォンが誰にでも利用しやすいかというところ、お年寄りには使いにくいところがあるように思う。これらの情報・通信機器に新しいバリアが生じないようにもっとユニバーサルデザイン化していく必要があるといえる。

□ (1) 引用している部分に——線を引きなさい。

□ (2) (1)で線を引いた情報は信頼できるか。理由を示して答えなさい。

知

漢字の広場

2

熟字訓

教科書  
p.86~87

1 次の熟語の、アは音読み、イは熟字訓を、それぞれ平仮名で書きなさい。

□ (5)	□ (4)	□ (3)	□ (2)	□ (1)
ア 果実	ア 紅葉	ア 眼科	ア 田園	ア 消息
イ 果物	イ 紅葉	イ 眼鏡	イ 田舎	イ 息子

2 □の中から漢字二字を組み合わせて熟字訓を作り、それぞれの読みを( )に平仮名で書きなさい。

屋	笑	七	顔	土
産	士	博	夕	部
□	□	□	□	□
□	□	□	□	□
□	□	□	□	□

知  
漢字

漢字の右に読みを書こう

3 □の中から漢字三字を組み合わせて熟字訓を作り、それぞれの読みを( )に平仮名で書きなさい。

百	屋	気
波	意	止
場	地	ハ
□	□	□
□	□	□
□	□	□

21 □	17 □	13 □	9 □	5 □	1 □ 87
凸	固	硫	為	伯	店
凹	唾	酸	替	父	舗
(熟字訓)	(熟字訓)	(熟字訓)	(熟字訓)	(熟字訓)	(熟字訓)
22 □	18 □	14 □	10 □	6 □	2 □
最	搬	硫	冶	甲	老
寄	入	黄	金	乙	舗
(熟字訓)	(熟字訓)	(熟字訓)	(熟字訓)	(熟字訓)	(熟字訓)
23 □	19 □	15 □	11 □	7 □	3 □
行	伯	木	早	乙	弥
方	母	綿	苗	女	生
(熟字訓)	(熟字訓)	(熟字訓)	(熟字訓)	(熟字訓)	(熟字訓)
24 □	20 □	16 □	12 □	8 □	4 □
早	草	紛	撲	行	伯
乙	履	糾	滅	為	仲
女	(熟字訓)	(熟字訓)	(熟字訓)	(熟字訓)	(熟字訓)

★は新出漢字、☆は新出音訓



知



言葉の小窓

## 和語・漢語・外来語

教科書

p.88,  
p.272~274

□ 1 和語・漢語・外来語・混種語についてまとめた次の表の□①～⑧に入る言葉をP.272～274から抜き出しなさい。

例

和語	漢語	外来語	混種語
<ul style="list-style-type: none"> <li>・もともと① □ にある言葉。 Ⅱ大和言葉</li> <li>・日本語の基本的なものの多くを占める。</li> <li>・中国の漢字に和語をあてた読み方を② □ 読</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・③ □ 語の発音を日本語に取り入れた</li> <li>・④ □ 読みがもともになっている言葉。</li> <li>・日本で作られた和製漢語もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国語以外の言語から入ってきた言葉。</li> <li>・多くは⑤ □ に由来する。</li> <li>・もとの言葉の英語にはない和製英語もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・⑥ □</li> <li>・⑦ □</li> <li>・⑧ □</li> </ul>
試す 導く 混む やわらかい	試験 混雑 案内 柔軟	カード ラッシュ ガイド ソフト	輪ゴム(和+外) 花火大会(和+漢) 昇級テスト (漢+外)

2 次のア～カは、和語・漢語・外来語のどの特徴を述べたものか。二つずつ選びなさい。

□和語 ( ) □漢語 ( ) □外来語 ( )

ア 新鮮な響きや、スマートな感じを与える。

イ やわらかさや優しさを感じさせる。

ウ 難しい印象や硬さ、丁寧な感じを与える。

エ 助詞・助動詞を含む。

オ 複雑な内容を短い形で表せる。

カ 主に片仮名で表記する。

四字熟語を使って話すと、改まった感じになるね。



3 次の文から、漢語と外来語を二つずつ抜き出しなさい。

● 白い色のチョークで黒板にクイズの解答を書いた。

□漢語 ( ) □外来語 ( )

□漢語 ( ) □外来語 ( )

4 次の混種語のうち、和語と漢語の組み合わせには「A」、和語と外来語の組み合わせには「B」、外来語と漢語の組み合わせには「C」を( )に書きなさい。

□(1) 赤ワイン ( ) □(2) スープ皿 ( )

□(3) 硬式テニス ( ) □(4) 胴上げ ( )

□(5) 紙コップ ( ) □(6) 線路沿い ( )

💡 わからないときは、漢字の読みが音読みか訓読みかを調べよう。

## 漢 字

知

★

①～⑫は——線の漢字の読みを書き、  
⑬～⑮は漢字に直して書きなさい。

- ⑫ □ 戸籍謄本  
⑪ □ 俳諧を味わう。  
⑩ □ 緻密に計画する。  
⑨ □ 89 真摯に向き合う。  
⑧ □ 犯人の行方を追う。  
⑦ □ 伯母は父の姉だ。  
⑥ □ 家具を搬送する。  
⑤ □ 悪事を糾明する。  
④ □ 有名な画伯。  
③ □ 87 弥生は三月だ。  
② □ 79 成分を抽出する。  
① □ 78 哲学を学ぶ。
- ⑬ □ 80 マンベンなく行く。  
⑭ □ 87 ホソウされた道。  
⑮ □ しにせて買う。  
⑯ □ オツな味の料理。  
⑰ □ おとめ座  
⑱ □ 代金をかわせて送る。  
⑲ □ さなえを植える。  
⑳ □ ダボクが治る。  
㉑ □ いおうを燃やす。  
㉒ □ もめんをつむぐ。  
㉓ □ かたずをのむ。  
㉔ □ ぞつりをはく。
- ㉕ □ 25 でこぼこな表面。  
㉖ □ 89 資料をエツランする。  
㉗ □ 敵をイカクする。  
㉘ □ タイコをたたく。  
㉙ □ 酒をジョウゾウする。  
㉚ □ 葉のヘイガイ。  
㉛ □ 政治のチュウスウ。  
㉜ □ ザンテイ的な対応。  
㉝ □ 法をジュンシユする。  
㉞ □ ルリ色に光る。  
㉟ □ グンシヨウを授ける。  
㊱ □ 詩をエイする。  
㊲ □ 社長にタンガンする。
- ㊳ □ 50 食欲がオウセイだ。  
㊴ □ 49 ガイトウ者を呼ぶ。  
㊵ □ 48 ダンガイ裁判  
㊶ □ 47 カイシヨの漢字。  
㊷ □ 46 人におくれをとる。  
㊸ □ 45 はがねの機体。  
㊹ □ 44 ショウゾウ画を見る。  
㊺ □ 43 かんぬしのお話。  
㊻ □ 42 わらべうたを歌う。  
㊼ □ 41 学問へのショウウジン。  
㊽ □ 40 ジョウコウを加える。  
㊾ □ 39 人生のキロに立つ。  
㊿ □ 38 かぎをかける。

## 語 句

知

1

熟字訓 86～87 次の言葉の読み方を平仮名で書きなさい。

□ (1) 時雨

□ (2) 相撲

2 和語・漢語・外来語 88・272～274 次の混種語は、どのような組み合わせか。一つずつ選びなさい。

□ (1) 赤信号

□ (2) ソーダ水<sup>すい</sup>

ア 和語＋漢語

イ 外来語＋和語

ウ 外来語＋漢語

3 次の——線部の語句の意味を一つずつ選びなさい。

□ (1) 79 大胆なふるまいをする。

ア 思想や考え

イ 動作や行動

ウ 試合や競争

□ (2) 80 一位の座から陥落する。

ア 表面がへこむこと

イ 地位が下がること

ウ 攻め落とされること



# すらすら読解ガイド③

## 説明的文章

読み方のポイントを学ぼう！



デジタル

## 1 文章のテーマをつかむ

### 注目ポイントはココ！

まず、**キーワード**を探して、文章のテーマをつかむことが大切です。キーワードは、文章の次の点に注目して探します。

① 題名や繰り返し出てくる語

## 2 論理の展開を捉える

### 注目ポイントはココ！

次に、まとまりごとの役割に着目して、

**論理の展開**を捉えます。

**起**…筆者の問いかけやそのきっかけ

**承**…具体例や実際の体験

**転**…主張の根拠

**結**…まとめ・筆者の主張

この單元では、「async—同期しないこと」「問いかける言葉」の二つの文章を読み比べよう。



### 読解ガイド②

Aーは哲学できるか

### 読解ガイド③

async—同期しないこと

問いかける言葉

アシンク  
async—同期しないこと

### キーワード

- ・同期しないこと（題名）
- ・どうも人間は……放っておくと同期をしてみづらい。(96 17)

### 起

- ・津波をかぶった一台の「ピアノの死骸」に遭遇(94 1)

- ・いい音だ、とても貴重だと思った。(95 4)

- ・僕は音を探し始めた。(95 8)

### 承

- ・ノイズもサウンドも人の声も、全ての音が音楽なのだ。(96 7)

### 転

- ・合わせないほうが人間には難しい(97 4)
- ・一つ一つの同期しない音を共存させる(97 7)

### 結

- ・同期しない音を聴くことが大切なのではないか。(97 13)

問いかける言葉

### キーワード

- ・問いかける言葉は、その同調の流れをせき止め、……もたらししてくれるのです(100 15)

### 起

- ・キャスターとして、さまざまな事象を伝え続けてきました。(98 1)

- ・情報を伝えるだけでなく、問いを出し続けることがとても重要(98 7)

### 承

- ・問いかける言葉は、……対話が生き生きとしたものになる(99 11)

### 転

- ・情報について、……考える時間を失いつつある(100 3)

- ・情報空間を外に開き、……異なる世界と出会うことが必要(101 13)

### 結

- ・言葉による問いかけには、……世界を開いていく力がある(102 9)

46

教科書 P.94~P.97

4 async—同期しないこと

関係を問う

目標 主張と根拠の関係を理解して、筆者の考え方を読み取ろう

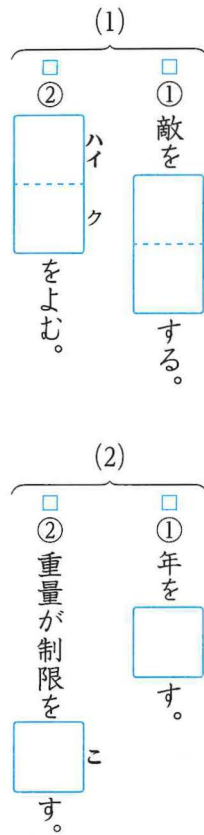
坂本龍一

QRコード

知 漢字 漢字を書こう

似ている同音の漢字

同訓の漢字



「越す」はある時点を「過ぎる」、  
「超す」は基準などを「上回る」  
という意味だよ。



知 語句 1 意味調べ

5 □ 半 <small>なか</small> 95 (5)	4 □ 解 <small>かい</small> 95 (4)	3 □ 奏 <small>かな</small> でる 94 (10)	2 □ 破 <small>は</small> 壊 <small>かい</small> 94 (8)	1 □ 遭 <small>そう</small> 遇 <small>ぐ</small> 94 (2)
文脈	意味	意味	意味	意味
▼文章中ではどちらの意味ですか。 アイ 半分ほど。 だいたい。ほとんど。		文例 大好きな曲をギターで奏でる。	文例 対義語を書こう	文例 歩いていたら偶然事故現場に遭った。

- 2 1 の意味調べの言葉を ( ) に入れ、文を完成させよう
- (1) 駅の ( ) の中で、なんとか友人に会えた。
- (2) 当選の確率はとても低く、 ( ) あきらめていた。
- (3) ( ) 、生きていく上で必要な能力は三つだ。
- (4) 昨夜から雨が降り続いていたが、私は ( ) 出かけた。
- (5) 生まれ育ったこの町は、 ( ) 僕の庭のようなものだ。
- 3 次の言葉を使って短文を作ろう
- ① 「5 半ば」

これだけ点数が開いているのだから、うちのチームが

11 □ 不寛容 <small>ふかんよう</small> 97 (13)	10 □ いわば <small>いわば</small> 97 (6)	9 □ あえて <small>あえて</small> 97 (5)	8 □ つきつめれば <small>つきつめれば</small> 96 (14)	7 □ 必然性 <small>ひつぜんせい</small> 96 (9)	6 □ 雑踏 <small>ざつたつ</small> 95 (11)
意味	意味	意味	意味	意味	意味
文例 不寛容な姿勢を続けるとみんなの信頼を失うよ。	文例 彼の優勝はいわば我がチーム全体の勝利だといえる。	文例 大切なことなのであえて繰り返し返して言っておこう。	文例 人間や動物・植物もつきつめれば同じ地球の生き物だ。	文例 私たちが歴史を学ぶ必然性とは何だろうか。	文例 文例

類義語を書こう




□ (2) 「あえて」

まず

文章の構成と論理の展開を捉えよう

<p>つなみ 津波ピアノ との出会い</p>	<p>筆者に とつての音楽</p>	<p>同期しない音</p>	<p>筆者の考え</p>
<p>・人工的な調律から解放された音 ↓「本当に聴きたい音」を探し始める</p>	<p>・ある人にとっては騒音でも、筆者には音楽 ・ノイズもサウンドも ①</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 150px; margin: 10px auto;"></div> <p>の音が音楽</p>	<p>・人間が ② ノイズ ・音楽として聴いていない音 ↓合わせない音楽を生み出す</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 150px; margin: 10px auto;"></div> <p>のないものとしてきた</p>	<p>不寛容な時代には同期 ③ 音を聴くことが大切</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 150px; margin: 10px auto;"></div>

ちよつと  
解説   
筆者の主張とその根拠を理解するために  
文章の構成を捉えよう。



読解  
1  
順番に  
読み取ろう

それぞれの段落の役割を捉えよう

【A】筆者の体験を読み取ろう

「津波ピアノ」(94⑦)と通常のピアノを比べたとき、次の□に入る言葉抜き出しなさい。

・津波ピアノ……


な力<sup>②</sup>


された存在。

という自然の大き



・通常のピアノ……

③  的な力で鉄や木を曲げて作られた

もので、その音は④  には存在しない。

2 「津波によって生まれた音」(94⑦)とあるが、筆者はどんな音だと考えているか。十四字で抜き出しなさい。

14

3 「半ば自然に帰ったピアノ」(95⑤)とはどのようなピアノか。一つ選  
びなさい。

ア 人間が演奏しやすい調律から完全に解き放たれて、本来属するべき自然の一部となったピアノ。

イ 人工的に加工された形のままであるが、人間が勝手に定めた調律からは解放されたピアノ。

人間が定めた「音楽」に見合う調律から抜け出て、自分勝手な調律を身につけてしまったピアノ。

工形はいびつだが、どんなピアノよりもピアノらしい美しい音を発するようになったピアノ。

【B】 筆者の音楽観を読み取ろう

□ 1 「僕は音を探し始めた」(95⑧)とあるが、それはどのような音か。「加工」「身のまわりのさまざまな物」の二語を使って、三十字以内で書きなさい。

書くヒント

線の内容を使って答えを作ろう！

内容

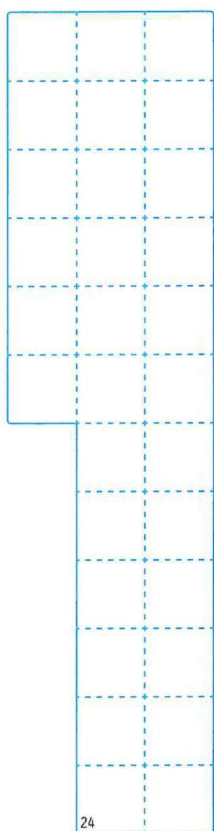
探し始めた「音」に関する言葉を、P.95⑥～⑮行から探す。

↓音楽に加工される以前の音に、これまでよりも興味をもつ。

↓身のまわりのさまざまな物が発する音を楽しみたくなった。

答え方

文末は「**音**。」などにする。

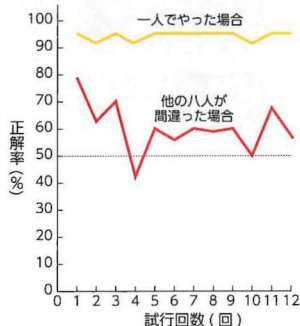


読んでみよう

## 同調バイアス

人間は「放っておくと同期をしまう」(96<sup>(18)</sup>)とあるが、本当だろうか？ 次の二つの実験の結果を見てみよう。

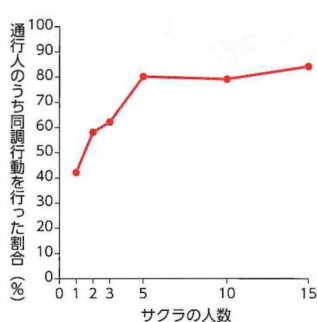
## 1 アッシュの実験 (1951年)



**実験：**線の長さが同じものを選ぶという簡単な問題を、一人で解いたときと、他の八人（サクラ）が全員間違った回答をしたときとで正答率を比べた。

**結果：**一人で答えるときはほとんど間違わない問題だったのに対し、他の八人が間違った回答をしたときは、正答率<sup>正答率</sup>が著しく下がった。

## 2 ミルグラムの実験 (1968年)



**宝騎**：サクラが繁華街で突然立ち止まり、空を見上げていると、どれくらいの人がつられて見上げるかを、サクラの人数別に調べた。

**結果**：サクラの人数が増えるほど、つられて見上げる人が増えた。

このように、自分以外の複数人の行動や意見に影響を受けてそれに合わせてしまう傾向を、「同調バイアス」という。



## 2

●ノイズはふつう ① とされるが、筆者はノイズもサウンドも人の声も ② だと考えている。

[illegible]

💡 同じ段落の中にある、筆者の主張部分に注目しよう。

【C】音に対する筆者の考えを読み取ろう

1 「人間が勝手にこれはいい音、これは悪い音と決めてしまう」(96⑪)とあるが、人間がそうに決めてしまうのはなぜか。一つ選びなさい。

ア 生活の中で聴こえてくる音にもリズムや響きはあるとわかっていながらも、美しい音だと感じるまでに時間を要するから。

イ 自然の音や都会の雑踏の音などは人間にとって、自分の生活をより豊かにするためにあまり必要のない音だと感じられるから。

ウ 二十四時間音に囲まれて生きているために、人間が自分から求めて作る「檻」に不要な音は排除せねばならないから。

工人間の脳には自分が求めるものだけを認識する性質があって、それ以外のものは脳のフィルターを通過しないから。

💡 脳のフィルターについて説明している⑧段落の内容に注目しよう。

## 2

2 「そのフィルターは人間を同じ一つの檻に閉じこめる」(96⑮)とあるが、なぜか。「そのフィルター」の内容を明確にして、四十五字以内で書きなさい。

書くヒント

線の内容を使って答えを作ろう！

内容

「そのフィルター」の内容を、**P. 96** ⑧ ~ ⑮ 行から探す。

↓「生存にあまり必要のない音は無視している」

↓「脳が見たいと思っているものだけを見てしまう」

Ⅱ 人間は自分の求めるものだけを認識する、ということ。

A large grid of dashed lines for writing practice, consisting of 10 columns and 12 rows.

【D】筆者の社会観を読み取ろう

筆者はどのような人間社会をつくりたいか。描いているか。次の文の①・②に入る言葉を、それぞれ四字で抜き出しなさい。

● 不寛容かんような時代だからこそ、人々が①に存在しながらも、一定の②のある人間社会をつくりたい。

①

②



教科書

P.98~P.104

# 4 問いかける言葉

関係を問う

目標

主張と根拠の関係を理解して、筆者の考え方を読み取ろう



デジタル

国谷裕子

知

漢字

漢字の右に読みを書こう

ページ

5 □ 101 傾 向 6 □ 寛 容 7 □ 悩 み  
1 □ 98 視 聴 2 □ 媒 介 3 □ 99 次 第 4 □ 100 吟 味

★は新出漢字 ☆は新出音訓

知

語句

1 意味調べ

6 □ 基 盤 99 14 意味	5 □ 具 体 的 99 12 意味	4 □ 曖 昧 99 12 意味	3 □ いかに……か 98 3 意味	2 □ 媒 介 98 3 意味	1 □ 事 象 98 1 意味
文例 多くの信頼と実績を基盤にして会社は成長した。	類義語を書こう	対義語を書こう	文例 いかにこの難問を解決するべきか。	文例 動物によって媒介される病気。	文例 世の中の事象を広く報告する。

13 □ 腑に落ちない 102 7 意味	12 □ げげん 101 17 意味	11 □ 単刀直入 101 17 意味	10 □ 異 質 100 18 意味	9 □ なびく 100 16 文脈	8 □ 膨 大 100 2 意味	7 □ 俯 瞰 99 16 意味
文例 彼が合格できないなんて、腑に落ちない。	文例 言われていることがわからず、げげんな顔をする。	文例 たくて、単刀直入に尋ねる。	類義語を書こう	文章中ではどちらの意味ですか。 ア 風や水の流れに従って横に流れること。 イ 意志や力に屈して引き寄せられること。	類義語を書こう	類義語を書こう

## 2 1の意味調べの言葉を

に入れ、文を完成させよう

- (1) この問題を ( ) 円満に解決するかを考えよう。
- (2) 彼に限って、権力がある人の意見に ( ) ことはない。
- (3) 突然泣き出した彼女の態度が、どうも ( ) 。

## 3 「3 いかに……か」を使って短文を作ろう



文章の構成と論理の展開を捉えよう

①

を出し続けることが重要

・具体的に問いかけることで②

き生きとしてくる

が生

③


の流をせき止める

自分とは異なる考え方の存在を知る

人々が社会的合意を求めて積極的に対話を行うためには、<sup>④</sup>

必要がある

世界と出会う

ちよつと  
解説  
  
筆者の主張とその根拠を理解するために  
文章の構成を捉えよう。

それぞれの段落の役割を捉えよう

□ 1 筆者はキャスターの仕事を通じて、どのようなことが重要だと気づいたか。十字で抜き出しなさい。

10

10

2 「自分の考えを問われること」(98⑩)とあるが、それは筆者にとって

どのような意味をもつことだったか。一つ選びなさい。

ア 大変思いがけない行為であるために戸惑うことが多く、筆者をひどく苦しめることになったこと。

イ 外国人である自分が一人の人間として認められることであり、自分の考えを相手に伝えることの大切さを知ったこと。

ウ 外国での学校でこそ見られる行動であつて、自分が日本人であることを強く思い知らされること。

工 自分の考えをまとめようとする際に、その場にはいない人たちの深い思いが自然と感じられたこと。

3 問いを投げたことから、「異なる考え方が飛び交う対話が始まりました」(99⑥)とあるが、それは何につながっていったのか。二十二字と二十七字で二つ抜き出しなさい。

[illegible]

27

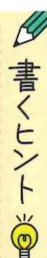
□ 4 筆者があげた経験と、「問いかける言葉の大切さ」(99⑩)の関係につ

いてクラスで話し合った。次はその話し合いの一部である。

《条件》①谷<sup>たに</sup>さんのセリフに入る言葉を、五字で抜き出すこと。

② 原さんのセリフに入る言葉を、  
 に入るように、三十字

以内で書くこと。



線の内容を使って答えを作ろう！

内容 「筆者があげた経験」と「問いかける言葉の大切さ」の関係を表

す言葉を、  
P. 99 ⑥ ~ ⑪ 行から探す。

↓「人から問われること、人に問いかけることで、自分の存在を意識し、自分というものが次第に形づくられていった」

キヤスターの仕事を経験して、筆者は、「問いかける言葉」は、相手のそれまで曖昧だった思考を、  
①  
より  
へ導くことができ  
ると言っているね。

へ導くことができて



そうだね。それは、海外の学校での経験で感じた、

とつながるね。

24

【B】「風向きの法則」について理解しよう【

「情報」は膨大で、よりスピーディーに行き交うようになっていきます」  
 (100②)とあるが、その結果、人々はどうのようになったと筆者はいつて  
 いるか。□□に入る言葉を八字で抜き出しなさい。

得た途端に、考えることをやめるようになった。

8

を好み、それを

「風向きの法則」(100/10)とは、どのような法則か。「〜ほど……こと。」の形で、三十五字以内で書きなさい。

3 「問いかける言葉の大事な役割」(100<sup>18</sup>)を、二十五字と十五字で二つ抜き出し、初めと終わりの五字をそれぞれ書きなさい。(句読点も一字に数える。)

28



□(1) これが広がると人々はどうなっていくのか。「情報空間」「不寛容」の二語を使って書きなさい。

□(2) それが必要だといっているか。一つ選びなさい。

膨大な情報を得ることをやめて、正しいことだと自分が正確に判断できる情報だけを重要視して選択する必要がある。

イ 閉じられた情報世界の中に存在する人々の意義を認め、その人たちに對して寛容な態度で接することが必要である。

異なる考え方や利害を抱えた人々が生きる現実世界においては、課題解決のために異なる世界と出会うことが必要である。

工 複雑な利害関係についての対話を自分と同じ考えの人々とする  
ことで、さらに理解を深めていくことが必要である。

【C】 筆者の社会観を読み取ろう

□ 1 「げげんな顔」(101⑪)とあるが、日本のクラスメイトがそうだったのは、筆者がどうしたからか。「尊重」「異なる意見」の二語を使って六十字以内で書きなさい。

書くヒント

— 線の内容を使って答えを作ろう！ —

内容

「日本に帰国して、……クラスメイトに単刀直入に疑問を投げかけました。すると、げげんな顔をされ」(101(17))

↓「皆が同じであることが尊重され」る空気が流れている(101⑬)  
↓「異なる意見をもつこと、異なる意見を出すことはあまり歓迎されない」空気が流れている(101⑭)

## 2

2 「もやもやが残ったほうがいい」(102⑥)とあるが、なぜか。次の文の

①②③に入る言葉を①は二字、②は九字、③は五字で抜き出しなさい。  
 ●もやもやとした思いから生まれる ① が ② につながり、そ  
 れが閉じている世界を ③ から。

①

②

③

思

読解

2

全体を  
捉えよう

1

①⑬に入る言葉を抜き出そう

思

読解

3

深めよう

3ステップで記述しよう

async — 同期しないこと

津波をかぶった一台のピアノ。

人工的な調律から

された音。

僕は ② を探し始めた。

● サウンドとノイズ

本来なら

なもの。

僕にとっては全ての音が音楽。

問いかける言葉

キャスターの仕事。

情報を的確に

。

④ を出し続ける

ことが重要。

● 海外の学校での経験

自分の存在を意識する。

● インタビューの経験

問いかける言葉は

⑥ なもの。

● 「風向きの法則」の流れを止める。

ステップ1 問いの中心

にまとめるとき、 ① にあてはまる言葉を書きなさい。

を変えていきたいと考えている。

書くヒント

「不寛容な時代には、非同期、つまり同期しない音を聴くことが大切  
なのではないか」 P.97 ⑬、「相手に対して不寛容になり、お互いを排  
除しようとさえするようになります」 P.101 ⑧ という表現に着目。

ステップ2 追加の条件

AとBの筆者は、私たちにどのように行  
動することを促しているか。次の ① に入る言葉を、①は六字、②は  
二字、③は五字で抜き出さない。

Aの筆者

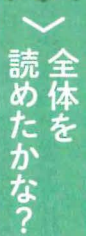
①

を聴くことを促している。



初めに、 問いの中心 について考えよう！





二つの文章に共通しているものを、二つ選ぼう。

ア 自らの経験をもとにして問題への対策を考えている。

イ 筆者独自の感性をもとにした考えを根拠としてあげている。

一般的に知られている考えを引用して主張を裏づけている。

工 不寛容な時代や社会との関わり方について問題提起をしている。

人間は

ことに快感を覚える。

僕はあえて

音楽をつくってみよう。

⑨

には、同期しない音を聴く  
ことが大切なのではないか。

な時代

⑩  
な考え方や

⑪

出会いが必要。

言葉による問いかけ。

相手に⑫

な

社会を解決し、閉じている世界を

13

Bの筆者

を通して③と出会うこと

を促している。

ステップ3  
▼▼▼  
つなげる

**問**いの答えを整えよう。

ステップ2 の、AとBの筆者それぞれが考えた手段をまとめる。

答え Aの筆者は  
によって、Bの筆者は

によって、  
と考えている。

ステップ1の、AとBの筆者に共通した社会に対する考えを書く。





## 問いかける言葉

国谷裕子 くにやひろこ



しかし、現実の世界が抱える課題は、さまざまに入り組み利害対立も複雑になっています。異なる考え方やさまざまな利害を抱えた人々が、社会的 B を求めて対話を積極的に行うことができないれば、課題の解決は不可能です。そのためには、お互いの情報空間を外に開き、自分たちとは異なる世界と出会うことが必要です。そのきっかけを作るのは、問いかける言葉です。

- ①(1) 3点、(4) 各15点・(5) 40点  
※(2) は完答

	(5)	(3)	(1)
		(4)	
			(2)
45			
			.
			.

## 別の文章でたしかめよう

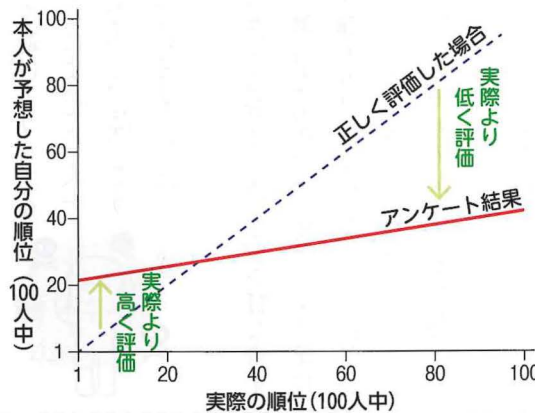
## つながる読解

「あなたのユーモアの理解度は世間でどのくらいに位置していると思うか」という質問をしました。アンケート結果は、次のようでした。」

答え ②ユーモアの理解力のない人は「自分はユーモアがわかる人だ」と実力以上に自己評価する

本当の実力と、本人が思い描いている自分の実力が、一致するとは限りません。

調査の結果、成績下位25%以内の人でも、「上位40%程度にいる」と自分を過大評価していることがわかりました。逆に、上位25%以内の人は「上位30%程度にいる」と過小評価していました。結果をまとめたデータを下図に示しました。グラフから約7割の人々が自分を過大評価していることがわかります。



この傾向はユーモアの理解だけでなく、論理力や学力、スポーツや習い事に至るまで普遍的に見られます。

「能力の低い人ほど自分を過大評価する」というこの傾向は、発見者の名前にちなんで「ダニングクルーガー効果」と呼ばれています。この現象は次のように説明されます。

他人の顔は見えても、自分の顔は見えないように、他人の欠点(認知バイアス)には気づけても、自分の欠点には気づけません。だからヒトは「自分は公平で正しいのに、他人は視野が狭くて偏見に満ちている」と考えがちです。これを「バイアスの盲点」と呼びます。

人は自分に対して無自覚であるという事実は無自覚です。最大の他人は自分なのです。

もし他人に憤りを感じることがあつたら、ぜひ「自分もまた完璧な人間ではない」ことを思い出しましょう。いや、実のところ、世の中、完璧な人間なんて一人もいません。全員が「ココロの盲点」を持っています。だとしたら、ある人が完璧でなかったからといって、それは怒る根拠に値するのでしょうか。当たり前のことが当たり前に起こっただけのことです。そう考えるだけで、たいていの腹の虫は収まるものです。

(池谷裕二「自分では気づかない、ココロの盲点 完全版」より 一部変更)

1 この文章の論理の展開の仕方を説明した次の①～④に入る適切な言葉を、一つずつ選びなさい。

・筆者の考えを支える根拠として、一つめはグラフを示しながら調査結果を取り上げて、①( )をもたせている。二つめは身近な

経験を取り上げて、読み手の②( )を得ようとしている。

③( )的な話題を④( )化することで、わかりやすく伝え

ア 好感 イ 抽象 ウ 説得力  
エ 共感 オ 具体 カ 理解力



能力の低い人は、能力の低さゆえに自分のレベルを正しく評価できない。同様に、他人の能力も正しく評価できない。その結果、能力の低い人は楽観的に自分を過大評価する――。

ダニング・クルーガー効果の大切なポイントは、能力の低い人でも訓練をつめば、スキル不足に気づき、自省できることです。つまり、能力の低い人は、決して無能というわけではなく、単に未熟なのです。

前問のケース7。「能力の低い人ほど自分を過大評価する」という事実を知ったとき、次のどちらの反応が多いでしょう。

① いるいる、そういう人 ② もしかしたら私がそうかも

答え ① いるいる、そういう人

電車やバスの車内風景――。お年寄りに席を譲らない人がいたら、それは気の利かない人です。

しかし、本人は「私は気が利かないなあ」と遺憾に思っているでしょう。きつと思っていないでしょう。なぜなら、近くてお年寄りが困っていることに気づいていないからです（仮に、気づいているのに席を譲らなかったら、それは「気が利かない人」でなく、「意地悪な人」です）。気が利かない人は、問題となる事態に気づかないからこそ、「気が利かない」のです。こうした構図があるかぎり、「自分がどれほど気が利かないか」を、自分では知ることができません。

一方、自分が気づいていることを他人が気づいていないという状況に出くわすと、「私はこんなに気を利かせているのに、どうしてあの人は気が利かないんだ」と憤慨（ふんがい）します。



## 2

根拠に基づいた筆者の考えを捉える問題

717 p. 49 2・ p. 53 4

この文章でいう「ココロの盲点」とはどのようなことか。「他人」「自分」「欠点」の三語を使って、三十字以内で書きなさい。




根拠に基づいた筆者の考えは、**根拠となる部分の内容**から捉える。

### 例

筆者は「完璧な人間なんて一人もいません」と述べたうえで、「全員が『ココロの盲点』を持っています」と述べている。つまり、「ココロの盲点」は人間の欠点として捉えられている。また、「他人の顔は見えても、自分の顔は見えないように」とたとえて説明している。

↓ 他人の何は見える（気づく・わかる）のに、自分の何は見えない（気づかない・わからない）のだろうか。

## 3

他人と関わる時、前提として、どのように考えることが大切だと筆者は述べているか。二つ選びなさい。

- ア 多くの人が自分を過小評価していること。  
イ 問題となる事態に気づかない人が少ないこと。  
ウ 最大の他人は自分であるということ。  
エ 自分と他人が描く姿は一致していること。  
オ 世の中、完璧な人間は一人もないこと。



書く

## 説得力のある批評文を書く

教科書

p.105~107

## 批評文を書く手順

1 批評する ①  
を決めて対象を観察し、

気ついた ②  
を分析する。

## 分析の仕方

- ・ 観点に従って優れた点や問題点を考える。
- ・ 自分の体験や見聞と比べながら、背景を調べる。

2 判断や評価を効果的に伝えるための文章の構成を考える。

3 論理展開、書き出し方、まとめ方を考え、批評文を書く。

自分がそう判断した ③  
を示す。

調べた記事や本、専門家の意見などを ④  
する。

話し合い、対象を別の観点から捉える。

4 ⑤  
のある批評文になっているか確認する。

5 ⑥  
友達と読み合って、助言をもとに自分の文章のよい点や

を見つける。

1 次のA・Bは、防災対策についてのポスターである。これを見て、あとの問いに答えなさい。



□(1) A・Bのポスターが表現していることを、それぞれ選びなさい。

A

B

B

B

B

ア 災害の種類によって変える必要がある防災グッズの中身。

イ 子どもがいる家庭の防災グッズの多さへの注意喚起。

ウ 定期的な防災グッズの確認を通じた防災への意識づけ。

エ 災害を人ごととしないきっかけとしての防災グッズの準備。

□(2) A・Bのポスターは、防災対策の意識の向上としてどのような訴えかけをするときに効果的か。

A

Blank box for answer A.

B

Blank box for answer B.



原稿用紙の使い方は、  
しおりを参考にしよう。

・字数、段落構成などの指示。

・分析の仕方 ↑本誌60ページ参照

2で分析して書き出した考えを基に、テーマについて自分が最も述べたいことを簡潔にまとめる。

\*これが小論文の軸となる。考えを支える根拠や事例とはしっかり区別しておこう。

・論理展開の工夫

段落構成が問題文で指示されている場合はそれに従うこと！



・読み取ったことと考えを区別して書く。

5 読み直して推敲する

自分の考え		読み取ったこと	
つまり、……	このような点から、……であると言える	……と比較してそれに対して	資料からは……が読み取れる ……という傾向がある 文章では「……」と述べられている
	私は……だと考える ……ではないだろうか		

資料や文章をもとにする場合は、まず正しく読み取ることが大切です。

その上で、しっかり分析して、自分の考えをまとめる、という流れをおさえましょう。



右ページのポスターを見て、どちらのポスターが防災

対策の意識の向上につなげるのに効果的だと思うか。次の《条件》に従って作文に書きなさい。

《条件》 1 百八十字以上、二百字以内で書くこと。

2 三段落構成で、それぞれに次の内容を書くこと。

第一段落：効果的だと考えるポスター。

第二段落…選んだ。ポスターのほうが効果的だと考える根拠。

第三段落：第二段落をもとに、結論とする内容。

3 題名や名前は書かず、一行目から本文を書くこと。

4 原稿用紙の正しい使い方に従って書くこと。



ワン  
ワン

## 文法 2

### 助動詞のはたらき

教科書

p.109,  
p.289~293

#### 助動詞

活用する付属語。さまざまな意味をつけ加えたり、話し手や書き手の気持ちや判断を表したりする。

れる られる	せる させる	たい たがる	ない ぬ(ん)
<p>受け身 可能 自発 尊敬</p> <p>他のものに何かをされる。 することができ。 自然とそうなる。 相手の動作を敬う。</p> <p>例 友人に助けられる。 生でも食べられる。 故郷が懐かしく思われる。 先生が来られる。</p>	<p>使役</p> <p>他のものに動作をさせる。</p> <p>例 妹に手伝わせる。 傘を持ってこさせる。</p>	<p>希望</p> <p>話し手・書き手の希望。 話し手・書き手以外の希望。</p> <p>例 私は本を読みたい。 弟はテレビを見たがる。</p>	<p>打ち消し</p> <p>上の内容・意味を打ち消す。</p> <p>例 私は歌わない。 同じ間違いはせぬ。</p>

#### 「れる・られる」の意味の見分け方

「～ことをされる」に言い換えられる。↓受け身  
よく出る！

「～することができ」に言い換えられる。↓可能

「自然に(と)」を補っても意味が通る。↓自発

「お(ご)になる」などに言い換えられる。↓尊敬

#### 「ない」の品詞の見分け方

「ぬ」に置き換えられるかどうかで判断しよう！

例 負けない ↓ 負けぬ || 助動詞

例 遠くない ↓ ×遠くぬ || 形容詞

#### 確認しよう

1 れる・られる 次の各文の——線部の助動詞が表す意味をあとから

一つずつ選びなさい。

- (1) 昔がしのばれる。( ) (2) お客様が来られる。( )  
 (3) 用事を頼まれる。( ) (4) 僕はすぐ出られる。( )  
 (5) 長く待たされる。( ) (6) 南さんが帰られる。( )  
 (7) 娘が案じられる。( ) (8) 確信が得られた。( )

ア 受け身 イ 可能 ウ 自発 エ 尊敬

「自然に(と)」を入れて不自然でなければ自発。

2 う・よう 次の各文の——線部の助動詞が表す意味をあとから一つ

ずつ選びなさい。

- (1) 喜んで、僕は君の提案を受け入れようと思う。( )  
 (2) ここにいない彼も同じことを考えていよう。( )  
 (3) 今日は君も僕らとともに博物館へ出かけよう。( )

ア 推量 イ 意志 ウ 勧誘

3 た 次の各文の——線部の助動詞が表す意味をあとから一つずつ選

びなさい。

- (1) 君たちは明日はプールに行くんだったよね。( )  
 (2) 傷が付いたコップを慎重に洗う。( )  
 (3) 私たちは去年の春に引っ越しをした。( )  
 (4) ちようど夕食を食べ終わったところだ。( )

ア 過去 イ 完了 ウ 存続 エ 確認

「ちようど」とあることに着目。



よう	た	ます	らしい	ようだ ようです	そうだ そうです	まい	だ です
推量 意志 勧誘	過去 完了 存続 確認	丁寧	推定	推定 たとえ	様態 伝聞	打消の意志 打消の推量	断定
想像・予想する。 積極的な気持ちを表す。 一緒にしようかと誘う。	もう過ぎ去ったことを表す。 動作が今終わったことを表す。 「〜ている(ある)」の意味。 思い出して確認する。	ものを丁寧に言う。	根拠のある推量。	根拠のある推量。 他のものにたとえる。	様子(状態)から推し量る。 他者から伝え聞く。	「〜ないつもりだ」の意味。 「〜ないだろう」の意味。	はっきりこうだと言い切る。
例 明日はきつと晴れよう。 私が試してみよう。 さあ、遊びに行こう。	例 夏休みは先週終わった。 たった今帰ってきた。 壁に掛かった絵を見る。 あれは君の本でしたね。	例 私が読みます。	例 彼女は帰るらしい。	例 遠足は延期になるようだ。 海のような広い心をもつ。	例 雪が降りそう。連用形 雪が降りそう。終止形	例 決しようそはつくまい。 明日は雨にはなるまい。	例 私は中学生だ。 あれは図書館です。

★**ココ大事** 「『そうだ・そうです』の意味の見分け方」

何についているかで判断しよう！

● 上が動詞・助動詞の連用形か形容詞・形容動詞の語幹 ↓ 様態  
● 上が活用する語の終止形 ↓ 伝聞

★**ココ大事** 「『ようだ・ようです』の意味の見分け方」

前に入る言葉で判断しよう！

● 「どうやら」が入る。例 どうやら車が着くようだ。 ↓ 推定  
● 「まるで」が入る。例 まるでおとぎ話のようだ。 ↓ たとえ

4 ようだ・ようです 次の各文の——線部の助動詞が表す意味をあと

から一つずつ選びなさい。

- (1) ここ数日間は春のような暖かさだ。
- (2) 坂本さん一家は旅行中のようです。
- (3) 僕は将来祖父のような人物になりたい。

ア 推定 イ たとえ ウ 例示

💡 「どうやら」「まるで」「例えば」を入れてみる。

5 そうだ 次の各文の——線部の助動詞が表す意味をあとから一つず

つ選びなさい。

- (1) 田中さんが美術部の部長になりそう。
- (2) 田中さんが美術部の部長になるそう。
- (3) 外国には珍しい切手が数多くあるそう。
- (4) 外国には珍しい切手が数多くありそう。

ア 伝聞 イ 様態

6 助動詞の表す意味 次の各文の——線部の助動詞が表す意味をあと

から一つずつ選びなさい。

- (1) 同級生と桜が満開の公園に行きます。
- (2) 二週間たつと、ぼくは十五歳だ。
- (3) カナダで美しいオーロラを見たい。
- (4) テニス部の部員は部活動を休まない。
- (5) ねえ、今年の夏休みは山へ行こう。

ア 打ち消し イ 希望 ウ 勧誘 エ 断定 オ 丁寧

## 練習しよう

1 次の各文の——線部と同じ意味を表すものを一つずつ選びなさい。

□(1) 私は難しい質問には答えられませぬ。

ア 祖母がしのばれる。

イ お客様が席を立たれる。

ウ 先生からほめられた。

エ 柵を飛び越えられない。

□(2) 転んで、通りすがりの人に心配される。

ア 将来に不安が感じられる。

イ 不意に肩をたたかれる。

ウ 先輩が答辞を読まれる。

エ 八時なら私も起きられる。

□(3) 花の絵が描かれたはがき。

ア ちょうど雨が上がった。

イ 雨にぬれた公園を歩く。

ウ 彼は林さんでしたか。

エ 幼い頃に聞いた話を伝える。

□(4) デパートで買った服を着てみる。

ア 先週スキーに行った。

イ ひものついた靴を履く。

ウ 商品は今、売り切れた。

エ 君のは赤いほうでしたね。

□(5) 私は先に帰ろう。

ア 今日の外は寒かろう。

イ 一緒に行こう。

ウ 僕は明日日本を読もう。

エ 皆で遊ぼう。

□(6) 誰にでも簡単にできよう。

ア 一人で悩むのはやめよう。

イ 私も努力しよう。

ウ さあ、出発しよう。

エ 明日は晴れよう。

□(7) 彼女の手は雪のように白くて美しい。

ア あの鳥のように自由に空を飛びたい。

イ 母が持っているようなかばんが欲しい。

ウ 彼は今日の試合に出場しないようだ。

エ 今週は毎日、山のよう宿題がある。

□(8) 上田さんに見られていたようだ。

ア 広くて澄んだ湖面が鏡のようだ。

イ 兄のように強い選手になりたい。

ウ 疲れきった弟はまだ寝ているようだ。

エ 和菓子のような見た目のケーキを食べる。

□(9) 川田さんはパリに行ったそうだ。

ア もう少して木の枝に手が届きそうだ。

イ 退屈で思わずあくびが出そうだ。

ウ 来週から気温がぐんと低くなるそうだ。

エ 焼きたてのパンを素手で持つとやけどしそうだ。

💡 動詞・助動詞の連用形についていれば「様態」、終止形についていれば「伝聞」。

□(10) こらえても笑ってしまいそうだ。

ア 借りている本を明日には全部読めそうだ。

イ もうすぐ彼がこちらにやって来るそうだ。

ウ このクッキーは見た目に反して甘くないそうだ。

エ 今日から日曜日まで駅前でセールをしているそうだ。



63 ページに見分け方が載っているよ。



## 2 次の各文の( )に入る語をあとの□から選んで書きなさい。(同じ語は二回使わないこと。)

じ語は二回使わないこと。

- (1) 次は山に登り( ) というのが母の希望だ。
- (2) 夕方五時を過ぎると、すぐに暗くなり( )。
- (3) 父が小学三年生の妹を近所の店までお使いに行か( )。
- (4) 楽しい映画を見て、思う存分に笑お( )。
- (5) 大丈夫、怒ら( ) ので、正直に話してごらん。
- (6) あんな恥ずかしい思いは二度とする( )。
- (7) 卵が入っ( ) サンドイッチ。
- (8) 手が冷たくて氷の( )。
- (9) 母から留守番を頼ま( )。
- (10) おそらく弟も私と一緒に公園へ行き( ) だろう。
- (11) 天気予報によれば、午前中は晴れ( )。
- (12) よそ見をしていると、兄に私のおかずを食べ( )。



れる られる せる た そうだ  
たい たがる ない ようだ らしい  
まい う

## 3 次の各文の——線部の語の中から、文法的な性質が他と異なるものを一つずつ選びなさい。

- (1)
- ア 楽しくないので、早く帰りたい。
- イ 今年はどうどこにも行かない。
- ウ 守れない約束はしないことだ。
- エ 忘れないように手帳に書き留める。
- (2)
- ア 冬なのにあまり寒くない。
- イ おおげさな表現はしない。
- ウ 私のかばんは大きくない。
- エ 犬がいるので寂しくない。
- (3)
- ア いくら歩いても、山が続くばかりだ。
- イ 聞いたことのない話だ。
- ウ 行ってみたい国はフランスだ。
- エ 初夏の空気はさわやかだ。
- (4)
- ア 田中さんの忘れ物らしい。
- イ このカレーは辛くないらしい。
- ウ 遅れるらしいので、先に行こう。
- エ 私らしい元気な絵が描けた。

「ココ大事」  
「ない」の前に「は」が  
入れられれば、助動詞  
ではないよ。

「ココ大事」  
「春らしい気候」のよう  
に「いかに」にふさわ  
しい」という意味の場合  
は形容詞の一部です。



知



言葉の小窓 2

## 相手に対する配慮と表現

教科書

p.114,  
p.275~277

1 次の敬語の説明として、適切なものを一つずつ選びなさい。

(1) 尊敬語

(2) 謙譲語

(3) 丁寧語

(4) 美化語

ア 物事を上品に美しく表現する言い方。  
イ 動作などの主体である人物を高めて言う言葉。

ウ 話し手自身や話題の中の人物の動作を低めて、その動作が向かう相手を高めて言う言葉。  
エ 改まった場面や相手に対して丁寧に述べる言葉。

謙譲語の中でも、聞き手や読み手への敬意をこめて、自分の側の行いや物事などをへりくだって言う言葉を、「丁寧語」として区別することもあります。

2 次の会話の□に入る敬語表現を一つ選びなさい。

客 「最新の洗濯機はどれですか。」  
店員 「はい、こちらのタイプです。パンフレットもござい  
ますので、ぜひ□。」

ア 拝見してください  
イ ご覧ください  
ウ うかがってください  
エ ちようだいしてください

3

次は、中学生のAさんが先生に家庭訪問の日取りを相談している会話である。——線部の敬語の使い方が正しければ○を、誤っていれば正しく直した言葉を書きなさい。

A 先生、家庭訪問の日を来週の火曜日に変更していただけないか、  
ご相談にいらつしやったのですが。

先生 それは、Aさんのお母さんが、そう  
おつしやっているのですか。

A はい、お母さんがそうおつしやって  
います。

先生 わかりました。では火曜日にします。  
連絡のお手紙を書きますから、家に帰っ  
たら渡してください。

A ありがとうございます。ご覧になる  
ようにお伝えしておきます。



⑨ □	⑦ □	⑤ □	③ □	① □
⑩ □	⑧ □	⑥ □	④ □	② □



## 漢 字

知

①～⑫は——線の漢字の読みを書き、  
⑬～⑮は漢字に直して書きなさい。

- ⑫ □ 所詮作り話だ。  
⑪ □ 国会召集詔書  
⑩ □ 物語の梗概。  
⑨ □ 淑女の面々。  
⑧ □ 淫行を禁ずる。  
⑦ □ 飛行機に搭乗する。  
⑥ □ 湖を干拓する。  
⑤ □ 拙者が参ります。  
④ □ 賄賂を禁止する。  
③ □ 税を賦課する。  
② □ 来賓の祝辞。  
① □ 108 賭け事を禁ずる。
- ⑬ □ 94 ピアノのエンソウ。  
⑭ □ 98 番組のシチヨウ率。  
⑮ □ 広告のバイタイ。  
⑯ □ 99 人がシダイに集まる。  
⑰ □ 100 食材をギンミする。  
⑱ □ 101 増加ケイコウにある。  
⑲ □ カンダイな処置。  
⑳ □ 進路になやむ。  
㉑ □ 106 サイゼンを尽くす。  
㉒ □ 108 優勝にコウケンする。  
㉓ □ お言葉をたまわる。  
㉔ □ テイセツを守る。
- ㉕ □ 損害のバイシヨウ。  
㉖ □ 誘力イ事件が起こる。  
㉗ □ しおりをはさむ。  
㉘ □ マツチャを頂く。  
㉙ □ ケイリユウにすむ魚。  
㉚ □ コウズイを防ぐ。  
㉛ □ つなみへの対策。  
㉜ □ ゼンジ回復する。  
㉝ □ センタクして干す。  
㉞ □ ハンヨウ性が高い。  
㉟ □ 畑をサクで囲う。  
㊱ □ 障子のサンをふく。  
㊲ □ 脊ツイ動物の仲間。
- ㊳ □ 経歴をサ称する。  
㊴ □ 訴シヨウを起こす。  
㊵ □ 業務をイタクする。  
㊶ □ 快クシヨウダクする。  
㊷ □ 師のフホウを聞く。  
㊸ □ 中学校のキヨウウ。  
㊹ □ イギリスのミンヨウ。  
㊺ □ マクが張る。  
㊻ □ タイジが動く。  
㊼ □ インコウ科に通う。  
㊽ □ ルイセンがゆるむ。  
㊾ □ 対応にこまる。  
㊿ □ 114 師をソンケイする。

## 語 句

知

1 相手に対する配慮と表現 114・275～277 次  
の□に入る敬語を一つ選びなさい。

- ●母は今、家に□。  
ア いらっしゃいます  
イ おります  
ウ おられます

2 次の——線部の語句の意味を一つ  
ずつ選びなさい。

- (1) 94 事故に遭遇する。  
ア 避けて通る  
イ 実際に見る  
ウ 不意に出会う
- (2) 99 山頂から俯瞰する。  
ア ほっと一安心する  
イ 高い所から全体を見る  
ウ 周囲に注意して動く

3 対義語の組になるように、□に合  
う漢字を一つずつ選びなさい。

- (1) 94 破壊 ↓ □ 設  
□ (2) 99 曖昧 ↓ 明 □  
ア 模 イ 確  
ウ 建 エ 郎



教科書

p.118~127

5

旅への思い

芭蕉と『おくのほそ道』

古典を伝える

目標

歴史的背景を考えて読み、  
作者のものの見方を捉えよう



デジタル

「おくのほそ道」ってどんなもの？

そもそも Q&A で確かめよう！

知

漢字

漢字の右に読みを書こう

★は新出漢字 ☆は新出音訓

ページ

9 □ 124	5 □ 120	1 □ 118
隔	感	娛
てる	慨	楽
10 □ 126	6 □ 122	2 □
勧	過	漂
める	客	泊
11 □	7 □	3 □
佳	払	近
景	う	畿
12 □	8 □	4 □ 119
滞	譲	冒
在	る	頭

知



しっかり解説

歴史的仮名遣いのルール

歴史的仮名遣い

現代仮名遣いに直し、全て平仮名で書こう

原則① 語中・語尾の「は・ひ・ふ・へ・ほ」→「わ・い・う・え・お」

□ (1) 122上 とらへて

□ (2) 122上7 くるはせ

□ (3) 122上8 あひて

原則② 「ゐ・ゑ・を（助詞以外）」→「い・え・お」

□ (4) 123 5 うを（魚）

原則③ 「ぢ・づ」→「じ・ず」

□ (5) 122上4 いづれ

□ (6) 122上10 ゆづ（譲り）

グラフィック資料

芭蕉の旅へのあこがれ



デジタル



1 船頭 (122下②) (撮影年不詳) ※



3 白河の関跡 (122上⑦) (福島県)



3 道祖神 (122上⑧)



2 馬子 (122下③) (撮影明治初期) ※

漢詩の影響

次に挙げた李白や杜甫の詩が「おくのほそ道」の冒頭や平泉の段に影響を与えている。

李白 (七〇一～七六二)

夫れ天地は万物の

逆旅にして、光陰  
は百代の過客なり。  
「春夜桃李園に宴する  
の序」より

杜甫 (七一二～七七〇)

国破れて

山河在り  
城春にして  
草木深し  
「春望」より

※は長崎大学附属図書館蔵



原則④ 「む」→「ん」

□ (7) 122上 越えむ

原則⑤ 「くわ・ぐわ」→「か・が」

□ (8) 122上 くわかく (過客)

原則⑥ 「au→ō」「iu→yu」「eu→yō」

□ (9) 122上 どうそじん (道祖神)

□ (10) 122上 きう (灸)

□ (11) 124① えいえう (栄耀)

## 思

### まず「こ」 作者と作品の歴史的背景を捉えよう

作者の  が、風雅の道に生涯をささげた

の人々にあこがれ、あてのない  に出た。



江戸にあった  を人に譲り、白河の関へ向けて出立した。

江戸 → 奥羽 (おうう) → 大垣 (おおがき)

それぞれの場所とどんな俳句をよんだのだろうか？

「おくのほそ道」は百五十日近い旅の様子を、俳句（俳諧）とともにつづった紀行文。対句や漢文調の簡潔な表現など、文体に特徴があるんだ。

思

## 読解 1 順番に読み取る

各場面から情景や作者の心情を捉えよう

【A 表現に着目し、「旅立ち」の情景や心情を捉えよう】

目標

1 「月日は百代の……旅人なり」(122上①)とあるが、この部分から作者

のどのような考えがわかるか。一つ選びなさい。

ア 歳月は同じ場所を何度も行ったり来たりする旅人のようなものだ。

イ 歳月は道に迷いながらも前進を続けていく旅人のようなものだ。

ウ 歳月はとどまることなく永遠に通り返る旅人のようなものだ。

エ 歳月は誰にも気づかれず消え去ってしまう旅人のようなものだ。

💡 「百代」とは「永遠」という意味だよ。

2 「古人」(122上③)について、

□ (1) どのような人のことか。一つ選びなさい。

ア 家族を捨てても意志を貫いた、わがままな生き方をした人。

イ 詩歌に人生をかけ、旅を続けながら一途な生き方をした人。

ウ 危険な旅に挑んだ、命知らずで豪快な生き方をした人。

エ 願いを達成できずに、悔やみ続ける生き方をした人。

□ (2) 具体的には誰か。118ページから四人抜き出しなさい。

3 「そぞろ神の……手につかず」(122上⑦)とあるが、この部分から作者のどんな気持ちがわかるか。一つ選びなさい。

ア 江戸を離れるのが寂しい。イ 道中の安全が不安である。

ウ 旅先の予定に迷いが残る。エ 旅に出たくて落ち着かない。

💡 「そぞろ神」とは、人の心に取りついて誘惑する神のことだよ。

□ 4 「住める方は人に譲りて」(122上⑩)から読み取れる芭蕉の思いを一つ選びなさい。

ア 住んでいた家を人に任せることで、戻ってきたときの居場所を確保し、これからは旅を楽しめるという喜び。

イ 住んでいた家を手放すことで、戻って来ようという思いを断ち切り、これからは旅に生きていくのだという決意。

ウ 住んでいた家を人に任せることで、自分が取り組んできた俳句や旅への思いが受け継がれることを確信した安心感。

エ 住んでいた家を手放すことで、これからは好きなきに旅に出ることができなくなってしまうという絶望感。

5 「草の戸も…」(123①)の句について、

□ (1) 季語を抜き出し、季節を漢字一字で

書きなさい。

季語	季節

□ (2) 「雛の家」から、芭蕉の住んでいた草庵に、今はどんな人々が住んでいることがわかるか。「娘」の語を使って、二十字程度で書きなさい。

書くヒント — 線の内容を使って答えを作ろう！

内容 「雛の家」(123①) ↓ 雛人形を飾る家

↓ 住んでいる人 ↓ 娘がいる

↓ 雰囲気 ↓ (親が娘のために雛人形を飾るほど) 華やか

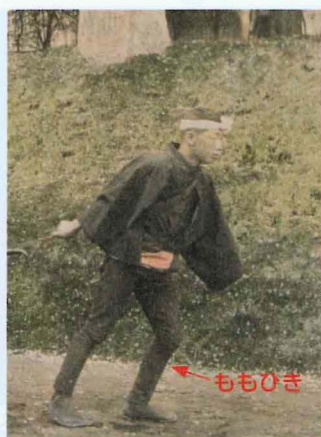
【答え方】文末は「人々。」などにする。

## グラフィック資料

### 芭蕉の旅支度



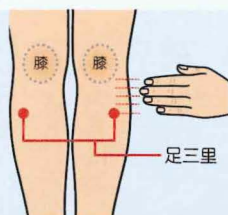
デジタル



1 ももひき (122下⑮) をはいた人力車夫 (撮影年不詳・長崎大学附属図書館蔵)



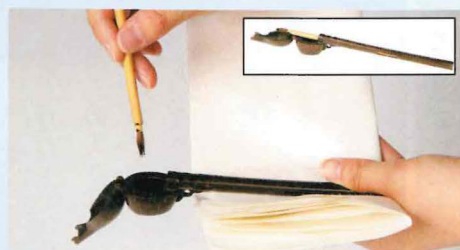
2 笠 (122下⑮) を張りかえる芭蕉 (『芭蕉翁絵詞伝』義仲寺蔵)



3 三里と灸 (122下⑮)

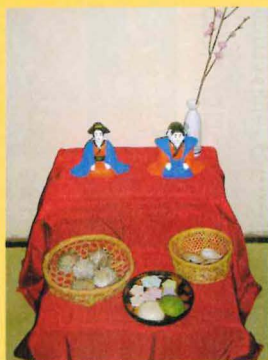


4 松島の月 (122下⑮)



5 懐紙 (122下⑳) と矢立 旅先では、矢立という、筆と墨壺が一つになっている道具で書いている。

## 雛人形



江戸や江戸近郊の農村地帯の雛祭りに用いられた「土雛」(今戸焼製)。供え物は、さざえ、落雁、草餅、蛤、桃の花。  
桃と、草餅に使われるヨモギは、古来から邪気をはらうと信じられていた。

(深川江戸資料館蔵)



## 【B】歴史的背景を考えながら、平泉の場面の情景や心情を味わおう

- 1 「三代の栄耀」(124①)について、かつてそこにあった栄華を示すものとして作者が思い浮かべているものをまとめた次の表の□
- ①③に入る言葉を古文中から□の字数で抜き出しなさい。

人が造ったもの	②	たちの旧跡	①	の館	和泉が城	衣が関
	②	たちの旧跡	①	の館	和泉が城	衣が関

衣が関を越えてくる者を阻むものかと思われる。

作者が実際に見たのは、夏草が生える③。

- 2 「形を残す」(124②)とあるが、作者が実際に目にした山と川を、古文中から三つ抜き出しなさい。


- 3 「時の移るまで涙を落としてはべりぬ」(124⑧)とあるが、この様子には作者のどのような心情が表れているか。一つ選びなさい。

- ア 変わらずに残る自然に対して人間のはかなさを感じている。  
 イ 人間が争って自然が破壊されてしまったことに怒っている。  
 ウ 名声や権力のために戦う人間を愚かであると非難している。  
 エ 人間が争うことや自然が破壊されていくことを嘆いている。

## 【C】立石寺の場面の情景や心情を味わおう

- 1 I 「岩に巖を重ねて山とし」(126④)、II 「松柏年旧り、土石老いて苔滑らかに」(126⑤)の表現についての説明として適切なものを二つずつ選びなさい。

- ア 擬人法が使われている。  
 イ タ暮れの情景が表されている。  
 ウ 山の地表の有り様がよく表れている。  
 エ 対句表現が美しいリズムを感じさせる。  
 オ 意味が同じで読みの似た二つの漢字がリズムを生んでいる。

💡 「擬人法」とは、人でないものを人にとえる表現だよ。



1 立石寺(山形県)

- 2 「立石寺」における作者の心情を最もよく表している言葉を、古文中から十字で抜き出しなさい。


- 3 「閑かさや…」(126⑧)の句の季語を抜き出し、季節を漢字一字で書きなさい。

季語	季節

## 目標

【D】『おくのほそ道』の旅に関わる句を読み味わおう

1 「旅に病んで…」(119⑤)の句にこめられた作者の思いを一つ選びなさい。

- ア 旅はもう終わりだ。 イ まだ旅を続けたい。  
ウ 幸せな生涯だった。 エ 孤独な死はつらい。

2 「行く春や…」(123⑤)の句について、

□(1) この句には、人々に見送られて旅立つ作者のどんな気持ちが表れているか。一つ選びなさい。

- ア 旅立ちにふさわしい季節を選んだ満足感。  
イ 鳥や魚までも悲しみを表すことへの驚き。

ウ 別れの悲しさと、未知の旅への決意。

エ 見送りの人々への感謝と旅立つ喜び。

□(2) 「蛤のふたみ…」(126⑫)の句の中で「行く春や…」の句と対応している部分を三字で抜き出さない。

--	--	--

## 思考

読解 2 全体を  
読めたかな？

この文章の内容や表現上の特徴と  
合わないものを、一つ選ぼう

- ア 古人が歌をよんだ地を訪れることで、新たな発見がある。  
イ 人生は無常なものであり、とどまることができないものである。  
ウ 人の栄華ははかないもので、自然の雄大さの前に衰れを感じる。  
エ 漢語や対句表現を用いた、簡潔で格調の高い文章である。

## 思考

読解 3 深めよう

俳句を通して、芭蕉のものの見方や  
感じ方について考えよう

1 次の①・②の俳句について、

□(1) 共通して表現されているものを一つ選びなさい。

- ① 草の戸も住み替はる代ぞ雛の家(123①)  
② 夏草や兵どもが夢の跡(124⑨)

ア 人間の短くはかない一生 イ とどまることのない時の流れ  
ウ 雄大な自然の姿 エ 語り継がれてゆく歴史

□(2) 二つの俳句で心に響いたほうを一つ選び、芭蕉のものの見方、感じ方について、あなたの考えを書きなさい。

書くヒント 線の内容を使って答えを作ろう！

内容 ・芭蕉のものの見方、感じ方(1)で確認しよう。

・その俳句のどこが、どのように心に響いたか。

【答え方】「……と思う。」など、自分の考えであることがわかる文末にする。

選んだ俳句の番号

--	--	--	--	--



旅への思い——芭蕉と『おくのほそ道』——

旅立ち

予よもいづれの年よりか、片雲へんうんの風かぜに誘さはれて、漂泊ひょうぱくの思おもひやま  
ず、海浜かいひんにさすらへて、去年こぞの秋、江上かうじやうの破屋やにくもの古巢ふるそうを払はら  
ひて、やや年も暮くれ、春立はるたててる霞かすまの空そらに、白河しらかはの関越かんえつえむと、そ  
ぞろ神かみの物ものにつきて心こころをくるはせ、道祖神みちそじんの招まねきにあひて、取る  
もの手てにつかず。

ももひきの破れをつづり、笠の緒付けかへて、三里に灸すゆる  
より、松島の月まづ心にかかりて、住める方は人に譲りて、杉風  
が別墅に移るに、

草の戸も住み替はる代ぞ雛の家  
表八句を庵の柱にかけおく。



- (1) 「誘はれて」、「まづ」を現代仮名遣いに直し、全て平仮名で書きなさい。
- (2) 「漂泊の思ひ」とはどのような思いか。十五字以上、二十字以内の現代語で書きなさい。
- (3) 家を譲る前にした旅の準備の様子を表す部分を古文中から二十八字で抜き出し、初めと終わりの四字を書きなさい。
- (4) 「江上の破屋」と同じものを表す言葉を古文中から二つ、三字と一字で抜き出さない。
- (5) 「そぞろ神の物につきて」と「道祖神の招きにあひて」の部分に使われている表現技法を次から一つ選びなさい。
- ア 体言止め    イ 直喩    ウ 対句    エ 倒置
- (6) 旅に生きようという作者の決意は、どのような行動に表れているか。古文中から十字で抜き出さない。
- 「つ」  
↓  
A 4

(6)	(4)	(3)	(2)	(1)
				A
	.			
		{		
	(5)		15	B
10				





## 別の文章でたしかめよう

## つながる読解

大石田は古くから俳諧が盛んだったが、人々は俳諧の進むべき道に悩んでいた。

最上川のらんと、大石田と云所に日和を待。爰に古き俳諧の種こぼれて、忘れぬ花のむかしをしたひ、芦角一聲の心をやはらげ、此道にさぐりあして、新古ふた道にふみまよふといへども、みちしるべする人しなればと、わりなき一卷残しぬ。このたびの風流爰に至れり。

最上川はみちのくより出て、山形を水上とす。ごてん・はやぶさなど云おそろしき難所有。板敷山の北を流て、果は酒田の海に入。左右山覆ひ、茂みの中に船を下す。是に稲つみたるをやいな船といふならし。白糸の瀧は青葉の隙々に落ちて、仙人掌岸に臨て立。水みなぎつて舟あやふし。

五月雨をあつめて早し最上川

(芭蕉「おくのほそ道」より)

\*のらん……舟下りをしよう。

\*古き俳諧の種こぼれて……古い俳諧につながるものが生きていて。

\*忘れぬ花のむかし……花開いた昔。

\*芦角一聲の心をやはらげ……ほんの片田舎なのに風流なことて人々の心を慰め。

ことて人々の心を慰め。

\*此道にさぐりあして……俳諧の道に入ってみても。

\*みちしるべする人しなれば……指導する人がないので。

\*わりなき……やむをえず。

\*一卷……歌仙(句を三十六句連ねたもの)一卷。



1 最上川

\*このたびの風流……今回の風流を求める旅。

\*みちのく……東北地方の一部を指す。

\*いな船といふならし……(古歌に)稲舟といったのだろうか。

\*仙人掌……源義経の家臣をまつる外川神社。川岸に建っている。

\*水みなぎつて……水量が多く、水流が激しくて。

\*あやふし……危険だ。

## 作者のものの見方や感じ方を捉える問題

1 「このたびの風流爰に至れり」から、作者のどのような思いが読み取れるか。一つ選びなさい。

ア 俳諧に無関心な田舎の人々への失望。

イ 自分の進むべき俳諧の道へのとまどい。

ウ 自分の俳風が地方に広がることへの感慨。

エ 俳諧が盛んだった古い時代への郷愁。

2 作者は、最上川のどのような光景に心を動かされて「五月雨を…」の句を詠んだか。注を参考にして解答欄に合う形で書きなさい。

最上川の水量が多く、

光景。



「おくのほそ道」を読むときは、作者の心に残った光景を、俳句だけでなく文章からも捉えよう。

\*俳句の表現「あつめて早し」

↓川の水量や流れの激しさ、舟下りの危険さに関する叙述を文章から探す。





2 芭蕉庵 明治時代の洋画家、中村不折が芭蕉庵をイメージして描いたもの。(江東区芭蕉記念館所蔵)

# おくのほそ道

グラフィック資料



1 芭蕉(左)と曾良  
許六筆「奥の細道行脚之図」  
(天理大学附属天理図書館所蔵)

松尾芭蕉(本名宗房)は、伊賀国(三重県伊賀市)の下級武士の家に生まれました。当時手軽な文芸として流行していた俳諧に親しみ、二十九歳で江戸に出て、俳諧の師匠である宗匠となりました。のち、深川(東京都江東区)に転居し、粗末な庵を結びました。バショウが植えられていたため芭蕉庵と呼ばれ、自らも「芭蕉」と名乗りました。

俳聖 松尾芭蕉

## 旅と俳諧

芭蕉は、旅に出ては、俳諧と文章をつづる俳諧紀行文を書き上げました。旅先で弟子たちと交流し、長く留まって句作に励むことも多くありました。

それまで言葉遊びのおもしろみを強調して詠むのが主流だった俳諧を、芭蕉は芸術に高めたと言われています。

## 『おくのほそ道』の旅

四十六歳の芭蕉は、門弟の曾良と東北・北陸地方を巡り、俳諧紀行文『おくのほそ道』を著しました。この旅には、俳諧の修行をすることのほか、敬愛する西行らの足跡をたどることや、和歌に詠まれてきた歌枕の地をその目で確かめることなどの意義がありました。

この旅の後も各地を転々とした芭蕉ですが、旅の途中の大坂(大阪)で倒れ、五十一歳の生涯を閉じました。



4 芭蕉終焉の地に立つ石碑 (大阪市)

旅に病んで夢は枯野をかけめぐる

冬

(辞世の句とされる)

芭蕉が敬愛する

詩歌に生きた先人たち



西行 武士であったが出家し、旅をして和歌を詠んだ。

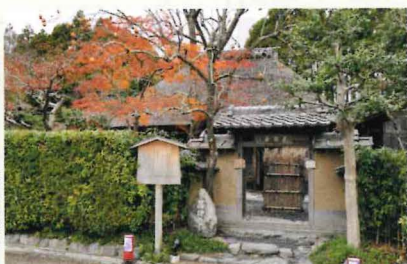
5 (神宮文庫所蔵)



宗祇 室町時代の連歌師。各地の大名に招かれてしばしば旅をした。

6 (国立民俗博物館所蔵)

3 落柿舎 弟子の向井去來が所有していた別荘。ここに長く滞在して句集を編んだ。(京都市)





# 栄枯盛衰の地 奥州平泉

平泉（岩手県）は、平安中期から後期にかけて、東北地方一帯を支配した豪族・奥州藤原氏の拠点です。奥州藤原氏は砂金の採取や中国との貿易で経済力をつけ、清衡・基衡・秀衡の三代にわたり、大いに繁栄します。しかし、源平合戦の後、源頼朝に追われる源義経をかくまった罪で、頼朝に滅ぼされました。



現在の平泉周辺

8

## 平泉復元図



9 中尊寺金色堂内陣  
三代の棺が安置されている。（中尊寺所蔵）

二代  
基衡

初代  
清衡

三代  
秀衡

西南壇

西北壇

中央壇

藤原清衡・基衡・秀衡の三代の棺が納められている。

芭蕉はこの地で奥州藤原氏の栄枯盛衰に思いをはせ、人の世のはかなさと悠久の時の流れに涙を流します。



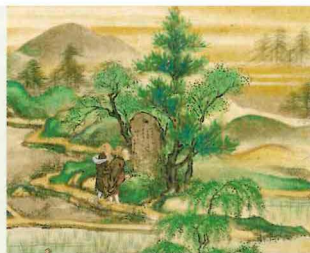


源実朝が魚を分ける漁師たちの声を聞き、**古歌**「あまの小舟の綱手かなしも（小さな漁船が引かれていく、その光景の愛しさよ）」と詠んで平穩な世の中が続くことを願ったときの心情が推し量られた。

6 塩竈湾にある離島  
昔から漁業の盛んな地域。

## 6 塩竈

宮城県塩竈市



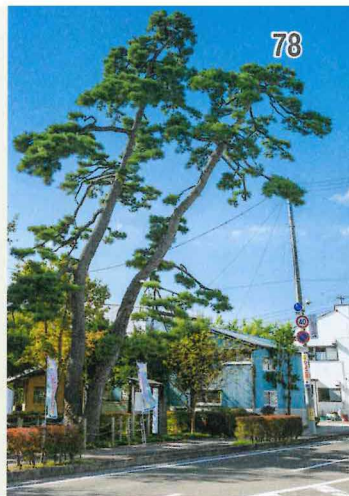
壺碑はおよそ千年前の姿を留めており、感動した。

5 壺碑を見る芭蕉と曾良  
壺碑は坂上田村麻呂が「日本中央」と刻んで建てたとされる石碑。現在では多賀城跡の南にある碑が壺碑であるとされている。

「芭蕉翁絵詞伝（義仲寺蔵）」

## 5 壺碑

宮城県多賀城市



4 武隈の松 古来歌によく詠まれた名木で、根元から二つに分かれているため、二木の松とも呼ばれている。

## 4 武隈の松

宮城県石巻市

江戸を出て三月がたち、遅桜の季節も過ぎてしまったが、見たいと待ち焦がれた二本の松を、今見る事ができた。

# 芭蕉が訪ねた歌枕の旅

2400km  
約150日



早苗とる手もとや昔しのご摺  
早乙女たちが田植えをする手もとを見ていると、昔、信夫摺りをした手つきがしはれる。

古歌  
みちのくのしのぶもぢずり誰ゆゑに  
乱れそめにし我ならなくに (源融)

みちのくの信夫摺りの模様のように、誰のせいで心が乱れたのでしょうか。私のせいではありませんのに。

## 江戸

東京都

行く春や  
鳥啼き魚の目は泪

春

## 1 千住

東京都

## 2 白河の関

福島県白河市

不安な日々を過ごすうちに白河の関を越えて、まさしくここからおくのほそ道だと思つと、かえって落ち着きを得た。



2 白河の関 古くは蝦夷地との境界であったが、平安時代以降は歌枕として有名となる。

## 3 信夫文字摺

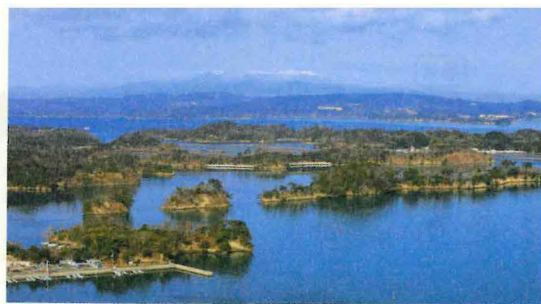
福島県福島市



3 文字摺石 この石に布を当てて模様を出した染めものを「もじずり」と呼んだ。

スタート





# 7 松島

宮城県宮城郡松島町

「松島の月まぶ心にかかりて」と記したように、この旅の主要な目的地の一つにたどり着き、感極まって句がまとまらな

いほどだった。  
7 松島 松の緑が美しく、江戸時代前期から日本三景の一つとされた。

# 8 衣川(平泉)

岩手県岩手郡平泉町

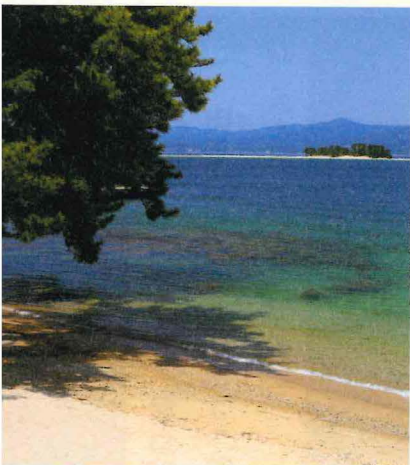


8 中尊寺旧覆堂 かつて金色堂を覆っていた木造の堂。芭蕉が見たのはこの建物。(中尊寺所蔵)

9 中尊寺金色堂 (中尊寺所蔵)



12 色の浜 (色ヶ浜) 西行の和歌で知られる歌枕。



波の間や小貝にまじる秋の塵  
浜辺に寄せる波の絶え間に見ると、砂浜には西行が歌に詠んだ小貝にまじって、ハギの花も散っている。

古歌 汐染むるますほの小貝拾うとて  
色の浜とはいふにやあるらむ (西行)  
汐がその色を染めた赤い小貝を拾うことから、色の浜と言うのだろうか。

# 10 色の浜

福井県敦賀市

10 ネムの花



# 9 象潟

秋田県にかほ市

象潟や  
雨に西施が  
ねぶの花  
象潟の美しい景色に降る雨にぬれるネムの花は、古代中国の美女・西施を思わせる。

11 象潟 芭蕉が訪れた当時は海辺だったが、その後の地震で隆起して現在の姿になった。



13 ハギの花

# 11 大垣

岐阜県

ゴール

蛤の  
ふたみに別れ  
行く秋ぞ  
季節が春から秋に変わり、「行く秋ぞ」が1千住の「行く春や」と対応している。

秋





教科書

p.128~135

# 5 和歌の調べ

古典を伝える

目標

古人が和歌に表した心情や情景を、和歌の修辭や歴史的背景に注意しながら理解しよう

万葉集・古今和歌集  
新古今和歌集



デジタル

知 漢字 漢字の右に読みを書こう

ページ 1 □ 128

古 今

祈

巧

み

沢

(訓読み)

★は新出漢字、☆は新出音訓

知 歴史的仮名遣い

現代仮名遣いに直し、全て平仮名で書こう

- |                 |                       |                       |                      |                          |
|-----------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|--------------------------|
| □ (9) 131⑥ こほれる | □ (7) 130⑧ まなかひ       | □ (5) 130⑦ おもほゆ (思ほゆ) | □ (3) 129⑬ うぐひす      | □ (1) 129② しろたへ (白たへ)    |
| □ (10) 131⑥ けふ  | □ (8) 130⑩ なにせむ (何せむ) | □ (6) 130⑦ いづくより      | □ (4) 130④ いひし (言ひし) | □ (2) 129⑪ こひをれば (恋ひをれば) |

語中・語尾の「は・ひ・ふ・へ・ほ」は「わ・い・う・え・お」にするよ。



## 和歌

まず 和歌について理解しよう

- |                        |                           |                        |
|------------------------|---------------------------|------------------------|
| □ (15) 133⑩ たまのを (玉の緒) | □ (13) 132④ みえつらむ (見えつらむ) | □ (11) 131⑥ とくらむ       |
| □ (16) 133⑩ ながらへば      | □ (14) 133⑧ あはれ           | □ (12) 132② おもへば (思へば) |

喜び

祈り

など

- 代表的な作品
- ・ 万葉集
- ・ 古今和歌集
- ・ 新古今和歌集



ちよつと 解説 『新古今和歌集』の時代になると、『万葉集』や『古今和歌集』の歌を踏まえた歌が多くつくられたよ。

● 昔から、人々のさまざまな思いを伝える手段。

● ① と ② を基調とした ③ の詩。



表現の効果に着目して、和歌によまれた心情や情景を読み味わおう

1 「春過ぎて…」(129②)の歌について、

情景を想像してそれぞれ漢字一字で書きなさい。

□(2) 作者が「夏来たるらし（夏が来たらしい）」と感じたのは、どこに何がどうしてあるからか。二十字以内で書きなさい。

2 「田子の浦ゆ…」(129④)の歌について、

□ (1) 「田子の浦ゆ」の意味を一つ選びなさい。

ア 田子の浦で  
イ 田子の浦を通つて

ウ 田子の浦にも  
エ 田子の浦まで

□ (2) この歌は、富士山ふじさんのどのような姿に感動してよまれた歌か。現代文中から十五字で抜き出しなさい。

[illegible][illegible]

長歌

山部宿禰赤人が富士山を望む歌一首

山部赤人が富士山を望んで詠んだ歌

天地の  
あめつち  
わか  
分れし時ゆ  
神さびて

天と地が分かれたこの世のはじめから神々しく

高く貴き  
駿河<sup>するが</sup>なる  
富士の高嶺<sup>たかね</sup>を  
天の原

高く貴い駿河の国の富士の高嶺を 大空高く

振り放<sup>さ</sup>げ見れば  
渡る日の  
影も隠らひ

振り仰いで見ると、  
空を渡る太陽の  
姿も隠れ

照る月の  
光も見えず  
白雲も  
い行きはばかり

空を渡る月の姿も隠れ、  
白雲も行きあぐねて

時じくぞ 雪は降りける 語り継ぎ

いつも雪は降っている。  
語り伝え

言ひ継ぎ行かむ 富士の高嶺は

言い継いでいこう。  
この富士の高嶺を。

# 短歌

田子の浦に  
うち出でて見れば  
白妙の

富士の高嶺に  
雪は降りつつ  
(新古今和歌集)

万葉集には「長歌」という形式があり、その内容をまとめた短歌を「反歌」といいます。  
田子の浦ゆ…」の反歌は万葉集に掲載されているもので、百人一首でよく知られている  
田子の浦に…」の歌は、新古今和歌集に収める際に改められたものです。

□ 3 「君待つと…」(129 ⑪)によまれていることについて、原<sup>はら</sup>さんと西<sup>にし</sup>さんが話している。次はその会話の一部である。《条件》に従って、会話を完成させなさい。

《条件》 ①西さんの会話に入る言葉を、それぞれ三字で抜き出すこと。

②原さんの会話に入る言葉を、三十字以内で書くこと。

書くヒント💡 — 線の内容を使って答えを作ろう！

内容

「君待つと吾<sup>お</sup>が恋<sup>こひ</sup>ひをれば我が屋<sup>やど</sup>戸のすだれ動かし秋の風吹く」(129 ⑪)の情景を捉える。

↓「君待つと吾<sup>お</sup>が恋<sup>こひ</sup>ひをれば」とはどういうことを考える。

↓「秋の風吹く」と「すだれ動かし」という状況をおさえる。

①

が吹いて

②

を動か

したといっているね。

西さん

この人にはいと思う人がいて、その人が来るのを待っていたんだね。そんなときに

と思ったんだね。

24

原さん

# 目標

□ 4 「春の野に…」(129 ⑬)の歌について、

□ (1) 何句切れか。□ に漢数字を書きなさい。

句切れ

□ (2) 「夕影」の意味を一つ選びなさい。

ア 夕方のかすんだ影 イ 夕暮れの情景

ウ 夕暮れ時の深い影 エ 夕暮れの光

□ 5 「多<sup>た</sup>摩<sup>ま</sup>川に…」(130 ②)の歌について、

□ (1) 序詞と、序詞が導く言葉を歌の中から抜き出しなさい。

序詞

導く言葉

□ (2) 「さらさら」に掛けられて

いる二つの語句の意味を、

それぞれ「〜という意味。」に

続く形で、簡潔に書きなさい。



1 布をさらす娘 (鈴木 春信「六玉川」調布の玉川) 城西大学水田美術館蔵

という意味。

という意味。



という思い。




工 自分が小さかった頃に愛情深い父母と楽しく暮らしていたことを思い出して、懐かしさを感じる思い。

💡 この歌は防人に向かう息子がよんだ歌であることから考えよう。

い。

7



工 自分の子どもを大変いとおしく  
 げたいと望む思い。



2 おくら やすだ ゆきひこ  
「憶良の家」(安田鞆彦筆)





- Downloaded from <http://ajph.org/> on November 10, 2014

- 1000



1 鳴 (133) 8

句切れ

- (3) この歌には、作者のどのような心情がよまれているか。一つ選  
ばなさい。

ア 鳴があちこちで鳴き交わしている声は、秋のものの悲しさをかき  
立て、私の心をいつそう寂しくさせる。

イ 鳴の群れは慌ただしく寝ぐらに帰ってゆき、一人取り残された  
私は深い孤独感を禁じ得ない。

ウ 鳴が飛び立つこの沢の秋の夕暮れの美しさは、心にしみ入るほ  
ど味わい深いものだ。

エ 鳴が羽を休めている秋の夕暮れの静かなひとときを、しばらく  
この鳴たちとともに味わってしよう。

💡 作者は「あはれは知られけり」とよんでいるよ。

### 3 「玉の緒よ…」(133⑩)の歌について、

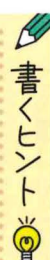
- (1) この歌には二か所の句切れがあるが、何句と何句か。書きなさい。

□ 句と □ 句

- (2) 「玉の緒」は、作者の何を表しているか。一つ選ばなさい。

ア 髪    イ 命    ウ 心    エ 目

- (3) 森さんが書いたこの歌の鑑賞文の□①・②に入る言葉を書きな  
さい。



書くヒント💡

— 線の内容を使って答えを作ろう！

内容

「玉の緒よ絶えなば絶えねながらへば忍ぶることの弱りもぞ  
する」(133⑩)の情景を捉える。

↓「ながらへば…弱りもぞする」は、生き長らえようと…できな  
いという意味。

↓何を「忍ぶる」＝秘めておくのかを考える。

作者は、□①という思いから、「私の命よ、絶えてしまえ」  
とよんでいる。きっと、□②恋をしていたのだろう。  
昔の人も、情熱をもって恋をしていたのだと感じた。



森さん

□ 思

読解  
2 全体を  
読めたかな？

歌集の特徴と合うものを、一つ選ぼう

- ウ    イ    ア
- 『万葉集』には、技巧を凝らした優美な表現の歌が多くある。  
『古今和歌集』によって、伝統的な美意識や季節感が確立された。  
『新古今和歌集』には、自然への感動を率直に表す歌が多くある。



思  
読解  
3 深めよう

歌の情景やこめられた心情を読み取り、鑑賞文を書こう

1 次の各鑑賞文は、教科書129ページから133ページまでの十五首のうち  
のどれについてのものか。歌の初めの三字を抜き出しなさい。

□ (1) 春の到来を喜びながら、季節の移り変わりを巧みによみこんでいる歌である。

□ (2) 春の夕暮れの景観を前にした、もの悲しい心情が伝わってくる。

□ 2 教科書129ページから133ページまでの十五首の中から一首を選び、次の《条件》に従って鑑賞文を書きなさい。

《条件》 ①選んだ歌の初めの三字を下に書

くこと。

②初めに、歌の情景やこめられた心情を説明し、そのあと、歌から自分が感じたことを書くこと。

--	--	--	--	--

読んでみよう

和歌の舞台

新古今和歌集

さびしさはその色としもなかりけり  
真木 たつ山の秋の夕暮 寂達法師  
\*寂しさはどの色と決まっているわけではないのだなあ。  
紅葉しない杉やひのきなどが立つ山の秋の夕暮れよ。

3 真木立つ山

真木とは、杉やひのきといった常緑樹のこと。そのような見た目の変わらない山の景色にも、秋の夕暮れの物寂しさを感じるというのです。

古今和歌集

ちはやぶる神世も聞かずたつた河か  
ら紅に水くくるとは 在原業平  
\*神代の時代にも聞いたことがない。竜田川が（流れゆく紅葉によって）紅色に水をくくり染めにすると。とは。

2 竜田川

くくり染めとは、絞り染めのことです。糸で布をくくり、その部分が染まらないようにします。紅葉の間を水が流れる様子が表現されています。

万葉集

近江の海夕波千鳥汝が鳴けば心もし  
のに古思ほゆ 柿本人麻呂  
\*琵琶湖の夕波の間を飛ぶ千鳥よ、お前が鳴くと心もしおれて昔のことが思われるよ。

1 近江の海（琵琶湖）

七世紀の後半、一時的に現在の天津市内に天皇の宮殿がありました。この歌は、その大津宮のことを思つて詠まれたと言われています。



# 和歌—奥深い世界の扉を開いてみよう

四つある！

和歌の形式（歌体）

短歌

五・七・五・七・七の形

長歌

五・七を三回以上続け、最後に七で結ぶ形。長歌の後に添えられる短歌は「反歌」と呼ぶ。

旋頭歌

五・七・七を二回繰り返す形

仏足石歌

五・七・五・七・七の形

印象が変わる！

和歌の調子

・五七調

二句または四句切れで、きびきびと力強い。

・七五調

初句または三句切れで、優美でなだらか。



表現技法がカギ

和歌を深く味わってみよう

枕詞

特定の言葉を導くために前に置く修飾的な五音の言葉。

\*「衣」にかかる枕詞

例 春過ぎて夏来るらし白たへの衣干したり天の香具山

（持統天皇）万葉集

訳

春が過ぎて、夏が来たらしい。（言葉に映えて）真っ白な衣が干してあるよ、天の香具山に。

\*色の対比としての「白い衣」であり、枕詞ではないとする説もある。

\*「神」にかかる枕詞

例 ちはやぶる神世も聞かず龍田河韓紅に水くくるとは

（在原業平）古今和歌集

訳

神々の時代にも聞いたことがない。龍田川が（流れゆく紅葉によって）紅色に水をしばりぞめにするとは。

序詞

関連するさまざまな言葉を導くために前に置く二句以上の言葉。

\*「むらさきに」を導く序詞

例 多摩川にさらす手作りさらさら何そこの児のここだ愛しき

（東歌）

万葉集

訳

多摩川にさらす手織りの布のように、さらにさらに、なんでこの娘がこんなにもいいのか。



デジタル



比べてみよう！

## 三大和歌集

	新古今和歌集（鎌倉時代初期）	古今和歌集（平安時代初期）	万葉集（奈良時代末）
編者	源通員・藤原有家・藤原定家・ 藤原家隆・藤原雅経・寂蓮法師	紀貫之・紀友則・凡河内躬恒・ 壬生忠岑	大伴家持ら
作者	天皇・貴族・僧侶が中心	天皇・貴族・僧侶が中心	天皇・貴族・庶民
歌数	約二千首 二〇巻	約千百首 二〇巻	約四千五百首 二〇巻
歌体	短歌のみ	大部分が短歌	短歌・長歌・旋頭歌・仏足石歌
調べ	七五調。初句・三句切れ	七五調（古今調）。初句・三句切れ	五七調（万葉調）。二句・四句切れ
技巧	本歌取り・体言止め・掛詞・縁語	掛詞・縁語	枕詞・序詞
歌の心	華麗で幻想的。 余情を重んじる（幽玄・有心）	優美（たをやめぶり）。 もののあはれ（しみじみとした趣）	素朴（ますらをぶり）。 ありのまま

## 掛詞

一つの言葉に二つ以上の同じ音の言葉の意味をもたせる。

\*「人目も離れる（人の訪れもなくなる）」「草も枯れぬ（草も枯れる）」という意味の掛詞

例 山里は冬ぞさびしさまさりける人目も草もかれぬとおもへば

（源宗干） 古今和歌集

訳 山里の冬は寂しさがまさるものだ。訪ねてくる人もなく、草も枯れると思うと。

## 縁語

関係のある言葉を連ねて、味わいを深める。

\*「絶え（なからへ）」「弱り」は「緒」の縁語

例 玉の緒よ絶えなば絶えねながらへば忍ぶることの弱りもぞする

（式子内親王） 新古今和歌集

訳 （私）命よ、絶えるならば絶えてしまえ。生きながらえていると、秘めている力が弱ってしまうかもしれないから。

## 折句

五音の言葉を、各句の初めや終わりに詠み込む。

例 から衣着つつなれにしつましあればはるばる来ぬるたびをしぞ思ふ

（在原業平） 古今和歌集

解説 各句の初めの文字を続けて読むと「かきつはた（かきつはた）」となる。

訳 いつも着て身になじんだ唐衣の襟（着物の裾の端の部分）のように、慣れ親しんだ妻を、都に残してきたので、はるばるやって来た旅のわびしさが思われる。

## 本歌取り

古歌の表現の一部を借りて、新しい情趣をもった歌を生み出す。

例 ひとり寝る山鳥の尾のしだり尾に霜置きまよふ床の月影

（藤原定家） 新古今和歌集

解説 「あしびきの山鳥の尾のしだり尾の長々し夜をひとりかも寝む（柿本人麻呂）」の歌の言葉を借りて、

幻想的な風景を新たに歌っている。

訳 ひとり寝ている山鳥のしだれている長い尾に、霜が置いたのかと見誤るほどの、寝床の月の光であることよ。





# 万葉集

・万葉仮名（漢字の意味に関係なく、音や訓を利用した表記）で書かれている。  
 ・相聞（贈答の歌。主に恋の歌）、挽歌（死者を弔い、悲しむ歌）、雑歌（主に宮廷の儀式や行事の歌）から構成される。

① わが園に梅の花散るひさかたの天より雪の流れ来るかも（大伴旅人）

訳 私の庭園に梅の花が散る。まるで遠い空から雪が流れてくるようだなあ。

② 水鳥の発ちの急ぎに父母に物言す来にて今ぞ悔しき（防人歌）

訳 水鳥が飛び立つような、出発の慌ただしさに、父母に別れも言わずに来てしまつて、今になって後悔されることだ。

③ 稻春けば輝る吾が手を今夜もか殿の若子が取りて嘆かむ（東歌）

訳 毎日稲をついて、あかざれになっている私の手を、今夜もまた御殿の若様がお取りになって嘆かれることだろうか。

## 古今和歌集

・最初の勅撰和歌集（天皇や上皇の命令により編集された和歌集）。

④ 君ならで誰にか見せむ梅の花色をも香をも知る人ぞ知る（紀貫之）

訳 あなた以外の誰に見せましようか、この見事な梅の花を。すばらしい色も香りも、知る人（あなた）だけが知っているのですから。

⑤ 川風の涼しくもあるかうち寄する波とともにや秋は立つらむ（紀貫之）

訳 川に吹く風が涼しいことよ。波が立つのといっしょに秋も立っているのだろうか。



1 水鳥の飛び立ち



2 梅の花



## ワカタタ博士 解説コーナー

① 元号「令和」のもととなった、「初春の令月にして、気淑く風和き」を含む序文を持つ梅の花の歌三十二首のうちの一首。梅花の宴の主催者である大伴旅人が詠んだ歌だよ。



② 防人とは、大陸からの外敵の侵入を防ぐ目的で、主に東国（現在の関東、東海以東）から九州方面へ派遣された兵士たちのこと。防人歌は、防人やその家族が詠んだ歌なんだ。

③ 東国に住む無名の人々が詠んだ東歌は、日々の生活を題材としている。方言を含んだ素朴な歌が多いよ。

## \* 万葉仮名の言葉遊び \*

万葉集では、次のような言葉遊びも見られる。

### かけ算

「しし」を「十一」、  
 「くく」を「八十二」と書く

### 音をイメージ

「む」を「牛鳴（ムーと鳴く）」、  
 「ぶ」を「蜂音（ブブと飛ぶ）」と書く

### 見た目をイメージ

「かも」を「青頭鶏」と書く



④ 梅の花を贈るときに添えた歌。



6 うたた寝に恋しき人を見てしより夢てふものはたのみそめてき  
(小野小町)

訳 うたた寝の夢の中で恋しい人を見てから、夢というものを頼りにするようになってしまった。

7 いとせめて恋しきときはむばたまの夜の衣をかへしてぞ着る  
(小野小町)

訳 もうどうしても耐えられないほど恋しいときには、「夜の衣」を裏返して着て寝ます。



3 めばたま  
(「むばたま」は音変化した枕詞)

## 新古今和歌集

・八番目の勅撰和歌集。

8 くちもせぬ其の名ばかりを留め置きて枯野の薄形見にぞみる  
(西行法師)

訳 歌人として永久に消えない名だけをこの世に留め置いて、身は朽ちて枯野の薄だけから亡き人がしのばれる。

9 さびしさはその色としもなかりけり横立つ山の秋の夕暮  
(寂蓮法師)

訳 寂しさはどの色と決まっているわけではないのだなあ。紅葉しない杉やひのきなどが立つ山の秋の夕暮れよ。

10 心なき身にもあはれは知られけり嶋立つ沢の秋の夕暮  
(西行法師)

訳 出家して感情を捨てた私の身にも、しみじみとした情趣が感じられることだ。嶋が飛び立つ水辺の秋の夕暮れよ。

11 忘れては打歎かるる夕べかな我のみしりて過ぐる月日を  
(式子内親王)

訳 そのことを思わず忘れては、嘆息してしまう夕べであることよ。この思いは私だけが知っていて、あの人に知らせず過してきた長い月日であるのに。



5 嶋



4 藤原実方の墓

5 立秋の日に、風の冷たさに秋を感じる心を詠んだ歌。「立つ」は「波」の縁語だよ。

6・7 小野小町の「思ひつつ寝ればや人の見えつらむ夢と知りせば覚めざらましを」の歌に続く二首。

夢で恋しい人に会えた

夢を楽しみにし始めた



会いたいたときは夜の衣を裏返しに着る

とつながっている。寝るときに掛ける「夜の衣」を裏返しに着ると、恋しい人と夢で会えると考えられていたんだ。

8 宮城県名取市の藤原実方の墓を訪れたときに詠んだ歌。のちに芭蕉もこの地を訪れ、「おくのほそ道(笠島の段)」で、西行の歌を踏まえて「形見の薄」について記述しているよ。

9・10 藤原定家「見渡せば花も紅葉もなかりけり浦の苫屋の秋の夕暮」の歌と合わせて「三夕の歌」と呼ばれているよ。

11 式子内親王「玉の緒よ絶えなば絶えねながらへは忍ぶることの弱りもぞする」の歌のあとに掲載されている歌だよ。





▶黄鶴樓（復元）と長江大橋

教科書

p.136~141

目標

漢詩の形式や表現の工夫を理解し、  
情景や作者の心情を捉えよう



デジタル

# 5

## 風景と心情

漢詩を味わう

古典を伝える

知

### 漢字

漢字の右に読みを書こう

「漢詩」ってどんなもの？

そもそも

Q&Aで確かめよう！

★は新出漢字、☆は新出音訓

9 □	5 □ 138	1 □ 136
冠 (訓読み)	万金	黄鶴楼
10 □	6 □ 139	2 □ 137
叙事	秩序	放浪
	7 □	3 □
	生	奔放
	う	4 □
	8 □	称
	白髪 (熟字訓)	される

知

### 漢文の読み方(返り点)

1 次の訓読文を書き下し文に直しなさい

- (1) 136 ⑥ 煙花 三月 下揚州

- (2) 137 春眠不覺曉

知

### まず「」

漢詩の種類と形式を捉えよう

一句が五字 〓 「五言」

一句が七字 〓 「七言」

+

四句から成る 〓 ①

八句から成る 〓 ②

● 136 「黄鶴楼にて……」 ③

● 137 「春曉」——五言絶句

● 138 「春望」—— ④

● 四句でできている漢詩の構成法 ⑤

#### 中国と日本

中国から日本へは、漢字や仏教などさまざまなものが伝えられてきたよ。漢字だけで書かれた文章もそのうちのひとつで、現在も使われる「矛盾」「温故知新」などの故事成語も、中国の書物に書かれたものが日本に伝わったんだ。

松尾芭蕉が「おくのほそ道」の中で「春望」を引用しているわ。



思

### 読解 1 順番に読み取ろう

それぞれの漢詩の情景と心情を捉えよう

【A】「黄鶴楼にて……」の情景と心情を読み取ろう

1 この詩はどの季節の情景を歌ったものか。一字で答えなさい。

💡 「煙花」の意味を確認しよう。



## 2

1000



## 1 長江を行く舟

3 「<sup>た</sup>惟だ見る 長江<sup>ちやうかう</sup>の天際に流るるを」(136⑧)についてクラスで話し合

《条件》① 西<sup>に</sup>さんの発言に入る言葉を、二字で抜き出すこと。

② 森さんの発言に入る言葉を、「別れ」という言葉を使つて二十字以内で書くこと。

書くヒント

**内容** 別れに際して感じる気持ちを、現代語訳 P.137 ⑤ ⑧ 行から探す

**答え方** 前後の言葉につなげる。

① 作者は友が去った後もまだ

を見続けていますね。

西さん

はい。立ち去れないのは、

からだと思います。

16

森さん



【B】「春望」の情景と心情を読み取ろう

1 『春望』(138)の詩で、韻を踏んでいる漢字を四つ抜き出しなさい。

句末を見て、同じ音の響きの漢字を探そう。

□ 2 「国破れて山河在り」(138②)はどのようなことを表しているか。「く

けれど、…」の形で、四十字以内で書きなさい。

書くヒント

線の内容を使って答えを作ろう！

内容  
情景を表す内容を、現代語訳 P. 139 ①～⑪ 行から探す。

↓「**国都**長安の秩序は……**破壊**されてしまった」

↓  
「山や河は昔のままに存在している」

「**し**けれど、**…**」の形で、文末は「**し**こと。」などにする。

3 「別れ」(138⑤)とあるが、誰と別れたのか。現代語訳の中から二字で抜き出さない。

32





# テストの練習問題

## 風景と心情——漢詩を味わう——

春望<sup>しゅんぼう</sup> 杜甫<sup>とほふ</sup>

① 国破れて 山河在<sup>さんが</sup>

城春にして 草木深し

時に感<sup>かん</sup>じては 花にも涙を<sup>なみだ</sup> 濺<sup>そそ</sup>ぎ

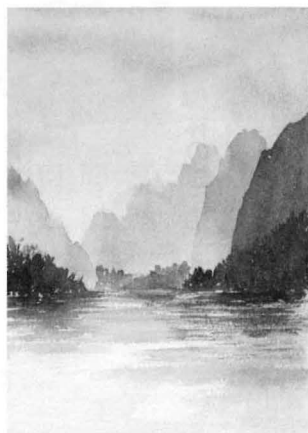
別<sup>わか</sup>れを恨<sup>にく</sup>んでは 鳥にも心を驚<sup>おど</sup>かす

烽火<sup>ほうくわ</sup> 三月<sup>さんげつ</sup>に連<sup>つ</sup>なり

③ 家書<sup>かしょ</sup> 万金<sup>ばんきん</sup>に抵<sup>あ</sup>たる

白頭<sup>はくとう</sup> 搔<sup>か</sup>けば更に短<sup>みじ</sup>く

渾<sup>す</sup>べて簪<sup>かん</sup>に勝<sup>か</sup>へざらんと欲<sup>ほつ</sup>す



国破<sup>レ</sup>山<sup>レ</sup>河<sup>レ</sup>在<sup>リ</sup>

城<sup>シ</sup>春<sup>ニ</sup>草<sup>ニ</sup>木<sup>ニ</sup>深<sup>シ</sup>

感<sup>シ</sup>時<sup>ハ</sup>花<sup>ニ</sup>濺<sup>レ</sup>涙<sup>ヲ</sup>

恨<sup>シ</sup>別<sup>レ</sup>鳥<sup>ニ</sup>驚<sup>カ</sup>心<sup>ヲ</sup>

烽火<sup>ニ</sup>連<sup>ニ</sup>三<sup>ニ</sup>月<sup>ニ</sup>

家書<sup>ニ</sup>抵<sup>タル</sup>万<sup>ニ</sup>金<sup>ニ</sup>

白頭<sup>ニ</sup>搔<sup>ケバ</sup>更<sup>ニ</sup>短<sup>ク</sup>

渾<sup>ベテ</sup>欲<sup>ス</sup>不<sup>ズ</sup>勝<sup>ヘ</sup>簪<sup>ニ</sup>

知(1)(4)

他は思

(4)(5)(6)は各20点・他は各10点

※(2)は各完答・(4)は完答

100

□(1) この漢詩の形式を漢字四字で書きなさい。

□(2) 第一句と第二句のように対句になっているのは、他に第何句と第何句か。二か所書きなさい。

□(3) 「国破れて」とあるが、そうだったのはなぜか。その理由が表現されている言葉を、書き下し文の中から二字で抜き出しなさい。

□(4) 「連三月」の部分に、書き下し文を参考にして、返り点と送り仮名をつけなさい。

□(5) 「家書 万金に抵たる」とあるがなぜか。その理由を、十五字以上、二十字以内で書きなさい。

□(6) この詩にこめられている作者の心情として一番中心となるものを、次から一つ選びなさい。

- ア 歳月を経ても変わらない悠久の自然に対する畏敬の念。  
 イ 遠く離れた異郷の地で故郷を懐かしく思う望郷の思い。  
 ウ 荒れ果ててしまった国や自分の不幸な境遇への嘆き。  
 エ 歳月の過ぎ去る速さへの驚きや老いることへの恐怖。

(5)	(3)	(1)
	(4)	
	連	(2) 第 句と第 句
	三	第 句と第 句
	月	
(6)		

717 p. 94 B 4

## 漢詩の世界



デジタル

竹里館 王維

独り坐す 幽篁の裏

弹琴 復た長嘯す

深林 人知らず

明月 来たりて相照らす

一人奥深い竹林の館に  
座って琴を弾き、歌う。  
この竹林の美しさを人は  
知らず、ただ月だけが照  
らしてくれる。

満ち足りた暮らし

独坐幽篁裏  
弹琴復长嘯  
深林人不知  
明月来相照

五言絶句

王維



若くして科挙（高級  
官僚になるための試験）  
に合格し、玄宗皇帝に  
仕えた。自然の美しさ  
を格調高く詠んだ詩が  
多く、「詩仏」と呼ばれる。

1 唐代の琴 ColBase

(https://colbase.nich.go.jp/)



岳陽楼に登る

杜甫



2 岳陽楼 中国で二番目に大きい淡水湖、洞庭湖のほとりにある。  
(湖南省)

岳陽楼に登り、広い  
と聞いていた洞庭湖を  
初めて見る。私には親  
しい者からの便りもな  
く、年老いて小舟が一  
つあるのみだ。戦争は  
今も続き、手すりにつ  
かまり涙を流す。

戦乱の苦しみ

昔聞く 洞庭の水  
今上る 岳陽楼  
吳楚 東南に坼け  
乾坤 日夜浮かぶ  
親朋 一字無く  
老病 孤舟有り  
戎馬 関山の北  
軒に憑れば涕泗流る

昔聞洞庭水  
今上岳陽楼  
吳楚東南坼  
乾坤日夜浮  
親朋無一字  
老病有孤舟  
戎馬関山北  
憑軒涕泗流

五言律詩

杜甫



下級官吏になるが戦乱に巻き  
込まれ、放浪生活を送った。民  
衆の幸せを願う詩も多く、「詩  
聖」と呼ばれる。

## 漢詩の決まり

種類

近体詩



構成

絶句	律詩	句の内容
起句(二句)	首連(二二句)	歌い起す。
承句(二句)	頷連(三四句)	前を受け展開。
転句(三句)	頸連(五六句)	内容を転じる。
結句(四句)	尾連(七八句)	締めくくる。

押韻

句末に同じ音の漢字を使う決まり。五言詩は偶数句、七言詩は第一句と偶数句の末字を同じ音にする。

例 五言絶句

杜甫

絶句

江碧鳥逾白

山青花欲然

今春看又過

何日是歸年

ネン

ネン



孟浩然  
もつこうねん



科挙に落第し、放浪した。悠々自適に隠棲した。自然や友人との別れの心情を、平易な言葉で詠む詩で知られる。

洛陽にて袁拾遺を  
訪ふて遇はず

孟浩然

洛陽に才子を訪へば  
江嶺に流入と作る  
聞くななく 梅花早しと  
何ぞ此の地の春に如かん

3 隋唐洛陽城定鼎門遺跡 洛陽はシルクロードの主要都市の一つで、しばしば中国王朝の首都となった大都市である。(河南省)



洛陽に才能のある友人を訪ねたが、遠くの地方に流罪となっていた。その地は温暖で梅の咲くのも早いそうだが、どうしてこの洛陽の春に及ぶだろうか。

友人への思い

洛陽訪才子  
江嶺作流人  
聞說梅花早  
何如此地春

五言絶句

太陽が香炉峰を照らすと、紫色の霞がたなびく。はるかに見える川に滝がかかっている。高みから水が落ちるのは、天の川が天から落ちてくるかのようだ。

壮大な自然

日照香炉生紫煙  
遙看瀑布掛長川  
飛流直下三千尺  
疑是銀河落九天

七言絶句

廬山の瀑布を望む

李白

日は香炉を照らして 紫煙を生ず  
遙かに見る 瀑布の長川を掛くるを  
飛流直下 三千尺  
疑ふらくは  
是れ 銀河の九天より落つるか

5 香炉峰 廬山の北にある山。李白は香炉峰に登って瀑布を遠望したと考えられる。『枕草子』にも香炉峰のエピソードがある。



李白  
りはく



人生の大半を放浪のうちに通じた、自由奔放な詩人。自然と酒を愛し、スケールの大きな作風で知られ、「詩仙」と呼ばれる。

4 廬山の滝 (江西省)







## □ 2

「とうとう死罪に行われることになった」(145上)について、なぜそうなったのかを表に整理することにした。《条件》に従って、表を完成させなさい。

## 《条件》

- ① 「できごと2」に入る言葉は、解答欄に合うように抜き出すこと。
- ② 「できごと3」に入る内容は、「米主」「大阪」の二語を使って三十文字以内で書くこと。

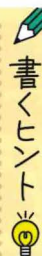


できごと1	できごと2	できごと3
<p>沖船頭<small>おきせんどう</small>の新七<small>しんしち</small>が乗る船が難破寸前となり、積み荷の半分以上を海に流した。</p>	<p>① <input type="text"/> は残った積み荷の米を売った金を米主に返さず、新しい② <input type="text"/> を仕立てる費用に当てる提案をし、 ③ <input type="text"/> はその金を ④ <input type="text"/> しまう。</p>	<p>⑤ <input type="text"/></p> <p>↓新七は逃げ、太郎兵衛は入牢した。</p>

## □ 目標

## 【B】「いち」の決心と奉行所の判断を捉えよう！

1 「いち」が考えた「いいこと」(146上②)とはどんなことか。「願い書」の語を使って、四十五字以内で書きなさい。



線の内容を使って答えを作ろう！

## 内容

「いち」が妹の「まつ」にささやいたことを、P.146上⑥～⑩行から探す  
↓「願い書」というものを書いてお奉行様に出す！

↓「お父さんを助けて、その代わりに私も子どもを殺して  
ください」と言って頼む！


## □ 2

「西奉行所にたどり着い」(148上⑥)た「いち」の様子を一つ選びなさい。

ア お奉行様に会えるかどうか不安を感じている。

イ お奉行様に叱られるのではないかとおびえている。

ウ 必ずお奉行様に会うのだと決心し、堂々としている。

エ 父を罪に陥れたお上に対して反抗的な態度をとっている。

## □ 3

「情偽」(151上)とあるが、佐佐が考えた「情偽」の具体的な内容がわかるひと続きの二文を抜き出し、初めと終わりの四字を書きなさい。(句読点も一字に数える)


## 目標

4 「お上のことにはまちがいはございますまいから」(155上)と言ったと

きの「いち」はどのような様子であったと考えられるか。一つ選びなさい。

ア お上の命令は絶対的なのではないかと、役人をからかっている。  
イ 必ずお上に自分の願いを伝えてほしいと役人に念を押している。  
ウ 誤った判断を下すことは許されないと役人を暗に批判している。  
エ 心から信頼するお上の命令に必ず従うと役人に約束している。

5 4 のような「いち」を佐佐たちはどのように感じたか。それをまとめた

次の文の ① ② ③ に入る言葉を ④ の字数で抜き出しなさい。

● 親思いの ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㏀ ㏁ ㏂ ㏃ ㏄ ㏅ ㏆ ㏇ ㏈ ㏉ ㏊ ㏋ ㏌ ㏍ ㏎ ㏏ ㏐ ㏑ ㏒ ㏓ ㏔ ㏕ ㏖ ㏗ ㏘ ㏙ ㏚ ㏛ ㏜ ㏝ ㏞ ㏟ ㏠ ㏡ ㏢ ㏣ ㏤ ㏥ ㏦ ㏧ ㏨ ㏩ ㏪ ㏫ ㏬ ㏭ ㏮ ㏯ ㏰ ㏱ ㏲ ㏳ ㏴ ㏵ ㏶ ㏷ ㏸ ㏹ ㏺ ㏻ ㏼ ㏽ ㏾ ㏿ 㐀 㐁 㐂 㐃 㐄 㐅 㐆 㐇 㐈 㐉 㐊 㐋 㐌 㐍 㐎 㐏 㐐 㐑 㐒 㐓 㐔 㐕 㐖 㐗 㐘 㐙 㐚 㐛 㐜 㐝 㐞 㐟 㐠 㐡 㐢 㐣 㐤 㐥 㐦 㐧 㐨 㐩 㐪 㐫 㐬 㐭 㐮 㐯 㐰 㐱 㐲 㐳 㐴 㐵 㐶 㐷 㐸 㐹 㐺 㐻 㐼 㐽 㐾 㐿 㑀 㑁 㑂 㑃 㑄 㑅 㑆 㑇 㑈 㑉 㑊 㑋 㑌 㑍 㑎 㑏 㑐 㑑 㑒 㑓 㑔 㑕 㑖 㑗 㑘 㑙 㑚 㑛 㑜 㑝 㑞 㑟 㑠 㑡 㑢 㑣 㑤 㑥 㑦 㑧 㑨 㑩 㑪 㑫 㑬 㑭 㑮 㑯 㑰 㑱 㑲 㑳 㑴 㑵 㑶 㑷 㑸 㑹 㑺 㑻 㑼 㑽 㑾 㑿 㒀 㒁 㒂 㒃 㒄 㒅 㒆 㒇 㒈 㒉 㒊 㒋 㒌 㒍 㒎 㒏 㒐 㒑 㒒 㒓 㒔 㒕 㒖 㒗 㒘 㒙 㒚 㒛 㒜 㒝 㒞 㒟 㒠 㒡 㒢 㒣 㒤 㒥 㒦 㒧 㒨 㒩 㒪 㒫 㒬 㒭 㒮 㒯 㒰 㒱 㒲 㒳 㒴 㒵 㒶 㒷 㒸 㒹 㒺 㒻 㒼 㒽 㒾 㒿 㓀 㓁 㓂 㓃 㓄 㓅 㓆 㓇 㓈 㓉 㓊 㓋 㓌 㓍 㓎 㓏 㓐 㓑 㓒 㓓 㓔 㓕 㓖 㓗 㓘 㓙 㓚 㓛 㓜 㓝 㓞 㓟 㓠 㓡 㓢 㓣 㓤 㓥 㓦 㓧 㓨 㓩 㓪 㓫 㓬 㓭 㓮 㓯 㓰 㓱 㓲 㓳 㓴 㓵 㓶 㓷 㓸 㓹 㓺 㓻 㓼 㓽 㓾 㓿 㔀 㔁 㔂 㔃 㔄 㔅 㔆 㔇 㔈 㔉 㔊 㔋 㔌 㔍 㔎 㔏 㔐 㔑 㔒 㔓 㔔 㔕 㔖 㔗 㔘 㔙 㔚 㔛 㔜 㔝 㔞 㔟 㔠 㔡 㔢 㔣 㔤 㔥 㔦 㔧 㔨 㔩 㔪 㔫 㔬 㔭 㔮 㔯 㔰 㔱 㔲 㔳 㔴 㔵 㔶 㔷 㔸 㔹 㔺 㔻 㔼 㔽 㔾 㔿 㕀 㕁 㕂 㕃 㕄 㕅 㕆 㕇 㕈 㕉 㕊 㕋 㕌 㕍 㕎 㕏 㕐 㕑 㕒 㕓 㕔 㕕 㕖 㕗 㕘 㕙 㕚 㕛 㕜 㕝 㕞 㕟 㕠 㕡 㕢 㕣 㕤 㕥 㕦 㕧 㕨 㕩 㕪 㕫 㕬 㕭 㕮 㕯 㕰 㕱 㕲 㕳 㕴 㕵 㕶 㕷 㕸 㕹 㕺 㕻 㕼 㕽 㕾 㕿 㖀 㖁 㖂 㖃 㖄 㖅 㖆 㖇 㖈 㖉 㖊 㖋 㖌 㖍 㖎 㖏 㖐 㖑 㖒 㖓 㖔 㖕 㖖 㖗 㖘 㖙 㖚 㖛 㖜 㖝 㖞 㖟 㖠 㖡 㖢 㖣 㖤 㖥 㖦 㖧 㖨 㖩 㖪 㖫 㖬 㖭 㖮 㖯 㖰 㖱 㖲 㖳 㖴 㖵 㖶 㖷 㖸 㖹 㖺 㖻 㖼 㖽 㖾 㖿 㗀 㗁 㗂 㗃 㗄 㗅 㗆 㗇 㗈 㗉 㗊 㗋 㗌 㗍 㗎 㗏 㗐 㗑 㗒 㗓 㗔 㗕 㗖 㗗 㗘 㗙 㗚 㗛 㗜 㗝 㗞 㗟 㗠 㗡 㗢 㗣 㗤 㗥 㗦 㗧 㗨 㗩 㗪 㗫 㗬 㗭 㗮 㗯 㗰 㗱 㗲 㗳 㗴 㗵 㗶 㗷 㗸 㗹 㗺 㗻 㗼 㗽 㗾 㗿 㘀 㘁 㘂 㘃 㘄 㘅 㘆 㘇 㘈 㘉 㘊 㘋 㘌 㘍 㘎 㘏 㘐 㘑 㘒 㘓 㘔 㘕 㘖 㘗 㘘 㘙 㘚 㘛 㘜 㘝 㘞 㘟 㘠 㘡 㘢 㘣 㘤 㘥 㘦 㘧 㘨 㘩 㘪 㘫 㘬 㘭 㘮 㘯 㘰 㘱 㘲 㘳 㘴 㘵 㘶 㘷 㘸 㘹 㘺 㘻 㘼 㘽 㘾 㘿 㙀 㙁 㙂 㙃 㙄 㙅 㙆 㙇 㙈 㙉 㙊 㙋 㙌 㙍 㙎 㙏 㙐 㙑 㙒 㙓 㙔 㙕 㙖 㙗 㙘 㙙 㙚 㙛 㙜 㙝 㙞 㙟 㙠 㙡 㙢 㙣 㙤 㙥 㙦 㙧 㙨 㙩 㙪 㙫 㙬 㙭 㙮 㙯 㙰 㙱 㙲 㙳 㙴 㙵 㙶 㙷 㙸 㙹 㙺 㙻 㙼 㙽 㙾 㙿 㚀 㚁 㚂 㚃 㚄 㚅 㚆 㚇 㚈 㚉 㚊 㚋 㚌 㚍 㚎 㚏 㚐 㚑 㚒 㚓 㚔 㚕 㚖 㚗 㚘 㚙 㚚 㚛 㚜 㚝 㚞 㚟 㚠 㚡 㚢 㚣 㚤 㚥 㚦 㚧 㚨 㚩 㚪 㚫 㚬 㚭 㚮 㚯 㚰 㚱 㚲 㚳 㚴 㚵 㚶 㚷 㚸 㚹 㚺 㚻 㚼 㚽 㚾 㚿 㜀 㜁 㜂 㜃 㜄 㜅 㜆 㜇 㜈 㜉 㜊 㜋 㜌 㜍 㜎 㜏 㜐 㜑 㜒 㜓 㜔 㜕 㜖 㜗 㜘 㜙 㜚 㜛 㜜 㜝 㜞 㜟 㜠 㜡 㜢 㜣 㜤 㜥 㜦 㜧 㜨 㜩 㜪 㜫 㜬 㜭 㜮 㜯 㜰 㜱 㜲 㜳 㜴 㜵 㜶 㜷 㜸 㜹 㜺 㜻 㜼 㜽 㜾 㜿 㝀 㝁 㝂 㝃 㝄 㝅 㝆 㝇 㝈 㝉 㝊 㝋 㝌 㝍 㝎 㝏 㝐 㝑 㝒 㝓 㝔 㝕 㝖 㝗 㝘 㝙 㝚 㝛 㝜 㝝 㝞 㝟 㝠 㝡 㝢 㝣 㝤 㝥 㝦 㝧 㝨 㝩 㝪 㝫 㝬 㝭 㝮 㝯 㝰 㝱 㝲 㝳 㝴 㝵 㝶 㝷 㝸 㝹 㝺 㝻 㝼 㝽 㝾 㝿 㞀 㞁 㞂 㞃 㞄 㞅 㞆 㞇 㞈 㞉 㞊 㞋 㞌 㞍 㞎 㞏 㞐 㞑 㞒 㞓 㞔 㞕 㞖 㞗 㞘 㞙 㞚 㞛 㞜 㞝 㞞 㞟 㞠 㞡 㞢 㞣 㞤 㞥 㞦 㞧 㞨 㞩 㞪 㞫 㞬 㞭 㞮 㞯 㞰 㞱 㞲 㞳 㞴 㞵 㞶 㞷 㞸 㞹 㞺 㞻 㞼 㞽 㞾 㞿 㟀 㟁 㟂 㟃 㟄 㟅 㟆 㟇 㟈 㟉 㟊 㟋 㟌 㟍 㟎 㟏 㟐 㟑 㟒 㟓 㟔 㟕 㟖 㟗 㟘 㟙 㟚 㟛 㟜 㟝 㟞 㟟 㟠 㟡 㟢 㟣 㟤 㟥 㟦 㟧 㟨 㟩 㟪 㟫 㟬 㟭 㟮 㟯 㟰 㟱 㟲 㟳 㟴 㟵 㟶 㟷 㟸 㟹 㟺 㟻 㟼 㟽 㟾 㟿 㠀 㠁 㠂 㠃 㠄 㠅 㠆 㠇 㠈 㠉 㠊 㠋 㠌 㠍 㠎 㠏 㠐 㠑 㠒 㠓 㠔 㠕 㠖 㠗 㠘 㠙 㠚 㠛 㠜 㠝 㠞 㠟 㠠 㠡 㠢 㠣 㠤 㠥 㠦 㠧 㠨 㠩 㠪 㠫 㠬 㠭 㠮 㠯 㠰 㠱 㠲 㠳 㠴 㠵 㠶 㠷 㠸 㠹 㠺 㠻 㠼 㠽 㠾 㠿 㡀 㡁 㡂 㡃 㡄 㡅 㡆 㡇 㡈 㡉 㡊 㡋 㡌 㡍 㡎 㡏 㡐 㡑 㡒 㡓 㡔 㡕 㡖 㡗 㡘 㡙 㡚 㡛 㡜 㡝 㡞 㡟 㡠 㡡 㡢 㡣 㡤 㡥 㡦 㡧 㡨 㡩 㡪 㡫 㡬 㡭 㡮 㡯 㡰 㡱 㡲 㡳 㡴 㡵 㡶 㡷 㡸 㡹 㡺 㡻 㡼 㡽 㡾 㡿 㢀 㢁 㢂 㢃 㢄 㢅 㢆 㢇 㢈 㢉 㢊 㢋 㢌 㢍 㢎 㢏 㢐 㢑 㢒 㢓 㢔 㢕 㢖 㢗 㢘 㢙 㢚 㢛 㢜 㢝 㢞 㢟 㢠 㢡 㢢 㢣 㢤 㢥 㢦 㢧 㢨 㢩 㢪 㢫 㢬 㢭 㢮 㢯 㢰 㢱 㢲 㢳 㢴 㢵 㢶 㢷 㢸 㢹 㢺 㢻 㢼 㢽 㢾 㢿 㣀 㣁 㣂 㣃 㣄 㣅 㣆 㣇 㣈 㣉 㣊 㣋 㣌 㣍 㣎 㣏 㣐 㣑 㣒 㣓 㣔 㣕 㣖 㣗 㣘 㣙 㣚 㣛 㣜 㣝 㣞 㣟 㣠 㣡 㣢 㣣 㣤 㣥 㣦 㣧 㣨 㣩 㣪 㣫 㣬 㣭 㣮 㣯 㣰 㣱 㣲 㣳 㣴 㣵 㣶 㣷 㣸 㣹 㣺 㣻 㣼 㣽 㣾 㣿 㤀 㤁 㤂 㤃 㤄 㤅 㤆 㤇 㤈 㤉 㤊 㤋 㤌 㤍 㤎 㤏 㤐 㤑 㤒 㤓 㤔 㤕 㤖 㤗 㤘 㤙 㤚 㤛 㤜 㤝 㤞 㤟 㤠 㤡 㤢 㤣 㤤 㤥 㤦 㤧 㤨 㤩 㤪 㤫 㤬 㤭 㤮 㤯 㤰 㤱 㤲 㤳 㤴 㤵 㤶 㤷 㤸 㤹 㤺 㤻 㤼 㤽 㤾 㤿 㥀 㥁 㥂 㥃 㥄 㥅 㥆 㥇 㥈 㥉 㥊 㥋 㥌 㥍 㥎 㥏 㥐 㥑 㥒 㥓 㥔 㥕 㥖 㥗 㥘 㥙 㥚 㥛 㥜 㥝 㥞 㥟 㥠 㥡 㥢 㥣 㥤 㥥 㥦 㥧 㥨 㥩 㥪 㥫 㥬 㥭 㥮 㥯 㥰 㥱 㥲 㥳 㥴 㥵 㥶 㥷 㥸 㥹 㥺 㥻 㥼 㥽 㥾 㥿 㦀 㦁 㦂 㦃 㦄 㦅 㦆 㦇 㦈 㦉 㦊 㦋 㦌 㦍 㦎 㦏 㦐 㦑 㦒 㦓 㦔 㦕 㦖 㦗 㦘 㦙 㦚 㦛 㦜 㦝 㦞 㦟 㦠 㦡 㦢 㦣 㦤 㦥 㦦 㦧 㦨 㦩 㦪 㦫 㦬 㦭 㦮 㦯 㦰 㦱 㦲 㦳 㦴 㦵 㦶 㦷 㦸 㦹 㦺 㦻 㦼 㦽 㦾 㦿 㧀 㧁 㧂 㧃 㧄 㧅 㧆 㧇 㧈 㧉 㧊 㧋 㧌 㧍 㧎 㧏 㧐 㧑 㧒 㧓 㧔 㧕 㧖 㧗 㧘 㧙 㧚 㧛 㧜 㧝 㧞 㧟 㧠 㧡 㧢 㧣 㧤 㧥 㧦 㧧 㧨 㧩 㧪 㧫 㧬 㧭 㧮 㧯 㧰 㧱 㧲 㧳 㧴 㧵 㧶 㧷 㧸 㧹 㧺 㧻 㧼 㧽 㧾 㧿 㨀 㨁 㨂 㨃 㨄 㨅 㨆 㨇 㨈 㨉 㨊 㨋 㨌 㨍 㨎 㨏 㨐 㨑 㨒 㨓 㨔 㨕 㨖 㨗 㨘 㨙 㨚 㨛 㨜 㨝 㨞 㨟 㨠 㨡 㨢 㨣 㨤 㨥 㨦 㨧 㨨 㨩 㨪 㨫 㨬 㨭 㨮 㨯 㨰 㨱 㨲 㨳 㨴 㨵 㨶 㨷 㨸 㨹 㨺 㨻 㨼 㨽 㨾 㨿 㩀 㩁 㩂 㩃 㩄 㩅 㩆 㩇 㩈 㩉 㩊 㩋 㩌 㩍 㩎 㩏 㩐 㩑 㩒 㩓 㩔 㩕 㩖 㩗 㩘 㩙 㩚 㩛 㩜 㩝 㩞 㩟 㩠 㩡 㩢 㩣 㩤 㩥 㩦 㩧 㩨 㩩 㩪 㩫 㩬 㩭 㩮 㩯 㩰 㩱 㩲 㩳 㩴 㩵 㩶 㩷 㩸 㩹 㩺 㩻 㩼 㩽 㩾 㩿 㪀 㪁 㪂 㪃 㪄 㪅 㪆 㪇 㪈 㪉 㪊 㪋 㪌 㪍 㪎 㪏 㪐 㪑 㪒 㪓 㪔 㪕 㪖 㪗 㪘 㪙 㪚 㪛 㪜 㪝 㪞 㪟 㪠 㪡 㪢 㪣 㪤 㪥 㪦 㪧 㪨 㪩 㪪 㪫 㪬 㪭 㪮 㪯 㪰 㪱 㪲 㪳 㪴 㪵 㪶 㪷 㪸 㪹 㪺 㪻 㪼 㪽 㪾 㪿 㫀 㫁 㫂 㫃 㫄 㫅 㫆 㫇 㫈 㫉 㫊 㫋 㫌 㫍 㫎 㫏 㫐 㫑 㫒 㫓 㫔 㫕 㫖 㫗 㫘 㫙 㫚 㫛 㫜 㫝 㫞 㫟 㫠 㫡 㫢 㫣 㫤 㫥 㫦 㫧 㫨 㫩 㫪 㫫 㫬 㫭 㫮 㫯 㫰 㫱 㫲 㫳 㫴 㫵 㫶 㫷 㫸 㫹 㫺 㫻 㫼 㫽 㫾 㫿 㬀 㬁 㬂 㬃 㬄 㬅 㬆 㬇 㬈 㬉 㬊 㬋 㬌 㬍 㬎 㬏 㬐 㬑 㬒 㬓 㬔 㬕 㬖 㬗 㬘 㬙 㬚 㬛 㬜 㬝 㬞 㬟 㬠 㬡 㬢 㬣 㬤 㬥 㬦 㬧 㬨 㬩 㬪 㬫 㬬 㬭 㬮 㬯 㬰 㬱 㬲 㬳 㬴 㬵 㬶 㬷 㬸 㬹 㬺 㬻 㬼 㬽 㬾 㬿 㭀 㭁 㭂 㭃 㭄 㭅 㭆 㭇 㭈 㭉 㭊 㭋 㭌 㭍 㭎 㭏 㭐 㭑 㭒 㭓 㭔 㭕 㭖 㭗 㭘 㭙 㭚 㭛 㭜 㭝 㭞 㭟 㭠 㭡 㭢 㭣 㭤 㭥 㭦 㭧 㭨 㭩 㭪 㭫 㭬 㭭 㭮 㭯 㭰 㭱 㭲 㭳 㭴 㭵 㭶 㭷 㭸 㭹 㭺 㭻 㭼 㭽 㭾 㭿 㮀 㮁 㮂 㮃 㮄 㮅 㮆 㮇 㮈 㮉 㮊 㮋 㮌 㮍 㮎 㮏 㮐 㮑 㮒 㮓 㮔 㮕 㮖 㮗 㮘 㮙 㮚 㮛 㮜 㮝 㮞 㮟 㮠 㮡 㮢 㮣 㮤 㮥 㮦 㮧 㮨 㮩 㮪 㮫 㮬 㮭 㮮 㮯 㮰 㮱 㮲 㮳 㮴 㮵 㮶 㮷 㮸 㮹 㮺 㮻 㮼 㮽 㮾 㮿 㯀 㯁 㯂 㯃 㯄 㯅 㯆 㯇 㯈 㯉 㯊 㯋 㯌 㯍 㯎 㯏 㯐 㯑 㯒 㯓 㯔 㯕 㯖 㯗 㯘 㯙 㯚 㯛 㯜 㯝 㯞 㯟 㯠 㯡 㯢 㯣 㯤 㯥 㯦 㯧 㯨 㯩 㯪 㯫 㯬 㯭 㯮 㯯 㯰 㯱 㯲 㯳 㯴 㯵 㯶 㯷 㯸 㯹 㯺 㯻 㯼 㯽 㯾 㯿 㰀 㰁 㰂 㰃 㰄 㰅 㰆 㰇 㰈 㰉 㰊 㰋 㰌 㰍 㰎 㰏 㰐 㰑 㰒 㰓 㰔 㰕 㰖 㰗 㰘 㰙 㰚 㰛 㰜 㰝 㰞 㰟 㰠 㰡 㰢 㰣 㰤 㰥 㰦 㰧 㰨 㰩 㰪 㰫 㰬 㰭 㰮 㰯 㰰 㰱 㰲 㰳 㰴 㰵 㰶 㰷 㰸 㰹 㰺 㰻 㰼 㰽 㰾 㰿 㱀 㱁 㱂 㱃 㱄 㱅 㱆 㱇 㱈 㱉 㱊 㱋 㱌 㱍 㱎 㱏 㱐 㱑 㱒 㱓 㱔 㱕 㱖 㱗 㱘 㱙 㱚 㱛 㱜 㱝 㱞 㱟 㱠 㱡 㱢 㱣 㱤 㱥 㱦 㱧 㱨 㱩 㱪 㱫 㱬 㱭 㱮 㱯 㱰 㱱 㱲 㱳 㱴 㱵 㱶 㱷 㱸 㱹 㱺 㱻 㱼 㱽 㱾 㱿 㲀 㲁 㲂 㲃 㲄 㲅 㲆 㲇 㲈 㲉 㲊 㲋 㲌 㲍 㲎 㲏 㲐 㲑 㲒 㲓 㲔 㲕 㲖 㲗 㲘 㲙 㲚 㲛 㲜 㲝 㲞 㲟 㲠 㲡 㲢 㲣 㲤 㲥 㲦 㲧 㲨 㲩 㲪 㲫 㲬 㲭 㲮 㲯 㲰 㲱 㲲 㲳 㲴 㲵 㲶 㲷 㲸 㲹 㲺 㲻 㲼 㲽 㲾 㲿 㳀 㳁 㳂 㳃 㳄 㳅 㳆 㳇 㳈 㳉 㳊 㳋 㳌 㳍 㳎 㳏 㳐 㳑 㳒 㳓 㳔 㳕 㳖 㳗 㳘 㳙 㳚 㳛 㳜 㳝 㳞 㳟 㳠 㳡 㳢 㳣 㳤 㳥 㳦 㳧 㳨 㳩 㳪 㳫 㳬 㳭 㳮 㳯 㳰 㳱 㳲 㳳 㳴 㳵 㳶 㳷 㳸 㳹 㳺 㳻 㳼 㳽 㳾 㳿 㴀 㴁 㴂 㴃 㴄 㴅 㴆 㴇 㴈 㴉 㴊 㴋 㴌 㴍 㴎 㴏 㴐 㴑 㴒 㴓 㴔 㴕 㴖 㴗 㴘 㴙 㴚 㴛 㴜 㴝 㴞 㴟 㴠 㴡 㴢 㴣 㴤 㴥 㴦 㴧 㴨 㴩 㴪 㴫 㴬 㴭 㴮 㴯 㴰 㴱 㴲 㴳 㴴 㴵 㴶 㴷 㴸 㴹 㴺 㴻 㴼 㴽 㴾 㴿 㵀 㵁 㵂 㵃 㵄 㵅 㵆 㵇 㵈 㵉 㵊 㵋 㵌 㵍 㵎 㵏 㵐 㵑 㵒 㵓 㵔 㵕 㵖 㵗 㵘 㵙 㵚 㵛 㵜 㵝 㵞 㵟 㵠 㵡 㵢 㵣 㵤 㵥 㵦 㵧 㵨 㵩 㵪 㵫 㵬 㵭 㵮 㵯 㵰 㵱 㵲 㵳 㵴 㵵 㵶 㵷 㵸 㵹 㵺 㵻 㵼 㵽 㵾 㵿 㶀 㶁 㶂 㶃 㶄 㶅 㶆 㶇 㶈 㶉 㶊 㶋 㶌 㶍 㶎 㶏 㶐 㶑 㶒 㶓 㶔 㶕 㶖 㶗 㶘 㶙 㶚 㶛 㶜 㶝 㶞 㶟 㶠 㶡 㶢 㶣 㶤 㶥 㶦 㶧 㶨 㶩 㶪 㶫 㶬 㶭 㶮 㶯 㶰 㶱 㶲 㶳 㶴 㶵 㶶 㶷 㶸 㶹 㶺 㶻 㶼 㶽 㶾 㶿 㷀 㷁 㷂 㷃 㷄 㷅 㷆 㷇 㷈 㷉 㷊 㷋 㷌 㷍 㷎 㷏 㷐 㷑 㷒 㷓 㷔 㷕 㷖 㷗 㷘 㷙 㷚 㷛 㷜 㷝 㷞 㷟 㷠 㷡 㷢 㷣 㷤 㷥 㷦 㷧 㷨 㷩 㷪 㷫 㷬 㷭 㷮 㷯 㷰 㷱 㷲 㷳 㷴 㷵 㷶 㷷 㷸 㷹 㷺 㷻 㷼 㷽 㷾 㷿 㸀 㸁 㸂 㸃 㸄 㸅 㸆 㸇 㸈 㸉 㸊 㸋 㸌 㸍 㸎 㸏 㸐 㸑 㸒 㸓 㸔 㸕 㸖 㸗 㸘 㸙 㸚 㸛 㸜 㸝 㸞 㸟 㸠 㸡 㸢 㸣 㸤 㸥 㸦 㸧 㸨 㸩 㸪 㸫 㸬 㸭 㸮 㸯 㸰 㸱 㸲 㸳 㸴 㸵 㸶 㸷 㸸 㸹 㸺 㸻 㸼 㸽 㸾 㸿 㹀 㹁 㹂 㹃 㹄 㹅 㹆 㹇 㹈 㹉 㹊 㹋 㹌 㹍 㹎 㹏 㹐 㹑 㹒 㹓 㹔 㹕 㹖 㹗 㹘 㹙 㹚 㹛 㹜 㹝 㹞 㹟 㹠 㹡 㹢 㹣 㹤 㹥 㹦 㹧 㹨 㹩 㹪 㹫 㹬 㹭 㹮 㹯 㹰 㹱 㹲 㹳 㹴 㹵 㹶 㹷 㹸 㹹 㹺 㹻 㹼 㹽 㹾 㹿 㺀 㺁 㺂 㺃 㺄 㺅 㺆 㺇 㺈 㺉 㺊 㺋 㺌 㺍 㺎 㺏 㺐 㺑 㺒 㺓 㺔 㺕 㺖 㺗 㺘 㺙 㺚 㺛 㺜 㺝 㺞 㺟 㺠 㺡 㺢 㺣 㺤 㺥 㺦 㺧 㺨 㺩 㺪 㺫 㺬 㺭 㺮 㺯 㺰 㺱 㺲 㺳 㺴 㺵 㺶 㺷 㺸 㺹 㺺 㺻 㺼 㺽 㺾 㺿 㻀 㻁 㻂 㻃 㻄 㻅 㻆 㻇 㻈 㻉 㻊 㻋 㻌 㻍 㻎 㻏 㻐 㻑 㻒 㻓 㻔 㻕 㻖 㻗 㻘 㻙 㻚 㻛 㻜 㻝 㻞 㻟 㻠 㻡 㻢 㻣 㻤 㻥 㻦 㻧 㻨 㻩 㻪 㻫 㻬 㻭 㻮 㻯 㻰 㻱 㻲 㻳 㻴 㻵 㻶 㻷 㻸 㻹 㻺 㻻 㻼 㻽 㻾 㻿 㼀 㼁 㼂 㼃 㼄 㼅 㼆 㼇 㼈 㼉 㼊 㼋 㼌 㼍 㼎 㼏 㼐 㼑 㼒 㼓 㼔 㼕 㼖 㼗 㼘 㼙 㼚 㼛 㼜 㼝 㼞 㼟 㼠 㼡 㼢 㼣 㼤 㼥 㼦 㼧 㼨 㼩 㼪 㼫 㼬 㼭 㼮 㼯 㼰 㼱 㼲 㼳 㼴 㼵 㼶 㼷 㼸 㼹 㼺 㼻 㼼 㼽 㼾 㼿 㽀 㽁 㽂 㽃 㽄 㽅 㽆 㽇 㽈 㽉 㽊 㽋 㽌 㽍 㽎 㽏 㽐 㽑 㽒 㽓 㽔 㽕 㽖 㽗 㽘 㽙 㽚 㽛 㽜 㽝 㽞 㽟 㽠 㽡 㽢 㽣 㽤 㽥 㽦 㽧 㽨 㽩 㽪 㽫 㽬 㽭 㽮 㽯 㽰 㽱 㽲 㽳 㽴 㽵 㽶 㽷 㽸 㽹 㽺 㽻 㽼 㽽



## 軍医

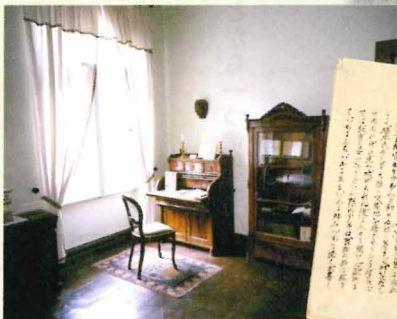
東京大学医学部を卒業し、陸軍省の軍医に。後には、軍医のトップである役職にも就きました。



2 軍医の頃の鷗外

## ドイツ留学

1884年、衛生学を学ぶためドイツに留学します。『舞姫』は、ドイツ留学の頃の自伝的な作品です



1 日本近代文学館蔵

もり  
おう  
がい  
森  
鷗  
外

グラフィック資料



77700

明治時代を代表する文豪・森鷗外は作家以外にもさまざまな経歴を持ち、知識人としても有名です。

ぶんこう

1862年、石見国（現・島根県）津和野に生まれます。森家は代々、津和野藩に仕える医師（典医）を務めていました。

ほんやく

## 翻訳・小説家

ドイツから帰国後は、『舞姫』『山椒大夫』『高瀬舟』などの小説を発表し、小説・戯曲の翻訳などにも力を入れました。

5 鷗外記念館（ベルリン）内にある鷗外が下宿していた部屋

6 ドイツ留学時のことをつづった『独逸日記』※

人の長い話は我慢して聞こう。そして、長い話にうんざりしていることに、気づかれないようにしよう。

「人の多言するをば忍びて聴け、忍びて聴きて己れの倦怠を知らしめざれ。」

人から信頼されるためには、まずは自分が自分を信じるようにしよう。

「人の我を信ずるは、我先づ自ら信ずればなり。」

鷗外に学ぶ  
生きるヒント

鷗外が好んだ  
「まんじゅう茶漬け」



「まんじゅうをご飯の上へのせ、熱い煎茶をかけて食べた」との鷗外のエピソードを、子どもたちがエッセイなどで記しています。

## 読んでみよう

## 『阿部一族』

江戸時代に肥後国（熊本県）で起こった、細川藩の武士の殉死をめぐる事件を取り上げた歴史小説。

7 『阿部一族・舞姫』新潮文庫

## 『山椒大夫』

「山荘大夫」の物語にもとづいた作品。平安時代末期の倫理や献身に焦点を当てた名作。



## 『最後の一句』

大田南畝の随筆『一話一言』を鷗外がアレンジしたもので、官権への批判がこめられています。

『高瀬舟』江戸時代の随筆集『翁草』をもとにした作品です。医師の鷗外らしく安楽死の問題や、財産観念（知足…自分の身のほどをわきまえて、それより多くを求めないこと）をテーマとしています。

## 『高瀬舟』

鷗外の名作は短編の歴史小説に多くあります。それぞれの歴史の場面で生きる人々の現実（即した表現や、問題の投げかけが、鷗外の作品の特徴です。

晩年の歴史小説

8 『山椒大夫・高瀬舟』新潮文庫

※は文京区立森鷗外記念館蔵

知



## 漢字の広場 3

## 異字同訓

教科書

p.162~163

1 次の漢字が表す意味の違いを簡単に説明しなさい。

(1) 「暑い」と「熱い」

(2) 「撃つ」と「討つ」

2 次の各文の——線部の平仮名にあたる漢字をあとから一つずつ選びなさい。

(1) 仏壇に花をそなえる。

ア 供 イ 備

(2) 犬のはなし飼いは禁止されている。

ア 離 イ 放

(3) 座席の間隔をあける。

ア 明 イ 開 ウ 空

(4) この仕事は力がある。

ア 居 イ 要 ウ 入

(5) 励ましの言葉をかける。

ア 懸 イ 架 ウ 掛

3 次の各文の——線部の平仮名を漢字で書きなさい。

(1) ① 登山者が音信をたつ。

② 退路をたつ。

③ 布地をたつ。

(2) ① カメラで景色をうつす。

② 保管場所を別の所にうつす。

③ 水面に姿をうつす。

(3) ① 雑貨屋の看板が目にとまる。

② 旅行先でホテルにとまる。

③ ペンを走らせていた手がとまる。

(4) ① 嫌気がさす。

② 花瓶に花をさす。

③ 臭気が鼻をさす。

知

## 漢字

漢字の右に読みを書こう

ページ  
1 □ 163

診

る

省

みる

諮

る

著

す

薦

める

侵

す

搾

る

絞

る

薫

る

休

憩

謀

略

翻

弄

迷

惑

収

穫

真

珠

逝

去

★は新出漢字、☆は新出音訓



知



言葉の小窓3

## 慣用句・ことわざ

教科書

p.164.  
p.278~280

1 示した意味の慣用句になるように、( )に入る言葉を から選んで書きなさい。

□(1) ( ) を細める 意味 うれしそうな顔をする。

□(2) ( ) につく 意味 しつこくて嫌になる。

□(3) ( ) を巻く 意味 たいへん驚き、感心する。

□(4) ( ) が立たない 意味 相手が強くてかなわない。

鼻 目 舌 歯

2 次の意味の慣用句を一つずつ選びなさい。

□(1) 性格や気が合う。

□(2) 自分で自分を褒めること。

□(3) 気性が素直でまっすぐなこと。

□(4) 自分のことだけを考えてずうずうしい様子。

ア 虫がいい イ 手前みそ

ウ 馬が合う エ 竹を割ったよう

3 次の意味のことわざを一つずつ選びなさい。

□(1) 我慢強く辛抱すれば必ず成功すること。

□(2) 元気がなくてしょげている様子。

□(3) 風流なことより実利があるほうを選ぶこと。

ア 青菜に塩 イ 花より団子 ウ 石の上にも三年

4 次の慣用句の使い方が本来の意味に合うほうに○をつけなさい。

□(1) 「役不足」

有能な彼に、その仕事を任せるのでは役不足だ。  
未熟な私には役不足だが、その任務を果たしたい。

□(2) 「浮き足立つ」

明日から夏休みなので、生徒は浮き足立っている。  
優勝候補校との対戦に、選手たちは浮き足立った。

□(3) 「煮詰まる」

よく話し合ったので、問題が煮詰まってきた。  
煮詰まってしまい、ちっともよい案が浮かばない。

□(4) 「敷居が高い」

あの高級そうなレストランは敷居が高い。  
ご無沙汰しているおじさんの家は敷居が高い。

5 □に入る動物の名前を漢字一字で書き、ことわざを完成させなさい。

また、そのことわざの意味を一つずつ選びなさい。

□(1) □ の耳に念仏

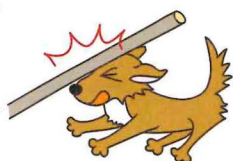
□(2) □ も歩けば棒にあたる

□(3) 立つ □ 跡を濁さず

ア 何かしようとするど災難に遭うことも多いということ。

イ いくら言い聞かせても全く効き目がないこと。

ウ 去る者は後始末をきちんとするべきだということ。



## 漢 字

知

★

①～⑫は 線の漢字の読みを書き、  
⑬～⑮は漢字に直して書きなさい。

- ⑫ □ 藍色が好きだ。  
⑪ □ 急に覚醒する。  
⑩ □ 飽食の時代。  
⑨ □ 166 全国制覇を果たす。  
⑧ □ 麦を収穫する。  
⑦ □ 163 休憩する。  
⑥ □ 156 容赦ない指導。  
⑤ □ 150 趣味は読書だ。  
④ □ 149 懐中電灯の光。  
③ □ 自由奔放に育つ。  
② □ 137 浪費が目立つ。  
① □ 120 感慨深い話。
- ⑬ □ 118 ゴラク番組を見る。  
⑭ □ 119 ボウケンの旅。  
⑮ □ 122 席をゆずる。  
⑯ □ 124 時をへだてて会う。  
⑰ □ 126 話がカキヨウに入る。  
⑱ □ 会費をタイノウする。  
⑲ □ 128 コキン和歌集。  
⑳ □ 無事をいのる。  
㉑ □ 131 たくみに操る。  
㉒ □ 133 さわ歩きをする。  
㉓ □ 138 バンサクが尽きる。  
㉔ □ 139 チツジヨを重んじる。
- ㉕ □ おい立ちを話す。  
㉖ □ ジョジョウ的な文。  
㉗ □ 142 ザンシンな発想だ。  
㉘ □ 143 ユウフクな家庭。  
㉙ □ ケントウをいのる。  
㉚ □ シンボクを深める。  
㉛ □ 145 世論にうつたえる。  
㉜ □ 148 イツカンした態度。  
㉝ □ 151 いつわりなく語る。  
㉞ □ 小説をシツピツする。  
㉟ □ ひかえ室で待つ。  
㊱ □ 152 テツテイした調査。  
㊲ □ 163 自らをかえりみる。
- ㊳ □ 人権をおかす。  
㊴ □ タオルをしぼる。  
㊵ □ 敵をホンロウする。  
㊶ □ コンメイの時代。  
㊷ □ シンジュの指輪。  
㊸ □ 166 消化コウソの働き。  
㊹ □ テキギ処置する。  
㊺ □ 魚をヨウシヨクする。  
㊻ □ 釣りぼりに行く。  
㊼ □ バンシヤクをする。  
㊽ □ バイシン員制度。  
㊾ □ 152 イツザイを発見する。  
㊿ □ 大臣をコウテツする。

## 語 句

知

1

異字同訓 162～163 次の□に合う漢字を一つずつ選びなさい。

- ① □ 税金を□める。  
② □ 成功を□める。  
③ □ 国を□める。  
④ □ 学問を□める。
- ア 修 イ 治  
ウ 納 エ 収

2

慣用句・ことわざ 164～280 次の慣用句の意味を一つずつ選びなさい。

- ① □ 手に余る  
② □ 水を差す  
③ □ 腹を据える  
④ □ 釘を刺す
- ア 邪魔をする  
イ 覚悟を決める  
ウ 前もって念を押す  
エ 対処しきれない

3

次の古語を現代仮名遣いで書き直しなさい。

- ① □ 122 いづれ  
② □ 123 替はる  
③ □ 129 うぐひす





目標

俳句の表現技法を理解し、句にこめられた心情や情景を読み取ろう。



## デジタル

## 俳句の味わい／俳句十五句

表現を吟味する

堀本裕樹 (ほりもと ゆうき)

まずここ

俳句のきまりを捉えよう

●俳句とは……

- ・ 世界で最も短い短詩型文学。
- ・ 一句、二句と数える。
- ・ 形式

初句  
(上五)

二句  
(中七)

三句  
(下五)



音

音

音

三句④

音

● ⑤

Ⅱ季節を表す言葉。原則として、一句につき一つ。

● ⑥  
言葉のつながりの切れめや意味、調子の切れめ。

例 「や」「ぞ」「かな」「けり」「ぬ」「ず」など。

ちよつと  
解説

俳句を読むときには、描かれている季節をよく確かめ、その季節に合った情景を豊かに想像してみよう。

**目標**

【A 俳句の味わいを理解しよう】

読解  
1  
順番に  
読み取ろう

それぞれの句の情景と心情を捉えよう

1 「渡り鳥…」(168①)の俳句について、

□ (1) この俳句に／線を引いて初句、二句、三句に分けなさい。

渡り鳥みるみるわれの小さくなり

□(2) 鑑賞文に「不思議な表現」(168③)とあるが、どのような点が不思議なのか。《条件》に従って書きなさい。

①鑑賞文中の言葉を使い、四十五字以内で書くこと。

②「ふつう」から文を書き始めること。

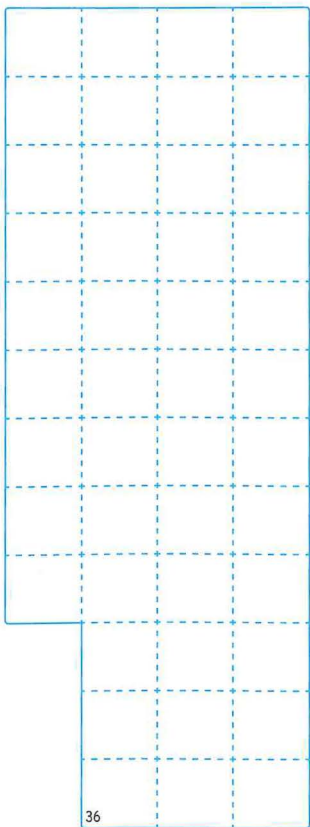
書くヒント

線の内容を使って答えを作ろう！

「不思議な」点を表す言葉を、P. 168 ⑤～⑦行から探す。

↓「ふつう……小さくなっていくのは渡り鳥のほうですが」

**答え方** 文末は「点。」などにする。



目標

2

「おおかみに…」(169⑥)の俳句について、

(1) この俳句の二つの季語について、□に入る言葉を鑑賞文中から抜き出さない。



②

①

●作者の心が①に乗り移って、視点を②させている。

(2)の内容のように見ている立場を変えることを、鑑賞文ではどのようにしているか。次の文の□①・②に入る言葉を、①は三字、②は二字でそれぞれ抜き出さない。

基本的には、  
季語は一句につき一つだけ  
入れるよ。



(二)の句の季語	二つめ	一つめ	季語
	③	①	
	④	②	季節

●一つの句に二つの季語がある

⑤

の句

□(2) この俳句の鑑賞文(169⑧~⑪)についてグループで話し合った。次の《条件》に従って、話し合いを完成させなさい。

《条件》①原さんの発言に入る言葉を、五字と三字で抜き出すこと。

②西さんの発言に入る内容を、「動物」「虫」という語を使って四十文字以内で書くこと。

書くヒント

線の内容を使って答えを作ろう!

内容

西さんの発言について、この句をさらに詳しく解説しているところを、P. 169⑫~⑬行から探す。

↓「狼という大きな強い動物と、虫という小さな弱い虫とが触れ合っている」

答え方

↓「狼と虫の二つのいのちが静かに息づいている」「動物」「虫」の語を使う。解答欄に合う形にする。

狼と虫が一緒にいることを表して、

①

で②

だ

とっているね。

それから、さらに詳しく解説して、

③

一句だともっているね。



西さん

原さん



11

[illegible]

●市役所で働きながら  
①としても活動する。

↓  
結婚するも、急性骨髄性白血病を  
②

↓  
長男が生まれるが、  
③

↓  
子を引き取り、  
④  
で  
⑤  
をする。



⑤

③

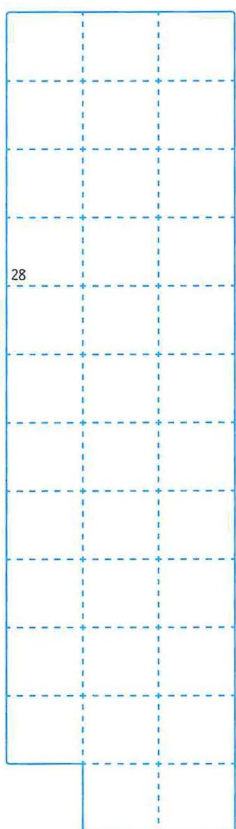
①

④

②

💡「自分自身の境遇を重ねて見ていた」という言葉に注目しよう。

□(1) この俳句は、どのようなイメージを元にしてつくられたか。三十五字以内で抜き出しなさい。



💡「……イメージ」と書かれているところに注目しよう。

- (2) この俳句について次のようにまとめるとき、□①④に入る言葉  
葉を鑑賞文中から①③④は二字で、②は一字でそれぞれ抜き出しな  
さい。

●季語は□①で季節は□②である。合計□③音だが、正  
調のリズムではないため、□④(句またがり)の句という。

③	①
④	②



- (3) この句を正調のリズムではなく、七・五・五のリズムにしたのはな  
ぜだと俳句の作者は述べているか。「ため」の形で、十五字以内  
で書きなさい。


💡 破調にすることでどうなったと書かれているかな。

- (4) この俳句の鑑賞文として最も適切なものを一つ選びなさい。

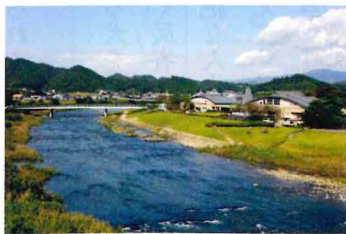
ア 古代から伝わる火焰土器かえんの姿が、極めて強い生命力を持つ揚羽あけは蝶の様子に似つかわしく、力強い世界を創造している。  
イ 炎をかたどった火焰土器の形は、複雑な形をしている揚羽蝶の羽の形によく似ていて、美的な共通点を感じさせる。  
ウ 火焰土器に施された装飾と、つぎつぎと舞い上がる揚羽蝶の様子が、この俳句の躍動的なイメージを強く表現している。  
エ 日本古来の土器である火焰土器は、日本ではよく見られる揚羽蝶にふさわしく、わが国固有の文化を表現している。

💡 火焰土器と揚羽蝶の共通点に注目しよう。

【B 俳句十五句を読み、表現を理解しよう】

- 1 「卒業の…」(172 ③)の俳句について説明したものとして最も適切なものを一つ選びなさい。

ア 「卒業」という春の季語にふさわしい、未来を見つめる若々しい思いが描かれている。  
イ 「卒業」という冬の季語にふさわしく、身が引き締まるような緊張感が描かれている。  
ウ 「堤」という春の季語にふさわしい、明るく伸びやかな世界がみずみずしく描かれている。  
エ 「堤」という冬の季語にふさわしく、兄弟の間に通う温かい思いがよく描かれている。



2 この句の碑がある愛媛県広見川



## 2 「ものの種…」(172④)の俳句について、

□(1) この俳句の主題は何か。次の文の□に入る言葉

葉を、俳句の中から三字で抜き出しなさい。

●種がもつ□の豊かさを伝えている。




□(2) 作者は(1)の主題を伝えるためにどのような表現を使っているか。

次の文の□に入る言葉を、俳句の中から五字で抜き出しなさい。

●種をにぎりしめることで生命が「□」と表現し、作者が感じ取ったことを印象的に伝えている。


## 3 「万緑の…」(172⑦)の俳句からどのような色の対比が読み取れるか。

「対比」の形で、二十字以内で書きなさい。


## 4 「かぶとむし…」(172⑧)の俳句の、「損なわずに歩く」の部分は暗に

何と比較した表現か。二字の言葉を考えて書きなさい。


## 5 「秋草に…」(172⑪)の俳句について説明したものととして最も適切なものを一つ選びなさい。

のを一つ選びなさい。

ア 虫たちが鳴き交わす秋の野原に寝て、空を見ながら、自然の生物たちの豊かさを感じ取っている。

イ 静けさが満ちている秋という季節に、草の上に寝ころがって、青く広がる空の深さを感じている。

ウ まだ暑さが残る秋の野原に寝て、深い海の中を泳いでいるような肉体の鼓動を感じ取っている。

エ 澄み切った秋の空の下で、緑の上に寝ながら、暗い海の底に落ちてゆくような感覚を感じている。

### 目標

## 6 「よし分った…」(172⑫)の俳句の表現の特徴として適切なものを一つ選びなさい。

選ぶなさい。

ア 断定的な言葉を並べて表現することで、威圧感を表している。

イ まるで人間に話しかけるように表現して、親しみを表している。

ウ おもしろおかしく話すように表現して、滑稽さを表している。

エ 簡潔に状況を表現することで、わかりやすさを表している。

## 7 「木の葉ふり…」(173③)の俳句の季語と季節を答えなさい。

・季語


・季節




□ 8 「冬菊の…」(173 ②)の俳句の表現の特徴を説明した次の文の□①、

③に入る言葉を、俳句の中から①は二字、②・③は三字でそれぞれ抜き出さない。

●「①」以外の言葉をひらがなで表すことで、冬菊が放つ  
「②」のやわらかさを表現している。また、冬菊の美しさが  
その内面からにじみ出ている様子を「③」という言葉を用  
いて表現している。

①

②

③

□ 9 「分け入つても…」(173 ⑤)の俳句はどのような情景をよんだものか。

「続いている」という言葉を使って、三十文字以内で書きなさい。

書くヒント 線の内容を使って答えを作ろう！

内容 俳句の情景を想像する。

・「分け入つても分け入つても」↓どんなに進んでも。

・「青い山」↓険しい山。

【答え方】「続いている」という言葉を使う。文末は「情景」などにする。

24


# 歳時記

俳句の季語を集めて分類・  
整理したもの

春

2月 月 節 二十四

時候・天文・地理

生活・行事

動物・植物

うららか・臘月  
霞・風光る  
黄砂・木の芽時  
春暁・菜種梅雨  
雪崩・夏近し  
花冷え・花曇り  
春惜しむ  
春雨・春めく  
水ぬるむ  
山笑う・霰解け・行く春

朝寝・遠足  
花粉症・草餅  
桜餅・潮干狩り  
しゃぼん玉  
受験・進級  
卒業・種まき  
入学・花見  
春祭り・春休み  
バレンタインデー  
菱餅・雛  
風船・ぶらんこ

あさり・鶯・蛙  
白魚・雀の子  
蝶・猫の子  
蛤・雲雀・若鮎  
梅・桜・すみれ  
たんぽぽ  
チューリップ  
つくし・椿  
菜の花・桃の花  
山吹・よもぎ  
若草・わかめ

3月 月 節 二十四

時候・天文・地理

生活・行事

動物・植物

立春  
雨水  
春分  
清明  
穀雨

立春  
雨水  
春分  
清明  
穀雨

立春  
雨水  
春分  
清明  
穀雨

夏

5月 月 節 二十四

時候・天文・地理

生活・行事

動物・植物

立夏  
小満  
芒種  
夏至  
小暑

立夏  
小満  
芒種  
夏至  
小暑

立夏  
小満  
芒種  
夏至  
小暑

6月 月 節 二十四

時候・天文・地理

生活・行事

動物・植物

入梅・夏の秋  
やませ・夕立  
夕焼け・夕風

入梅・夏の秋  
やませ・夕立  
夕焼け・夕風

入梅・夏の秋  
やませ・夕立  
夕焼け・夕風

7月 月 節 二十四

時候・天文・地理

生活・行事

動物・植物

大暑  
小暑  
立秋  
処暑  
白露

大暑  
小暑  
立秋  
処暑  
白露

大暑  
小暑  
立秋  
処暑  
白露



□ 10 「咳せきをしても…」(173⑥)の俳句はどのような心情をよんだものか。一つ選びなさい。

ア 咳をしたことを心配してくれる人もおらずさびしい心情を、俳句のきまりにとられずによんでいる。

イ 咳をしたところで誰にも迷惑をかけることがないという気楽な心情を、字余りの句でよんでいる。

ウ 咳をしたのに誰も自分を気にかけてくれないのでいじける心情を、切れ字を用いてよんでいる。

エ 自分の咳の音が部屋に響き渡った驚きを初句で、自分が一人きりだという孤独感を三句でよんでいる。

💡 この句は「無季自由律」だよ。

□ 11 「戦争が…」(173⑦)の俳句について説明したものととして最も適切なものを一つ選びなさい。

ア いまわしい存在である戦争というものを、ユーモラスに描くことによって、反対する思いを表現している。

イ 戦争という恐ろしい現実が一步一步迫ってくる感覚を、日常の暮らしの中で鮮やかに表現している。

ウ 自分の日常の中において、急に戦争が待ち構えていることに気づいたときの驚きや恐怖を表現している。

エ 戦争という現実から逃れ、自分の世界の中にひきこもってしまいたいという思いを、切実に表現している。

## 秋

二十 四 節

時候・天文・地理

生活・行事

動物・植物

赤蜻蛉・芋虫

かまきり・雁

啄木鳥・秋刀魚

蜻蛉・蓑虫・虫

虫の声・渡り鳥

朝顔・無花果

稲・芋・柿・菊

茸・銀杏・栗

コスモス・西瓜

芒・団栗・梨

葡萄・紅葉・林檎

夜なべ

紅葉狩り

盆踊り・虫かこ

名月・夜長・行く秋

流星

霜降

寒露

秋分

白露

処暑

立秋

秋風・秋高し

秋晴れ・秋の空

天の川・天の河

十六夜

罌雲・絹雲

霧・残暑

台風・露

釣瓶落とし

野分・星月夜

寒露

霜降

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月



## 俳句の世界

## 1 背泳ぎの空のだんだんおそろしく

季語 背泳ぎ(水泳)

背泳ぎをしていると、空がだんだん恐ろしく感じられてくる。自分の行為とそれともなう心境の変化を繊細にとらえた句。

石田郷子

## 2 運動会午後へ白線引き直す

季語 運動会

運動会の日、午前中の競技で消えてしまった白線を、午後からの競技に向けて引き直す。新しくなった白線によって、午後に向け活気づく会場の様子が想像できる。

西村和子

## 秋

## 3 小春日や隣家の犬の名はピカソ

季語 小春日

ああ穏やかな小春日和だ。隣家の犬の名はなんとピカソだ。「小春日」という日本の伝統的な言葉と「ピカソ」というモダンな名前前の組み合わせが新鮮。

皆吉司

## 4 蝶墜ちて大音響の結氷期

季語 結氷期

しんと静まりかえった空間に一匹の蝶が落ちた。とてつもない大きな音が響きわたった。水が氷になることを結氷といい、その頃の句である。

富澤赤黄男

## 冬

## 5 らあめんのひとひら肉の冬しんしん

季語 冬

しんしんと冷える冬。温かいラーメンを食べるささやかな幸福。

石塚友二

## 冬

## 6 トンネル長いね草餅を半分こ

季語 草餅

電車の旅。長いトンネル。草餅を半分にして二人で食べる楽しさ。

神野紗希

## 食べ物



## スポーツ



デジタル

## 命

## 13 百年は死者にみじかし柿の花

季語 柿の花

死んでしまった人にとって、百年というのは短い時間である。柿の木には細かな花が寂しげに咲いている。

蘭草慶子

## 12 戦争と畳の上の団扇かな

季語 団扇

戦争中でも、人の暮らしの営みは続いている。非情な戦争のある一方で、家の畳の上には団扇が置かれている。

三橋敏雄

## 自画像

## 10 水漬や鼻の先だけ暮れ残る

季語 水漬

寒さで水漬が垂れてくる。暗い夕暮れの中で、鼻の先だけが意識される。自嘲を交えた孤独な気持ち。

芥川龍之介

## 冬

## 11 雨ふるふるさとははだしであるく

季語 なし

久しぶりの故郷。雨にぬれた故郷の土をはだして踏みしめていく。ひしひしと感じられるなつかしさ。

種田山頭火

## 恋

## 7 鞆は漕ぐべし愛は奪ふべし

季語 鞆(くらんこ)

ぶらんこは漕ぐものだ。そして、愛は奪い取るものだ。激しい情熱の感じられる句。

三橋鷹女

## 春

## 8 虹立ちて忽ち君の在る如し

季語 虹

「虹が架かったらそれを渡って会いに行きます。」と言っていた愛子の女性を想って詠んだ句。

高洪虚子

## 夏

## 9 虹消えて忽ち君の無き如し

季語 虹

「虹が架かったらそれを渡って会いに行きます。」と言っていた愛子の女性を想って詠んだ句。

高洪虚子





## 俳句を作ってみよう

## ① 題材を集める

- 五感をはたらかせる。(見る・聞く・嗅ぐ・味わう・触る)
  - 心で感じる。
- \*常識や既存の知識にとわれず、感じたことをありのままにとらえよう。

## ② 句を作る

## 基本 五七五の十七音で作る。

- 季語 (季節を表す言葉) を入れる。

## 1 省略する

十七音しか使えないので言葉の無駄遣いはやめよう

- 一人称(私・僕など)の主語 主語が自分自身なら省く。
- 登場する人・物・動作 これらは一つの句の中に一つずつに。
- 原因や過程 結果から推測できることは書かない。
- 意味やイメージの重なり 特に季語のもつイメージは説明不要。

## 創作のヒント

例 朝顔につるべとられてもらひ水

加賀千代女

つるがきついたことは、説明しなくてもイメージできる。

主語がなくても「私がたどわかる。」

「をするなどの述語がなくとも伝わる。」

## 2 切れ字を使う

効果的に使って感動を伝えよう

- や 直前を強調して句の中心をはっきりさせる。
- かな 「くだなあ」の意。まろやかに余韻を残す。
- けり きっぱり言い切って、句を引き締める。

「木がらし」に注目させる。

例 木がらしや目刺にのこる海の色

芥川龍之介

例 木がらしや目刺にのこる海の色

波辺水巴

全体にまろやかな印象になる。

## 3 具体的に示す

- 種類・数・人名・地名などを明らかにしてイメージを伝える。

正岡子規

具体的な花の名や数によりイメージしやすい。



## 4 表現を工夫する

表現技法を上手に使うイメージを伝えよう

- 比喩・擬人法 たとえを工夫して意外性のある句を作る。↓ 8・9の句
- 体言止め 締めくくりに言葉を強く印象付ける。↓ 3・4・6・10の句
- 文字の種類 漢字・平仮名・片仮名を使い分けて見た目の印象を工夫する。

例 桜咲く・さくらさく・サクラサク

同じ言葉でも受ける印象がずいぶん異なる。

## ③ 推敲する

- 五七五になっているか
- 季語が入っているか
- 誤字や脱字がないか

## ④ 句会を開こう

準備するもの……短冊(紙を細長く切ったもの)

1 一人何句ずつ出すかを決めて、作った句を一句ずつ短冊に書いて出す。

\* 名前は書かないこと

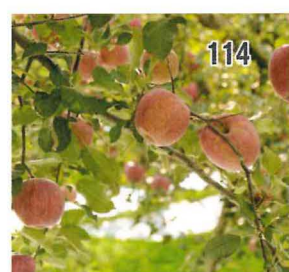
2 集めた短冊をまぜて、出した句の数と同じ枚数の短冊を参加者に配る。

3 自分に配られた短冊の句を新しい短冊に清書する。

\* 筆跡で作者をわからないようにする。

4 清書した短冊を回収し、司会者が黒板に五句ずつ貼っていく。五句について自由に意見を出し合い、多数決で二句選ぶ。選ばれた人は自分の句であることを言う。





教科書

p.176~179

6

初恋

表現を吟味する

目標

リズムや言葉の響きを味わいながら朗読し、詩に描かれた情景や思いを読み取ろう



デジタル

島崎藤村

# 読解 1 順番に読み取ろう

リズムを味わいながら朗読し、情景を捉えよう

目標

1 この詩の形式についてまとめた次の文の□①～④に入る言葉を、

①・④は二字、②・③は一字で、176ページから抜き出さない。

●「思ひけり」「問ひたまふこそこひしけれ」などの昔の書き言葉を使った□① 体であり、一行の音数（リズム）が□② 音・□③ 音という決まった音数を繰り返す□④ 詩である。

①					
②					
③					
④					

□2 「まだあげ初めし前髪」(178①)とあるが、当時は少女の髪型から娘の髪型に結いかえるときに前髪をあげた。このことを踏まえ、「まだあげ初めし（結いあげたばかりの）前髪」に作者は何を感じたと考えられるか。一つ選びなさい。

- ア 少女のたどたどしさを残しつつ、娘の姿になった心もとなさ。  
 イ 少女のあどけなさを残しつつ、娘の姿になったういういしさ。  
 ウ 少女の弱々しさを残しながら、娘の姿になった頼りなさ。  
 エ 少女の清らかさを残しながら、娘の姿になった気高さ。

□3 「花ある君」(178④)とは、「君」のどのような様子を表した表現か。一つ選びなさい。

- ア 手が届きそうにない様子。  
 イ 守ってあげたくなる様子。  
 ウ 愛らしくて美しい様子。  
 エ 着飾って派手な様子。

□4 「薄紅の秋の実」(178⑧)とは何の実か。

抜き出さない。

💡 「われ」に「あたへ」られたものは何かを読み取ろう。

□5 「人こひ初めしはじめなり」(178⑨)とあるが、誰がどうしたということか。「われ」「君」の語を使って、二十字以内で書きなさい。

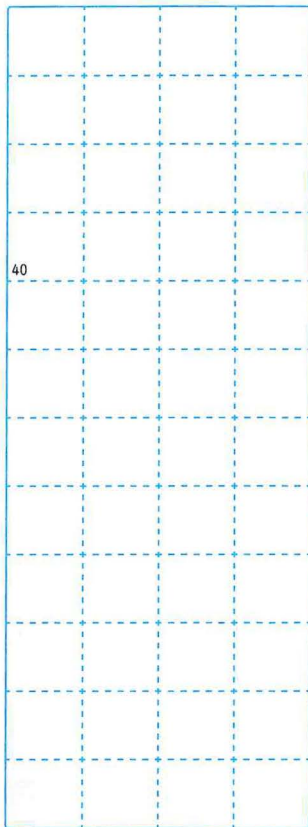

□6 「君」と「われ」の距離が近づいていることを表している部分を、第三連からひと続きの二行で抜き出さない。


1 前髪をあげた娘たち



明治・大正期に、10代半ばの娘たちが結っていた髪型。写真の髪型は桃割れ。（撮影年不詳・長崎大学附属図書館蔵）





## 書くヒント

線の内容を使って答えを作ろう！

## 内容

「おのづから」は「自然に」「ひとりでに」という意味。

↓「細道」は、「われ」と「君」がどうすることで「自然に」できたのか、「誰が踏みそめし」から考える。

7 「たのしき恋の盃を／君が情に酌みしかな」(179④)では、どのような心情が表現されているか。一つ選びなさい。

ア 自分の気持ちを「君」が受け入れてくれた喜び。

イ 自分の気持ちを「君」に知られた恥ずかしさ。

ウ 「君」が盃に注いだ酒をしみじみと飲む満足感。

エ 「君」に情けをかけてほしいという切ない願望。

💡 この部分は恋に陶醉している様子のたとえになっているよ。

8 「おのづからなる細道」(179⑧)とあるが、この道はどのようなしてきたか。《条件》に従って、四十字程度で書きなさい。

《条件》① 「おのづから」の意味を考えて書くこと。

② 「われ」「君」の二語を使うこと。

## グラフィック資料

島崎藤村



2 島崎藤村 日本近代文学館蔵

## なるほど豆知識

## 近代詩の出発『若菜集』

『若菜集』に収められている詩は、ほぼ全編七五調を主体とした文語定型詩で、藤村が教師として赴任した仙台で作られました。永遠ともいえるような青春を歌った詩は、日本の近代叙情詩の出発点として重要な意味をもっています。

明治5(一八七二)年、信州馬籠村(現・岐阜県中津川市)生まれ。本名は春樹。十代でキリスト教の洗礼を受け、浪漫詩人として出発。明治30年に『若菜集』を刊行。三代で小説に転じ、後に日本の自然主義文学の中心となる長編小説『破戒』を明治39年に自費出版した。その後、『春』、『家』などの自伝的な作品や、父をモデルに明治維新とその直後の日本を描いた大作『夜明け前』などを発表。『東方の門』執筆中に倒れ、七十一歳で死去した。



## 夏の夢

『落梅集』より

また落ちかゝる白雨の  
若葉青葉を過ぎてのち  
緑の野辺に蝶は来て  
名もなき草の花ざかり

めぐり／＼て藪かげを  
ぬつと出づれば夏の日は  
白き光に照らされて  
すがたをつゝむ煩冠り

離れ／＼の雲の行く  
天の心は知らねども  
蛙のうたふ声きけば  
今はよろづの恋の時

かよひなれたる白百合の  
畠を荒す田鼠  
小高き土をふみしめて  
花さくなかを逢ひに行く

『作品紹介』『夏の夢』が収められた『落梅集』は、藤村が小諸義塾の教師として長野県の小諸に赴任している間に刊行された。丹念な自然観察に基づいた旅情の詩や恋愛詩が収められている。

この時期は自然主義文学者として新たに出版する準備期間でもあった。



3 馬籠宿



デジタル



# すらすら読解ガイド④

## 文学的文章

読解ガイド①

私

読解ガイド④

故郷

読み方のポイントを学ぼう！



デジタル

### 1 語り手の視点を捉える

注目ポイントはココ！

1 語り手の視点を捉える。

物語を深く読むためには、

語り手の視点を捉えることが大切です。

語り手は、多くの場合、物語に登場す

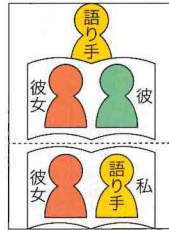
る人物が直接語

る形と、物語を

俯瞰した立場か

ら語られる形に

分かれます。



### 2 登場人物が語る世界

注目ポイントはココ！

語り手の視点を捉えたら、次に、

語りの特徴をつかみましょう。語り

手が登場人物の場合、登場人物の視

点や感情で物語は進むので、登場人

物が中心の世界が展開されます。

2 語り手から見た世界。

3 語り手自身が捉える「私」。

教科書

教科書の文章で確かめて、

□に入る言葉を抜き出そう

語り手の視点：一人称

・別れて二十年にもなる故郷へ、私は帰った。(182①)

・私はわが家の表門に立った。(183⑦)

語りの特徴

・鉛色の空の下、わびしい村々(182③)

・寂寥の感が胸にこみあげた。(182④)

・私の覚えている故郷は、まるでこんなふうではなかった。私の故郷は、もつとずつ

とよかった。(182⑦)

・こう自分に言い聞かせた……自分の心境が変わっただけだ。(182⑩)

・今度は、故郷に別れを告げに来たのである。(183③)

・一面に枯れ草のやれ茎が……家が持ち主を変えるほかなかった理由を説き明かし顔である。(183⑦)

・私もまだ十歳そこそこだった。(184⑩)

・私は坊ちゃんにいられた。(184⑪)

「語り手の視点に注目して、物語の始まりを捉える」

人称

・一人称：語っている「□」の視点。

「私」が捉えた故郷

・わびしい村々が、いささかの活気もなく、あちこちに横たわっていた。

・私の覚えていた故郷は、もつとずつと

↓自分の心境が

から、そう感じる。

・今度の帰郷は決して楽しいものではなかった。

・異郷の地へ引越さねばならないため、

故郷に□を告げに来た。



塤

つちへん

圪 圪 圪 圪 圪 圪 圪

16「脚」の音読みは「キヤク」です。



29 □	25 □	21 □	17 □	13 □	9 □	5 □	1 □
英	炊	境	豆	跳	帽	股	やれ
雄	事	遇	腐	ね 魚	子	(訓読み)	茎
30 □	196 □	26 □	194 □	22 □	18 □	14 □	10 □
所	掘	凶	繁	高い	結	坊	ひっそり
望	る	作	盛 <small>じやう</small>	塀	わえる	ちゃん	閑
31 □	27 □	23 □	19 □	190 □	15 □	11 □	186 □
崇	鶏	椅	駆	贈	貝	雇	脳
拝	(訓読み)	子	ける	り 物	殻	い 人	裏
28 □	24 □	20 □	16 □	188 □	12 □	8 □	185 □
名	香	旦	脚	渴	艶	紺	碧 <small>へき</small>
残	炉	那	(訓読み)	く	(訓読み)		
(熟字訓)							

**知**  
**漢字**  
漢字の右に読みを書こう

★は新出漢字、☆は新出音訓



教科書

p.180~198

### 目標

登場人物の設定・関係に着目し、それらが時代や社会の変化によってどのように変わるか読み深めよう



## デジタル

## 6 故郷

表現を吟味する

ルン・シーン  
魯迅／竹内  
好  
訳

知

語句

1 意味調べ

13□ 人見知り ひみし 185 9	12□ 吟味 ぎんみ 184 14	11□ ……をかわす 184 8	10□ 紺碧 こんぺき 184 5	9□ 脳裏 のうり 184 5	8□ やるせない 183 11	7□ ひっそり閑 ひっそりかん 183 9	6□ 説き明かし顔 とくあかしがほ 183 8	5□ 帰郷 ききょう 183 2	4□ 心境 しんきょう 183 1	3□ 長所 ちようしょ 182 8	2□ 片時も かたとき 182 6	1□ 活気 かつき 182 4
意味	文脈	文脈	意味	意味	意味	意味	意味	意味	意味	意味	意味	意味
文例 子どもの頃は人見知りだった。	文章中ではどちらの意味ですか。 文章の中ではどちらの意味ですか。 文章ではどちらの意味ですか。 文章ではどちらの意味ですか。 イ 物事を念入りに調べる。 罪状を調べたです。	文章中ではどちらの意味ですか。 文章の中ではどちらの意味ですか。 文章ではどちらの意味ですか。 文章ではどちらの意味ですか。 イ よける。 やりとりする。	*「紺碧の海」「空」などと用いられる。	*「脳裏をよぎる」などと用いられる。	文例 努力が実らず、やるせない。	辞書 「ひっそり」で辞書を引こう。	*「説き明かし」で辞書を引き、様子を想像して書こう。	文例 三年ぶりに帰郷する。	文例 複雑な心境を語る。	類義語を書こう	*「片時も：しない」の形で使う。	文例 活気にあふれた教室。

26□ 恭しい 190 (17)	25□ 数珠つなぎ 190 (13)	24□ 思案 190 (10)	23□ 感激 190 (10)	22□ 行きがけの駄賃 189 (16)	21□ 現に 189 (11)	20□ 冷笑 189 (4)	19□ 不服 189 (2)	18□ 口添え 188 (11)	17□ あてがう 188 (7)	16□ 口実 187 (15)	15□ 獐猛 186 (12)	14□ はしゃぐ 185 (12)
意味	意味	文脈	意味	意味	意味	意味	意味	意味	文脈	意味	意味	意味
		文章中ではどちらの意味ですか。 ア 心配して困っていること。 イ いろいろ考えることや、その考え。							文章中ではどちらの意味ですか。 ア ぴったりとつける。 イ 割り当てて与える。			
文例 恭しく頭を下げ る。	辞書 「数珠」で辞書 を引こう。	( )	( )	辞書 「行(ゆ)きがけ」 で辞書を引こう。	文例 うそではない。 現に目撃者も大 勢いる。	文例 彼女は冷笑を浮 かべた。	文例 不服そうにふく れっ面をする。	文例 友達の口添えで、 キャンプに行け ることになった。	( )	文例 参加を断る口実 を探した。	文例 獐猛なサメをし とめる。	文例 兄は海で子ども のようにはしゃ いだ。

40□ のほうず 195 (5)	39□ 鮮明 194 (15)	38□ 英雄 194 (15)	37□ 気がめいる 194 (14)	36□ 名残惜しい 194 (13)	35□ 走り去る 194 (11)	34□ たそがれ 193 (16)	33□ ひたすら 193 (16)	32□ 見送りがてら 193 (13)	31□ 黙々 192 (17)	30□ すべがない 192 (16)	29□ 他人行儀 191 (13)	28□ おどおど 191 (6)	27□ 顔色 191 (4)
意味	意味	意味	意味	意味	意味	文脈	意味	意味	意味	意味	意味	意味	文脈
						文章中ではどちらの意味ですか。 ア 盛りを過ぎ、終わりに近い頃。 イ 夕方の薄暗いとき。夕暮れ。							文章中ではどちらの意味ですか。 ア 血色。 イ 顔つきに表れた機嫌。
文例 公の場でのほう ずにあふまう。	文例 当時のことを鮮 明に思い出す。	( )	辞書 「めいる」で辞 書を引こう。	辞書 「名残」で辞書 を引こう。	文例 電車は駅から走 り去って行った。	( )	文例 ひたすら勉強に 励む。	文例 駅に行きがてら 手紙を出した。	文例 黙々と絵を描く。	辞書 「すべ」で辞書 を引こう。	文例 他人行儀な言い 方をする。	文例 祖父の前ではお どおどしてしま う。	( )



□ (2) 「走り去る」

□ (1) 「……がてら」

3 次の言葉を使って短文を作ろう

- 2 1 の意味調べの言葉を ( ) に入れ、文を完成させよう
- (1) 妹は怖がりで、 ( ) 母親のそばを離れない。
- (2) 私は ( ) で、友達を作るのが苦手だ。
- (3) 風邪がはやっていて、 ( ) 何人も休んでいる。
- (4) 散歩 ( ) 買い物に行こう。
- (5) 弟のおもちやを壊してしまい、ぼくは ( ) 謝った。
- (6) 風のように ( ) 彼の後ろ姿を見送った。

43 □ 偶像崇拜 ぐわうぞうすうはい 196 ② 意味	42 □ 所望 しょぼう 196 ① 意味	41 □ 希望 きぼう 195 ⑥ 意味
辞書 「偶像」で辞書 を引こう。	文例 お茶を所望する。	類義語を書こう

解く前に、すらすら読解ガイド④ (P.116) でポイントを復習!

まず「語り手の視点」

語り手の視点を捉えて物語を深く読み取ろう

一人称：語っている「私」

・二十年來忘れることのなかった

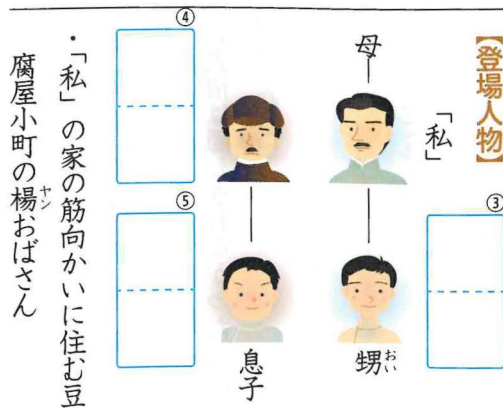
① に帰った。

・異郷の地へ、

② ねばならない。



物語を深く読むためには、語り手の視点を捉えて、その語りの特徴をつかみ、語り手以外の他者の視点にも想像を広げながら多角的に読み取る。



コラム 干支

中国では、万物を生み出す要素は「五行」(木・火・土・金・水)であるとしていた。十干は五行と陰陽の組み合わせ、十二支は古代中国の暦で、十干と十二支を組み合わせたのが干支。

じゅうに 十二支	じっかん 十干	ごぎょう 五行
う 寅	あ 卯	き 木
うま 午	へい 丙	か 火
ひつじ 未	ぼ 戊	ど 土
うし 丑	しん 辛	きん 金
とら 寅	しん 壬	すい 水
とら 寅	き 癸	



1 刺叉を持つ閻魔 (184⑦)





## る じん



**1 門**



**2** 祖父の家の徳寿堂  
(冠婚葬祭を行う場所)



### 3 台所

【C】「私」と閨土のかつての関係を捉えよう ルンター

「私の脳裏に不思議な画面が繰り広げられた」(184⑤)とあるが、このとき「私」の脳裏に浮かんだ画面を一つ選びなさい。

ア 色鮮やかで美しい自然の中で、生き生きとした少年閨土が、見たことのない生き物と戦っている、幻想的な想像の情景。

イ 幼い頃に「私」が閨土と一緒に経験した数々の冒険の中でも、一番強く記憶に残っている、楽しく愉快な夜遊びの情景。

夜の西瓜畑で危険な動物糞に襲われていた「私」が、勇ましくて強い少年閨土に助けられた、印象的な情景。

工のどかな夜の西瓜畑で幼い「私」が無邪気に猿をとらえようとしている、現在の「私」の願望を反映した幻の情景。

💡 少年は誰なのか、この情景は現実のものなのかどうかを、あと  
の文章から読み取ろう！

2 子どもの頃の閨土が、父親に大事にされていることを表した外見の描写を185ページから一文で抜き出し、初めの五字を書きなさい。

3 「私」が「珍しいこと」(186⑬)と感じた閨土の話を四つ、それぞれ「大

雪」「海」「月」「高潮」の語を使って書きなさい。

4 「閨土の心は神秘の宝庫」(187④)という表現について、

□(1) 少年時代の「私」のどのような思いが表れているか。一つ選びなさい。

ア 作り話をする閨土に対する輕蔑。

イ 想像力豊かな閨土に対する驚き。

ウ 明るくふるまう閨土に対する敬意。

工 広い世界を知る閨土に対する憧れ。

□(2) 閨土と対照的に、「私」や「私の遊び仲間」(187④)がどのような世

界で暮らしているかを表現した言葉を二十四字で抜き出し、初めと終わりの五字を書きなさい。

5





## 【E】関土との関係の変化とその理由を捉えよう

1 「私の記憶にある関土とは似もつかなかった」(190③)とあるが、

- (1) 外見の様子の変化をまとめた次の表の□①～⑦に入る言葉を□の字数で抜き出しなさい。

今	昔	
②色。 深い③。 目の周りが赤く腫れている。	①のいい丸顔。	顔
⑤のような手。 太く、節くれだち、ひび割れた、	④した手。 血色のいい、	手
⑦毛織りの帽子。 薄手の綿入れ一枚に	キラキラ光る⑥と、 小さな毛織りの帽子。	服装

⑦	④	①
		②
	⑤	
		③
	⑥	

- (2) (1)の変化から、現在の関土についてわかることを二つ選びなさい。

- ア 教育を受けなかったこと。 イ 栄養の状態がよくないこと。  
ウ 孤独に暮らしていること。 エ 厳しい労働をしてきたこと。

## 目標

2 「ああ、関ちゃん——よく来たね……」(190⑫)とあるが、

- (1) 関土は少年の頃、「私」を何と呼んでいたのか。  
抜き出しなさい。

- (2) このあと、「続いて言いたいことが……出なかった」(190⑬)のに、「頭の中を……出なかった」(190⑭)のはなぜか。一つ選びなさい。

- ア 関土の姿から境遇を察して複雑な気持ちになったから。  
イ 昔からの友人として、優しい言葉をかけたいと思ったから。  
ウ 別人のような関土に親しみを感じられなかったから。  
エ 昔とは違い、使用人の一人として接するべきか迷ったから。

💡「何かでせき止められたように」の「何か」を考えよう。

3 関土の顔に「喜びと寂しさの色」(190⑯)が現れたのはなぜだと考えられるか。一つ選びなさい。

- ア 再会はうれしいが、没落して家を手放さなければならなくなった「私」がかわいそうだったから。  
イ 再会はずれしいが、身分や境遇の違いを考えると、子どもの頃のように親しくできないと悟ったから。  
ウ 再会はずれしいが、故郷を離れて出世した「私」の態度が昔とは違ふと感じたから。  
エ 再会はずれしいが、「私」が故郷を離れることを知っていたため、すぐにまた別れてしまうのがつらかったから。







□ 思

読解 2 全体を捉えよう

①～⑫に入る言葉を抜き出そう

□ 思

読解 3 深めよう

3ステップで記述しよう

① 帰郷

「私」は①  
ぶりに故郷へ帰る。

目的：故郷に②  
を告げるため。

心情 楽しい気分ではない。寂寥感。

情景描写 真冬。活気のない村々。

当時の社会状況  
革命直後の中国。政治は混乱が続き、農民は非常に貧しく、身分の上下も残っている。

② 母と甥との対面

引越しを控え、  
表情の母。

情景描写 さびれた古い家。ひっそり閑としている。

母から閩土のことを聞き、一気に思い出がよみがえる。

情景描写(想像)

紺碧の空、金色の丸い月。緑の西瓜畑。

三十年前  
閩土の心は、  
だった。

心情 やつと  
を見た思い。

④ 楊おばさんとの再会

誰だかわからないほど変化していた楊おばさん。

外見の変化 昔…豆腐屋小町 ↔ 今…コンパスそっくり

・「私」のことを「  
のあるおかた」「金持ち」と呼び、

冷笑を浮かべ、皮肉を言う。母の手袋を盗んでいく。

心情 返事のしようがなく、口を閉じる。

問い 「私」が望む「新しい生活」(195⑥)とはどのようなものか、また、その実現のためにどうすることが重要か。「私」と閩土、宏児と水生の関係や、作品中で描かれている社会状況を踏まえて、自分の考えを百六十字以内で書きなさい。



問いの前半 ↓ 問いの後半 と順番に考えよう！

ステップ1 問いの前半 「私」が望む「新しい生活」とはどのようなものか。

①・②に入る言葉を書きなさい。

● 「私」と閩土

身分や境遇の違いによる、互いに①した生活。

● 宏児と水生

身分や境遇の違いにとられず、心を②生活。

「私」と閩土が経験しなかった新しい生活。

ステップ2 問いの後半 ステップ1 で捉えた「新しい生活」をも

つためには、どうすることが重要か。書き出しに続く形で、四十字以内で書きなさい。

身分や境遇の違いにとられず心が通い合う生活を実現するためには、私たち一人一人が、





この文章の内容と合うものを二つ選ぼう

- ア 三十年ぶりの故郷の人や家は、「私」が記憶する姿と変わらなかった。  
 イ 閩土と再会した「私」は、「美しい故郷」を取り戻した。  
 ウ 閩土と「私」は隔絶し、宏児と水生は友情を育んだ。  
 エ 「新しい生活」を望む人が多くなれば、願いはかなうと感じた。

### ⑥故郷を離れる「私」の思い

●同じ考えの人が多くなれば

は実現する。

=

↓若い世代には、身分や境遇に隔てられず心を通い合わせられるような

宏児と水生の間に芽生えた友情を知る。

心情

名残惜しくはない。

だけ。

情景描写

緑の山々はたそがれの中で薄墨色に変わる。

「私」と母と宏児は、船で故郷を離れる。

心情

再会に感激するが、「厚い壁」に隔てられたと失望する。

### ⑤閩土との再会

閩土がやってくる。↓「私」の甥と閩土の息子は遊びに行く。

と違う、過酷な労働と生活の苦勞を感じさせる姿。

顔に

の色。

態度。「旦那様」と呼ぶ。

### ステップ3 つなげる

ステップ1 と ステップ2 の内容をつなげて、

問いの答えを整えよう。

ステップ1の「私」が望む「新しい生活」を言いかえる

答え

「私」が望む新しい生活とは、

生活のことだ。

その実現のためには、私たち一人一人が、

が重要だ。

ステップ2

ステップ1を踏まえて、「どうすることが重要か。」を書く

# テストの練習問題

故郷

魯迅・竹内好訳

「おじさん、僕たち、いつ帰ってくるの？」

「帰ってくる？ どうしてまた、行きもしないうちに、帰るなんて考えたんだい？」

「だって、水生が僕に、家へ遊びに来いって。」

大きな黒い目をみはって、彼はじっと考えこんでいた。

私も、私の母も、はっと胸をつかれた。そして話がまた閩土のことに戻った。母はこう語った。例の豆腐屋小町の楊おばさんは、私の家で片づけが始まってから、毎日必ずやってきたが、おととい、灰の山からわんや皿を十個あまり掘り出した。あれこれ議論の末、それは閩土が埋めておいたにちがいない、灰を運ぶ時、一緒に持ち帰れるから、という結論になった。楊おばさんは、この発見を手柄頭に「犬じらし」（これは私たちのところで鶏を飼うのに使う。木の板に柵を取り付けた道具で、中に食べ物を入れておくと、鶏は首を伸ばしてついでにむことができるが、犬にはできないので、見てじれるだけである。）をつかんで飛ぶように走り去った。てん足用の底の高い靴で、よくもと思うほど速かったそうだ。

古い家はますます遠くなり、故郷の山や水もますます遠くなる。だが名残惜しい気はしない。自分の周りに目に見えぬ高い壁があつて、その中に自分だけ取り残されたように、気がめいるだけである。西瓜の銀の首輪の小英雄の面影は、もとは鮮明このうえなかったのが、今では急にはんやりしてしまった。これもたまらなく悲しい。

母と宏児とは寝入った。

④ (1)・(4) I 15点×2 (4) II 20点 他 10点×5 (4) I・(5)は完答

100

□ (1) 「名残惜しい気はしない」とあるが、なぜか。次の文の□に入る言葉を五字以上、十字以内で書きなさい。

●現在の故郷は、□とは違うことがよくわかったから。

□ (2) 「今では急にはんやりしてしまった」とあるが、その理由として最も適切なものを、一つ選びなさい。

ア 気がめいって、昔の記憶をたどることができなくなったから。

イ 故郷のことよりも、引越した先のことのほうが気にかかるから。

ウ 現在の姿を見て、抱いていた憧れの念が消えてしまったから。

エ 長い年月がたつたため、記憶があやふやになってしまったから。

(3) 「私と閩土」について、

□ I 少年時代の「私」にとって、閩土はどのような存在であったか。文章の中から三字で抜き出さない。

□ II 現在の二人はどのような状態か。「心」の語を使って、十字以内で書きなさい。

(4) 「若い世代」について、

□ I 「若い世代」の心が通い合っていることは、どのようなことからわかるか。次の文の□ A・Bに入る言葉を文章中からAは二字、Bは五字で抜き出さない。

●宏児が□ A を慕い、故郷に□ B ことを望んでいること。

□ II 「若い世代」に対し、「私」はどんなことを願っているか。文章中の言葉を使って、二十字以上、二十五字以内で書きなさい。

□ (5) 「手製の偶像にすぎぬのではないか」とあるが、なぜこのように思ったのか。次の文の□ I・IIに入る言葉を、Iは文章中から一語で抜



まどろみかけた私の目に、海辺の広い緑の砂地が浮かんてくる。その上の紺碧こんぺきの空には金色の丸い月がかかっている。思うに希望とは、もともとあるものとも言えぬし、ないものとも言えない。それは地上の道のようなものである。もともと地上には道はない。歩く<sup>⑤</sup>人が多くなれば、それが道になるのだ。

[illegible]

7  
 p.  
 125  
 F  
 4

工  
力強いもの

ア 故郷を離れさえすれば、新しい人生を歩み出せるのだ。  
イ 同じ希望をもつ人が多くなれば、希望は実現するのだ。  
ウ 自分を信じて行動すれば、幸せな一生を送れるのだ。  
エ 時代が変われば、人も変わらなければならないのだ。

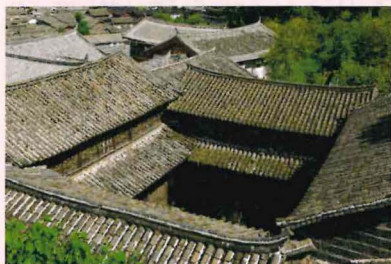


1 魯迅 (本名：周樹人) 1881～1936年

## 魯迅の少年時代

魯迅は、中国浙江省紹興の地主の家に生まれました。昔の中国では大家族が一つの家に住むことが多くありましたが、魯迅の家でも、遠い親族が生活を共にしていました。地主制と大家族制という封建的な環境が、魯迅に大きく影響します。

十二歳のときに実家は没落し周囲は冷たくなりました。彼はこのときのことを「世の中の人々の真の顔を見た」と回想しています。



3 四合院 中庭を囲むように建てられた住居で、ここに一族の複数の家族が住む。魯迅の生家もこのような造りであった。



2 魯迅の生家の中庭

年	年齢	出来事	政府
1840～42		アヘン戦争	清 封建社会・ 列強の植民地化
1881	0	地主の家に生まれる。	
1893	12	祖父が投獄され、父は難病を発症する。	
1894～1895		日清戦争	
1896	15	父が亡くなり、家はますます困窮する。	
1902	21	公費で日本に留学する。	革命 ↓ 中華民国 革命後の混乱・ 日中戦争へ
1904	23	仙台医学専門学校に入学。藤野先生と出会う。	
1906	25	学校を中退し、文学を志す。	
1909	28	中国に帰国し、教員となる。	
1911		辛亥革命	
1912		中華民国が成立。	
1912	31	新政府の教育部員となる。	
1918	37	『新青年』に初小説『狂人日記』を発表。	
1919		五・四運動	
1921	40	『故郷』『阿Q正伝』を発表。	
1926	45	『藤野先生』を発表。	
1936	55	持病の悪化により死去。	
1937～45		日中戦争	

## 故郷

### グラフィック資料



4 日本留学中、学生服姿の魯迅



デジタル

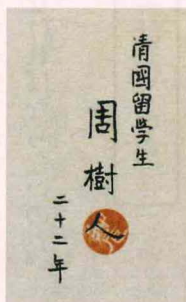
### 魯迅が生きた時代の中国と日本留学

清は二百五十年以上中国を支配していましたが、封建的な制度から抜け出せず近代化が遅れた結果、西洋列強の植民地化に脅かされるようになりしました。そのため、アジアの中でいち早く西洋文化を取り入れた日本に公費留学生を送り出します。

父親の病死などから医学の道を志した魯迅も留学生の一人として来日し、仙台医学専門学校（現在の東北大学医学部）に進学します。



6 魯迅が学んだ東北大学内の教室



5 留学生であることを示す書類



## 日本留学での出来事

## 藤野先生との出会い

魯迅は仙台医学専門学校で、藤野厳九郎教授と出会います。解剖学の教授であった藤野先生は、魯迅に毎週講義ノート提出させ、ノートが真っ赤になるほど添削しました。後にその体験をもとに『藤野先生』という随筆を書いています。

## 幻灯事件

当時は講義の時間が余ると、幻灯機でニュース写真を見ることがありました。ある日魯迅は、写真の中にスパイ容疑で処刑される中国人と、それを取り囲んでただぼんやり眺めている中国の民衆の姿を見つけました。祖国を救うには人々の精神の改革が必要だと考え、医学をやめて文学を志します。

## その後、作家として活動

学校を退学した後、二十八歳で中国に帰国します。帰国後は官職に就くなどした後、儒教批判と口語文（白話）の使用を提唱する文学革命の運動に参加し、中国社会への批判と人々の精神の改革を促す活動を続けました。

魯迅は近代中国文学の父とされ、『藤野先生』は中国の国語の教科書にも採用されました。

## 読んでみよう！

## 『狂人日記』

魯迅の初小説。中国の古い家族制度と儒教の思想を批判した作品。中国で初めて口語体で書かれた。

## 『阿Q正伝』

村人からかわれる日雇い労働者の阿Qを通じて、民衆の愚かさや辛亥革命の失敗を痛烈に暴いた作品。

## 阿Q正伝・狂人日記

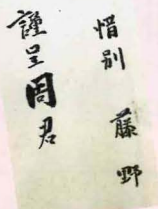


岩波文庫 252

岩波文庫



雑誌『新青年』が掲載されるなど、文学革命の中心となった雑誌。



藤野先生が魯迅に渡した写真の裏に書かれていた「惜別」の文字

## ▶14 辛亥革命を描いた絵画

辛亥革命で清が倒され、共和制の中華民国が樹立した。しかし、魯迅はその後の国内の混乱に失望して『阿Q正伝』で批判した。



## ◀15 五・四運動を描いた絵画

北京で起こった反帝主義運動。魯迅らの文学革命は、五・四運動の原動力となった。



## 16 魯迅の死去を伝える『外』



魯迅先生精神永存

魯迅先生精神永存

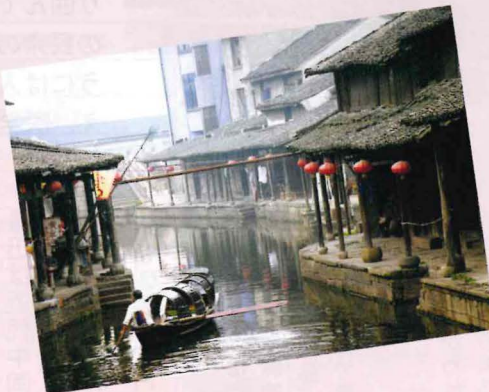




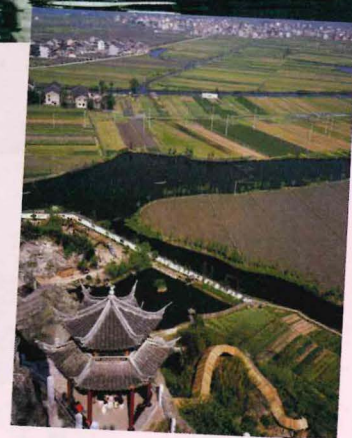
1 紹興の水路



4 伝統的な祭祀



3 水路をいく烏篷船 黒い苔がかけられた烏篷船は魯迅の時代には主要な交通手段であった。

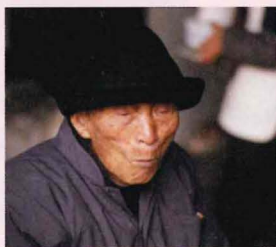


2 紹興の水路と田園 魯迅の生家は多くの田畑を所有し、官僚も務めていた。

魯迅が生まれ、『故郷』の舞台となった紹興は、中国浙江省東部にあります。川や運河が網目のように流れている、水郷として知られる町です。烏篷船と呼ばれる丸い屋根の付いている小舟、紹興酒などが有名です。閩土（烏せん帽）は、当時の紹興で人気の帽子でした。

### 魯迅の故郷・紹興

6 毛織り帽



7 紹興酒







9 魯迅の母・魯瑞

ペンネームは母方の姓から一字を取っている。



8 閩土との再会

一九一九年十二月、三十八歳の魯迅は生家売り払い、母や弟たちを自分が住んでいる町へ呼び寄せるため二十年ぶりに故郷・紹興に帰ってきます。魯迅は閩土のモデルとなった幼なじみ（章運水）と再会して、このとき聞いた苦しい生活ぶりが、閩土の言葉に反映されています。

## 実体験から生まれた『故郷』

### 跳ね魚



12 跳ね魚は、飛び跳ねる魚のこと。写真はトビハゼ

### 貝や羽



11 閩土のモデルになった人物からもらったもの

### アナグマ



10 獐は魯迅が考えた動物。アナグマのようなものと、後に魯迅が語っている。



14 魯迅の家族写真



13 魯迅の家の庭（百草園）  
章運水の父親から、鳥の捕り方を教わったりした。

「しかし、数人が起きた以上、その＊鉄の部屋をこわす希望がまったくないとは言えまい」  
そうだ、私には私なりの確信があるが、しかし希望ということになれば、抹殺はできない。希望とは将来にかかるものであり、ないにちがいないという私の証明で、あり得るという彼の意見をときふせることはできない。そこで、私もとうとう何か書くことを承知した。

「呐喊」自序（丸山昇訳）

＊「鉄の部屋」は当時の中国の社会をたとえたもの。  
魯迅は「中国が変わるかもしれない」という希望を、自分の小説で一部の人に持たせるのは、かえって気の毒ではないか」と、友人の金心異に問いかけました。金は次のように答え、それを聞いた魯迅は作家になる決意をしたのです。

『故郷』の最後に「希望」について考えるシーンがあります。魯迅の「希望」に対する考え方は、『呐喊』自序から読み取れます。

## 希望



知



漢字の広場 4

四字熟語

教科書

p.206~207

1 次の□に漢数字を書き入れて、四字熟語を完成させなさい。

(1) 朝

暮

(2)

転

倒

(3)

人

脚

(4)

差

別

2 次の四字熟語は、それぞれ二つの□に共通する漢字が入る。その漢字を□から選び、解答欄の<sup>えん</sup>上段に書きなさい。また、四字熟語の意味を<sup>えん</sup>あとのア〜オから選び、解答欄の下段に書きなさい。

(1) □体□命

(2) □給□足

(3) 右□左□

(4) □材□所

(5) □眠□休

十 自 無 適 往 不 一 絶

ア その人の能力や特性にふさわしい地位や仕事に就かせること。

イ 混乱して慌てふためく様子。

ウ 危険や困難から逃れられない状態にあること。

エ 休まず事にあたること。

オ 必要な物を自分自身の力で生産してまかなうこと。

(4)	(1)	漢字
		意味
(5)	(2)	漢字
		意味
	(3)	漢字
		意味

知

漢字

漢字の右に読みを書こう

ページ 1 □ 206

13 □	9 □	5 □	1 □
交	毀	循	清
渉	損	環	廉
14 □	10 □	6 □	2 □
折	霧	飢	碎
衷	中	餓	身
15 □	11 □	7 □	3 □
栽	多	殺	爽
培	寡	菌	快
16 □	12 □	8 □	4 □
清	独	駐	尚
涼	占	車	早

★は新出漢字

3 次の二字熟語を二つずつ組み合わせ、四字熟語を四つ作りなさい。

本末 直入 大敵 引水 転倒 言語  
油断 我田 首尾 道断 徹頭 苦闘

4 次の構成の四字熟語をあとから一つずつ選びなさい。

(1) 主語―述語の関係

(2) 反対の意味の二字熟語の組み合わせ

(3) 修飾―被修飾の関係

ア 半信半疑 イ 自由自在 ウ 大器晚成  
エ 完全無欠 オ 不言実行

□	□
□	□
□	□
□	□
□	□
□	□



## 漢 字

知

★

①～⑫は——線の漢字の読みを書き、  
⑬～⑮は漢字に直して書きなさい。

- ⑫ □ 三日間の猶予。  
⑪ □ 唯一無二の物。  
⑩ □ 活動を自粛する。  
⑨ □ 点滴を打つ。  
⑧ □ 209 低俗な番組。  
⑦ □ 培養液につける。  
⑥ □ 207 父は寡黙だ。  
⑤ □ 名譽を毀損する。  
④ □ 206 飢餓に苦しむ。  
③ □ 名残惜しい。  
② □ 194 鶏を飼育する。  
① □ 188 机の脚をたたむ。  
⑬ □ 183 カンセイな住宅街。  
⑭ □ 184 店員をやとう。  
⑮ □ 185 ニスでつやを出す。  
⑯ □ 186 ボウシをかぶる。  
⑰ □ 卵のからをむく。  
⑱ □ 喉がかわく。  
⑲ □ 187 魚がはねる。  
⑳ □ マフラーのおくり物。  
㉑ □ 188 フハイが進む。  
㉒ □ 国がハンエイする。  
㉓ □ 190 店のダンナを呼ぶ。  
㉔ □ 193 タイグウを改善する。  
㉕ □ キョウボウな動物。  
㉖ □ イスを並べる。  
㉗ □ ダンロのある家。  
㉘ □ ゾウスイを食べる。  
㉙ □ 194 ユウベンに語る。  
㉚ □ 神をスウハイする。  
㉛ □ 206 レンカな商品。  
㉜ □ 岩をフンサイする。  
㉝ □ ソウカイに目覚める。  
㉞ □ 水がジュンカンする。  
㉟ □ 低温でサツキンする。  
㊱ □ 公営のチュウシヤ場。  
㊲ □ 207 利益をドクセンする。  
㊳ □ カンショウしない。  
㊴ □ ノウリヨウ祭に行く。  
㊵ □ 209 中国のコウテイ。  
㊶ □ タイテイを命ずる。  
㊷ □ ジュクに通う。  
㊸ □ 領土をヘンカンする。  
㊹ □ 注意をおこたる。  
㊺ □ ボケツを掘る。  
㊻ □ 人工衛星のキドウ。  
㊼ □ 弱点をコクフクする。  
㊽ □ 解答ランに書く。  
㊾ □ 空気がカンソウする。  
㊿ □ 一点をギョウシする。

## 語 句

知

1

四字熟語 206～207 次の□に合う漢  
数字を一つずつ選びなさい。

- ① □ 日 □ 秋  
② □ 臓 □ 腑  
③ □ 束 □ 文

2 類義語の組になるように、□に合  
う漢字を一つずつ選びなさい。

- ① 182 長所 □ 点  
② 190 感激 □ 感  
③ 194 英雄 □ 人  
④ 195 希望 □ 望  
ア 銘 イ 願  
ウ 美 エ 偉

3 次の——線部の語句の意味を一つ  
ずつ選びなさい。

- ① 184 吟味  
ア 物事を念入りに調べること  
イ 素材のよさを味わうこと  
ウ 適切なものを探し求めること  
② 186 獐狂  
ア 無邪気で、わがままなこと  
イ 性質が荒く、乱暴なこと  
ウ 無神経で、ずる賢いこと



## グラフィック資料



デジタル

## SDGsって何？

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

SDGsとは、「持続可能な開発目標」

(Sustainable Development

ment Goals)」の通称(ついで)で、「エ

ス・ディー・ジーズ」と読みます。「誰一人

取り残さない」持続可能で多様性と包摂

性のある社会の実現のため、二〇三〇年を達成

年限とする17の国際目標

のことです。

世界は、環境問題に試行錯誤しながらずっと取り組んできたんだね。



1 アメリカの国連本部で SDGs を紹介するハローキティ  
©1976,2020 SANRIO CO.,LTD. 著作:(株)サンリオ

二〇一九年には、ハローキティが国連と共に「#HelloGlobalGoals」をスタートしたよ。



## 成立までの経緯

一九七二年の「国連人間環境会議」で、どうすれば持続可能な開発が可能かという議論が始まり、いろいろな会議を経て、二〇一五年にSDGsが成立しました。

## 日本では

二〇一六年に内閣にSDGs推進本部が設立され、各省庁や自治体、企業に取り組みの呼びかけが開始されました。SDGs達成に向けて優れた取り組みを行っている団体のために、二〇一七年に「ジャパンSDGsアワード」という賞が創設され、毎年いろいろな団体が受賞しています。

## 生命を考えるキーワード それは「動的平衡」

動的平衡は、生命同士が関係し合って成り立っている生態系、そして地球全体にも当てはまると思う。地球全体の物質の総量は、太古からそうは変化していない。単にぐるぐる回っているに過ぎず、回しているのはさまざまな生命活動だ。地球の上で絶え間なく、パスし合っているようなもの。そしてさまざまな生命体があることによってバランスをとり、コミュニケーションしながら、自分自身の位置を知り役割を果たすことで、統一が図られている。細胞レベルでも同じだ。そしてそこには指揮者や命令役がいるわけではなく、ジグソーパズルのように広がって、全体として調和している。つまり、全体の流れを理解することが大切だ。近年注目されている環境問題についても同じように考えられる。温室効果ガスの代表である二酸化炭素は、悪者扱いされているがもちろん毒でもゴミでもない。動物は生命活動の結果として多くの二酸化炭素を排出する。それを植物が吸収し、光合成によって再び動物が利用できるかたちにつくり変えている。これが地球上の大循環の中の一部だ。この循環が滞りなく回っていれば、問題はない。ところが人間が排出する二酸化炭素が、吸収のスピードを上回るほど過剰になっていることが問題なのだ。だから、部分だけをとり出したり機械として考えるのではなく、流れとして理解しなければ意味がない。

生命は、流れながら、自分自身を分解し、つくり変え続けている。その理由は、生命活動という秩序を維持するためだ。変わらないために、絶え間なく変わる。一見逆説的にも思えるこの状態こそが生命の本質だ。そして生命だけでなく私たち個人の一生についても言えるし、さらに生命の長い進化の歴史についても同じことだと思う。地球上で奇跡的に生命現象が立ち上がってから現在に至る38億年もの間、少しずつ変わりながら、平衡状態を保っている。

(桐光学園十ちくまプリマー新書編集部編『科学は未来をひらく』筑摩書房より)

福岡伸一「生命を考えるキーワード それは「動的平衡」



## エネルギー問題



11億人も?!  
このような人  
たちが住む国には  
どのような支援  
がすめられて  
いるのだろうか?



化石エネルギーでの発  
電による温暖化ガスの  
増加が問題視される  
中で、世界では、電気  
のない生活をしている  
人が約11億人いる。

化石エネルギーの代わりに、風力や水力、太陽熱な  
どの再生可能エネルギーを使った発電が進められて  
います。



3 太陽光発電と風力発電

## 気候変動問題



具体的にど  
んな対策を  
したらいいん  
だろう?



地球温暖化によるゲ  
リラ豪雨、干ばつ、竜  
巻などの異常気象が  
世界中で増加。その原  
因として、温室効果ガ  
スの増加や森林の減  
少が挙げられている。

SDG s 先進国のデンマークでは、温室効果ガスの排  
出を抑えるために、国民は主に自転車で移動していて、  
電車の中には自転車をおくスペースがあります。



2 デンマークの電車内で自転車持ち込み

# 今、地球上では さまざまな問題が起こっています・・・

## 貧困問題



各国の政府や団体が難民の支援  
を行っています。



4 国連の学校ボンガ難民キャンプボンガ  
エチオピアのスーダンの子どもたち

世界各地では武力紛  
争や迫害などがあ  
とを絶たず、それ  
によって他国に逃れる  
人々が、日本の人口  
の約半分いる。

安全な生活があた  
りまえになってい  
る私たちは、他人  
事と思ってい  
いのかな?



## 不平等問題



差別をなくすには、偏見を  
なくし、お互いを認め合う  
ことが大切だね。

性別や人種、宗教などによる差別  
があり、一部のお金持ちが多くの  
資産を占有することによる貧富の  
格差が拡大している。

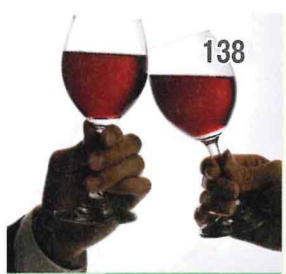


貧富の格差問題では、税金などを使ってお  
金の再分配を行い、格差をなくそうとす  
る取り組みを行っています。



未来のために、私たちにできることを考えよう。





教科書  
p.246~263

## 8 バースデイ・ガール

未来への言葉

目標  
文章の構成や表現方法に注意して、登場人物のものの見方を捉えよう



デジタル

村上春樹  
むらかみはるき

読解  
2 全体を捉えよう

①～⑩に入る言葉を抜き出そう

### 十年以上も昔のこと

〈オーナーの部屋で〉

〈誕生日の夜〉

⑥

な言方。

「君がそう望むなら。」  
「何ものもそこに暗い影を  
落とす」のな言方。」

⑤

磨きあげられた、シックな革靴。  
↓普通じゃない。

おしゃれな人。

④

オーナー 痩せた

な老人。顔に深いしわ。  
↑身長は彼女より十センチは低い。

③

彼女 八時、オーナーの食事を運ぶ。↑604号室。



オーナーに食事を届けるよう、彼女に頼む。



②

仕事をしている。↑ボーイフレンドとのけんか。同僚の風邪。  
↑ひどい土砂降り。客が少ない。晩秋の雨の深い匂いが漂う。  
↑時半過ぎ、マネージャーの具合がおかしくなる。

イタリア料理店で

①

の誕生日なのに、ふだんと同じように

↑十一月十七日金曜日。

読解  
3 深めよう

3ステップで記述しよう

問い 最後の段落の表現による効果について考え、五十字以内で書きなさい。

初めに、問いの中心 について考えよう！

ステップ1 問いの中心 「あとになって思い直して引っこめることはできないからね」(262下⑩)というオーナーの言葉が示していることを、「人生」「やり直し」の二語を使って、二十字以内で書きなさい。


「人生はこと。」の形で書こう。

ステップ2 追加の条件 最後の段落の言葉は、256ページ下段の二

行めから四行めを別の形で言い直しているが、そうすることでどのような効果があるか。次の言葉に続けて、「読者」の語を使って書きなさい。



ア 「彼女」と「僕」が、共に過した過去を現在から振り返っている。  
 イ 「彼女」の回想と、現在の「僕」との会話が入り交じっている。  
 ウ 「彼女」が、過去のできごとを物語のように読者に語りかけている。  
 エ 「僕」が、以前「彼女」から聞いた過去のできごとを回想している。



全体を読めたかな？  
 この文章の表現の仕方と合うものを、一つ選ぼう。

それから十年以上たって	
〈「彼女」へ「僕」からの質問〉	
<p>⑨</p> <p>イエスであり、ノオね。          [ ] が重要な役割を果たす。</p>	<p>お願いことは実際になかったのか。</p>
<p>⑩</p> <p>人間は何を望んだところで、          [ ] 以外にはない。          い。↑諦めを感じさせる。</p>	<p>お願いごととして選んだことを後悔しなかったのか。</p>

彼女 ⑦ [ ]

理由… ⑧ [ ]

「君の願いをかなえてあげたい」特別な日の特別な記念品として。  
 「たった一つだから、よくよく考えたほうがいい」とは異なる願いごとをする。『すでにかなえられなかった結果を想像できない。』  
 オナーの言葉がまだつかめていないから。

オーナーの言葉を言い直すことで、オーナーの言葉が示すことを

**ステップ3 つなげる**

問いの答えを整えよう。

ステップ2の内容を整理して書く。

ステップ1とステップ2の内容をつなげて、

**答え**

オーナーの言葉を [ ] ことで、 [ ] ことを

読者に [ ]。

ステップ2の内容を整理して書く。

ステップ1の答えをもとにする。

ステップ2の内容を整理して書く。

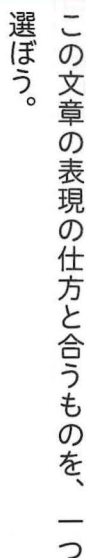
ステップ1の答えをもとにする。

ステップ2の内容を整理して書く。

ステップ1の答えをもとにする。







ア 筆者は、青春の歌に大人が過去の輝きを懐かしむ哀愁を感じた。  
イ 筆者は、青春の歌に今を意識して生き急ぐ若者の悲哀を感じた。  
ウ 筆者は、青春の歌に大人になろうともかく若者の葛藤を感じた。  
エ 筆者は、青春の歌にまだ何者でもない若者の今の輝きを感じた。

「十代に…」		「椅子に…」		「どこに…」		「ああ君…」		「互いしか…」	
<p>・青春という人生の春</p> <p>・無名の時</p>	<p>・自由だった「あの夏のわれら」</p>	<p>・「どこに行けば君に会える」ということがない」</p>	<p>・「どこに行けば君に会える」ということがない」</p>	<p>・青春の⑩</p> <p>を未来に持ち込みたい。</p>	<p>⑨</p> <p>い合う</p> <p>青春の世界の住人</p> <p>で笑</p>	<p>⑪</p> <p>を借りる</p> <p>手続きと証明が必要。</p> <p>大人への第一歩。</p> <p>無名のままでは不可能。</p>	<p>⑫</p> <p>↓遠く</p> <p>「君」。</p> <p>に行けば会える</p>	<p>⑬</p> <p>↓遠く</p> <p>何者かになろうとしている。</p> <p>のいない</p>	<p>⑭</p> <p>何者かになろうとしている。</p>

68

ステップ2の「青春が終わることに対する考え」をまとめる

**答え** 人は  青春を経て、  
 ので、もし

**問**いの答えを整えよう。

ステップ1の「青春」についてまとめる

ステップ3  
▼▼  
つなげる

ステップ1とステップ2の内容をつなげて、

③

16

# 文法 3 文法のまとめ

## 1 文節・連文節の対応に注意

主・述の関係	修飾・被修飾の関係	接続の関係	独立の関係
<p>主語（主部）と述語（述部）がうまく対応しているか。</p> <p>例 × この本が、今年一番売った。 国この本が ↓ × 国売った</p> <p>○ この本が、今年一番売れた。 国この本が ↓ ○ 国売れた</p>	<p>修飾語（修飾部）が離れすぎているかないか。</p> <p>例 △ 大きな車がたくさん止まっている駐車場。 「大きな車」？ 「大きな駐車場」？</p> <p>○ 車がたくさん止まっている大きな駐車場。</p>	<p>前後が適切につながっているか。</p> <p>例 × 雨が降ったが、遠足は延期になった。</p> <p>○ 雨が降ったので、遠足は延期になった。</p> <p>× 雨が降る ↓ 延期になる</p> <p>○ 雨が降る ↓ 延期になる</p>	<p>他の文節と直接的な関係がないか。</p> <p>例 ・ 鮮やかな色使いが、印象的だった。 × 鮮やかな色使いが ↓ 主語</p> <p>・ 鮮やかな色使い、それが印象的だった。 ○ 鮮やかな色使い ↓ 独立語</p>

## 2 意味のまとまりに注意

●二通りの解釈ができる文は、文節の関係を整理して意味を限定する。

例 姉は笑いながら遊ぶ妹を見ていた。 ↑ 笑っているのは「姉」？ 「妹」？  
読点（、）を入れる

・（笑っているのは「姉」） 例 姉は笑いながら、遊ぶ妹を見ていた。  
・（笑っているのは「妹」） 例 姉は、笑いながら遊ぶ妹を見ていた。

## 確認しよう

### 1 文節・連文節の対応

次の各文の——線部を、係り受けが正しくなるように書き改めなさい。（\*の指示がある場合は従う。）

- (1) 忘れ物をしたが、家に戻った。  
□ (2) 薬を飲んでも、熱が下がった。  
□ (3) 私の夢はアナウンサーになりたい。

- (4) 反復練習の目的は、技の習得が目的だ。

- (5) 水玉模様のハンカチと傘。

\* 水玉模様はハンカチだけであることがわかるように、語順を変えて書き改める。

### ココ大事

(3) 「私はアナウンサーになりたい。」（「の夢」を省く）としても、正しい文になるよ。

### 2 意味のまとまり

次の各文を、\*の指示に従って書き改めなさい。

- (1) 私は笑いながら走ってくる友人に手を振った。

\* 笑っているのは「私」になるように読点を一つ打つ。

私は笑いながら走ってくる友人に手を振った。

- (2) 難しいテストの解説文。

\* 難しいのは解説文だとわかるように語順を変えて全文を書き改める。



語順を変える

- ・笑っているのは「姉」 例 姉は遊ぶ妹を笑いながら見ていた。
- ・笑っているのは「妹」 例 笑いながら遊ぶ妹を姉は見ていた。

## 3 叙述の副詞に注意

叙述の副詞は、対応する語で受ける。

例 「ぜひ……たい／ください」 ↑希望を表す。

×あなたとぜひ会おう。 ○あなたとぜひ会いたい。

## 3 ココ大事

叙述の副詞は話し手や書き手の態度や気持ちを表すよ。

## 叙述の副詞の例

・たとえ……でも（でも）

例 たとえ失敗しても挑戦したい。

・もし／仮に……なら（ならば）

例 もし晴れなら、出かけよう。

・決して／まったく……ない

例 決して約束を破らない。

・たぶん／おそらく……だろう

例 たぶん兄は走ってくるだろう。

## 4 付属語の違いに注意

付属語で意味が変わる。

例 父はふるさとへ出発する。「ふるさと」を帰着点としている。

例 父はふるさとを出発する。「ふるさと」から移動している。

例 雨が降るようだ。推定

例 雨が降るかしら。疑問

例 雨が降るぞ。念押し

● 付属語で印象が変わる。

例 五分だけ待った。わずかな時間であるという印象。

例 五分も待った。長い時間であるという印象。



## 3 叙述の副詞

次の各文の——線部の叙述の副詞に対応するように、  
□に入る言葉をあとから一つずつ選びなさい。

- (1) 決して秘密を話さ□。
- (2) たとえ優勝できなく□全力を尽くす。
- (3) おそらく彼も来る□。
- (4) ぜひ彼女に会い□。
- (5) この絵はまるで写真の□。

ア ない イ ても ウ たい エ だろう オ ようだ

💡 (1)は否定、(2)は仮定、(3)は推量、(4)は希望、(5)はたとえを表す言い方。

## 4 文の意味

次のうち、( ) 内の意味が明確にわかる文を一つずつ  
選びなさい。

- (1) (白いのはコップ。)

ア 白い犬の絵が描かれたコップ。

イ 犬の絵が描かれた白いコップ。

ウ 白い犬が描かれたコップ。

- (2) (話し手は北川さんが花を好きなことを確信している。)

ア 北川さんは花が好きらしい。

イ 北川さんは花が好きだ。

ウ 北川さんは花が好きだろう。

- (3) (残った数が多いと思っている。)

ア 三個しか残っていない。

イ 三個ほど残っている。

ウ 三個も残っている。

## 練習しよう

- 1 次の文を、( ) 内の指示に従い、係り受けが正しくなるように書き改めなさい。

● 先週私が描いた絵を彼に渡した。

〔渡したのが先週〕になるように、「先週」を移動させる

- 2 次の各文の——線部と同じ働きをするものをあとから一つずつ選びなさい。

□ (1) 自分だったらと想像しながら、話を聞いていた。

□ (2) 辺りが暗くなってきたので、帰ることにした。

□ (3) 小雨が降ったけれど、試合は続行された。

ア つつ    イ のに    ウ から    エ たり

💡 (1)は同時、(2)は順接、(3)は逆接。

- 3 次の文を、(1)・(2)の指示に従い、意味のまとまりに注意して書き改めなさい。

● 私は泣きながらうずくまっている妹と話した。

□ (1) 読点を一つ用いて、泣いているのが「私」になるように。

□ (2) 語順を変え、読点を一つ用いて、泣いているのが「妹」になるように。

- 4 次の各文の——線部の叙述の副詞に対応するように、( ) に入る言葉を、から選んで書きなさい。

□ (1) なぜ前もって準備しておかなかったの( )。

□ (2) この本をぜひ読んでみて( )。

□ (3) 私にはどうてい解け( )。謎だ。

か    ない    たら    ほしい

## 文法的に考える

- 5 次の各文の( )に、「が」「は」のどちらか適切な方を選んで書きなさい。

□ (1) 私は桃やブドウなどの果物( )好きだ。

□ (2) 鈴木さんが参加するイベントに木村さん( )参加しない。

□ (3) 学校であつたことを、弟( )話さなかった。

- 6 ( ) 内の意味が明確にわかる文を選びなさい。

(体操をするのはおじいちゃん)

ア おじいちゃんは起きたら、体操をする。

イ おじいちゃんが起きたら、体操をする。

💡 どちらかの文は、誰が体操をするのかわからないね。



四字熟語

正しい読みと意味・用法を理解しましょう。

悪戦苦闘	あくせん	苦しみながら努力すること。
暗中模索	あんちゅうもさく	手がかりのないものをあてどなく探すこと。
意気消沈	いきしょうちん	元気をなくしてしよげること。
意気揚々	いきようよう	おおいに得意そうな様子。
異口同音	いこうどうおん	多くの人が同じ意見を言うこと。
以心伝心	いしんでんしん	口に出さなくても、考えや気持ちを通じ合うこと。
一部始終	いちぶしじょう	物事のはじめから終わりまで。
一網打尽	いちもうだじん	一味の者をすべて一度にとらえること。
一触即発	いっしょくそくはつ	今にも争いの起きそうな状態。
一進一退	いっしんいつたい	物事の情勢がよくなったり悪くなったりすること。
一石二鳥	いっせきにちよう	一つのことをして、同時に二つの利益を得ること。
一朝一夕	いっせき	わずかのあいだ。
一長一短	いっちゃんいつたん	長所も短所もあること。
因果応報	いんがおうほう	行いに応じて報いがあること。
右往左往	うおうさおう	どうしたらよいかわからず、混乱すること。
我田引水	がでんいんすい	自分に都合のよいように言うたり考えたりすること。

完全無欠	かんぜんむけつ	少しの欠点もないこと。
危機一髪	ききいつぱつ	危険に陥りそうなせとぎわ。
起承転結	きしやうてんけつ	詩や文章などの組み立て。
奇想天外	きそうてんがい	考えが思いもよらないくらい珍しいこと。
言語道断	ごんごどうだん	もつてのほかであること。
試行錯誤	しこうさくご	失敗を重ねて、改善すること。
自業自得	じごうじとく	自分のしたことの報いを自分の身に受けること。
自暴自棄	じぼうじき	やけになること。
縦横無尽	じゅうむじやうむじん	思うままにふるまうこと。
取捨選択	しゆしやせんたく	物事のよしあしを判断して、よいものを選ぶこと。
首尾一貫	しゆびいつかん	はじめから終わりまですが通っていること。
支離滅裂	めつれつ	ばらばらでまとまりのない様子。
心機一転	しんきいつてん	あるきっかけで気持ちを切りかえること。
針小棒大	しんしやうぼうだいい	おおげさに言うこと。
切磋琢磨	せつさくたくま	互いに実力をみがきあうこと。
千差万別	せんさばんべつ	さまざまに違いがあること。
前代未聞	ぜんだいまもん	これまで聞いたことがないような、珍しいこと。

大同小異	だいたいしやうい	少しの違いはあるが、だいたいは同じであること。
单刀直入	たんちゆうちやくにゅう	前置きがなく、いきなり本題に入ること。
適材適所	てきざいしよ	才能のある人をそれに適した地位や任務におくこと。
徹頭徹尾	てつとうてつび	はじめから終わりまで。
日進月歩	にっしんげつぽ	たえまなく進歩すること。
半信半疑	はんしんはんぎ	完全には信じきれないこと。
美辞麗句	れいき	うわべだけをかざった言葉。
付和雷同	ふわらいう	決まった考えがなく、軽々しく他人の意見に従うこと。
傍若無人	ぼうじやくふじん	他人の気持ちにかまわず、自分勝手にふるまうこと。
本末転倒	ほんまつてんたう	重要なこととそうでないことを取り違えること。
無我夢中	むがむちゆう	我を忘れて熱中すること。
無味乾燥	むみかんそう	おもしろみがないこと。
優柔不断	ゆうじゆうふだん	ぐずぐずしていて決断が遅いこと。
有名無実	ゆうめいむじつ	評判だけで実質が伴わないこと。
臨機応変	りんきおうへん	状況に応じて適切な対処をすること。